

第八十一回
帝國議會
貴族院

豫算委員第三分科會(內務省文部省厚生省)議事速記録第二號

昭和十八年二月二十六日(金曜日)午前十時九分開會

○至查(男爵山川建君) ソレデハ第三分科會ヲ是ヨリ開會致シマス

○水野鍊太郎君 私ハ外地、殊ニ朝鮮ノコトニ付テ一二御伺ヒラシタイト思ヒマス、近時朝鮮ノ状態ハ物心兩方面ニ非常ニ發展シテ來マシテ、順調ニ進ンデ居ルト云フコトヲ承リマシテ、誠ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマス、總督府ノ御盡力ニ對シマシテハ深く敬意ヲ表スル次第デアリマス、併シ表面ハサウ云フ風ニ良クナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、其ノ裏面ニ流レル、潮流ハ、必ズシモ總テ良イトハ言ヘナイト云フコトモ聞イテ居リマス、殊ニ昨年ノ農産物ノ凶作ニ對シマシテ、食糧問題等ニ不安ガアリマシタガ爲ニ、幾分力朝鮮ノ人心ニ影響ヲ來シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、實際問題トシテドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、總督府ノ見ラレル向ハドウデアリマセウカ、私ハ朝鮮ノコトニ關心ヲ持ッテ居リマスノデ、朝鮮ノ人が能ク來テ色々ノ話ヲスルノデアリマスガ、ソレニハ隨分悲觀スベキ點モアルノデアリマス、併シ今必ズシモ此ノ非常ナ面倒ナコトガ起ルトハ思ヒマセヌガ、人心ノ傾向ガドウ云フ風ニ向イテ居リマスガ、之ヲ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ニハ南方諸地域ガ日本ノ權力ノ下ニ立ツヤウニナリマシタニ付キマシテハ、「フィリピン」トカ、「ビルマ」トカ云フ所ニ獨立ヲ許容スルトカ

云フヤウナコトガ中央ニ於テ發表サレマシタノデ、ソレニ引摺ラレタト申シマスガ、兎ニ角其ノ影響ヲ受ケテ、ソレナラバ朝鮮モ獨立スベキモノダト、ア、云フ南方諸地域ノ國ニ比スレバ、朝鮮ハ文化ノ點ニ於テモ亦歴史ニ於テモ餘程進歩シテ居ル、故ニサウ云フ所ニ獨立ヲ許スト云フヤウナコトガアレバ、朝鮮モ獨立スベキモノダト云フコトヲ若イ青年層ノ者が言ッテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ナ實際ニナツテ居リマスガ、唯彼等ガサウ云フコトヲ言フダケニ止ッテ、勿論強イ勢力ニハナリマセヌケレドモ、サウ云フ風ノコトニ對シマシテドウ云フ風ニナサレテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ承リタイトイ、是ハ朝鮮ノ事情ヲ御話ニナル上ニ於テ色々微妙ナ關係モアリマシテ、或ハ露骨ニ御話スルコトガ御困リニナル事情モアルカト思フノデアリマス、併シ其ノコトハ成ルベク本當ノコトヲ聽キタイト私ハ思ッテ居ルノデス、ダカラ場合ニ依ッテハ速記ヲ止メテ宜シイカラ、サウ云フヤウナコトニ御懸念ガアレバ、速記ヲ止メテモ眞情ヲ御話ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、先ヅ其ノ二點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○至查(男爵山川建君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○至查(男爵山川建君) 速記ヲ始メテ

○水野鍊太郎君 次ニ御伺ヒ致シタイトコトハ、徴兵令ハ來年度カラ施行スルコトニナリ、義務教育制ガ是モ亦兩三年先ニ施行サ

レルコトニナルノデ、詰リ内地ノ制度ガ漸次朝鮮ニ及ンデ來ルト云フコトデアリマシテ、所謂一視同仁ノ政治ヲ實現スルト云フコトデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ朝鮮人モ満足シテ居リマセウシ、又一體ノ日本ガ朝鮮ヲ統治スル上ニ於テ好結果ヲ來スコトト思ヒマシテ、私共ハ非常ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、併シ斯ウ云フコトハ一ツ考ヘネバナラスコトト思フノデアリマス、教育制度ヲ施行シ、徴兵令ヲ施行スル、殊ニ朝鮮ノ文化ヲ進メ、教育ノ程度ヲ高メテ行クト云フコトニナリマスレバ、ドウシテモサウ云フ教育ヲ受ケタ者ヲ何トカ用ヒテ行ク方法ヲ考ヘナケレバナラスノデアリマス、今日デモ彼等ノ不平ヲ言フノハドウモ自分等ハ相當ノ教育ヲ受ケテ居ル、ニモ拘ラズ、内鮮ノ間ノ區別ガアッテ、我々ハ適當ノ地位ヲ得ラレヌト云フ不平ガ絶エズアルノデアリマス、義務教育ガ行ハレ、又高等教育モソレニ伴ッテ進ンデ行キマス時ニハ、サウ云フ人が、詰リ「インテリ」階級ノ者が餘計出ルコトニナルデアラウト思フ、サウ云フ人ヲ唯遊バセテ置クコトニ付テハ、矢張り其處ニ不滿不平ガ起ルノデアリマスカラ、サウ云フ人ヲ適當ナ地位ニ使フト云フコトヲ考慮セネバナラスト思ヒマス、勿論朝鮮人ダカラト言ウテ技能モナク、又性格ノ良クナイ者ヲ使フ譯ニハ行キマセヌケレドモ、相當ノ者ニ對シテハ、彼等ニ地位ヲ與ヘルト云フコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、今日デモナカ／＼サウ云フ

者ニ地位ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、私共ノ所等ニハ能ク若イ者が來テ、學校ノ卒業生ガ來テ、ソレハ相當ナ者デアリマスガ、何處カニ使ッテ貫ヒタイト云フコトヲ言ッテ頼ミニ來ル者ガアリマスカラ、ソレヲ色々ナ方法デ何處カニ使ヒタイト思ッテ、紹介ヲシタリナンカスルケレドモ、事實ハドウモウマク行カナイノデスネ、ソコハ私ハ餘程苦心ノ存スル所デアラウト思フノデス、殊ニ總督府ノ當局者ハ其ノ點ニ付テハ最モ御苦心ヲナサツテ居ラレルコトト思フノデアリマス、内地ニ於テモドウモサウ云フ人が適當ナ人デアッテモ用ヒラレナクシテ、今ニ放浪シテ居ル者が相當アルノデアル、ソレヲドウカシタイト矢張り將來問題ガ起リハシナイカト思フ、問題ト言ッテモサウ大キナ問題デハナイケレドモ、彼等ガ満足シナイト云フコトガ起リハシナイカト、ソレヲ憂ヒテ居ルノデスガ、ソレハドウ云フ方法ニシテ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、具體的ノ私意見モ、考モ持ッテ居リマセヌガ、内地人が矢張りサウ云フ人ヲ出來ルダケ用ヒテヤラウ、サウ云フ氣分ニナラナイノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスガ、ソレカラ民心ヲ把握スルコトガ必要デアルト云フコトノ御話ガアリマシタガ、ソレハ其ノ通りデアリマスガ、時ニ依ルト總督府ノ上ノ方ノ人ハサウ云フ考ヲ持ッテ居ルカモ知レヌガ、地方等ヘ行ッテ下級ノ人等ガ、動モスレバ朝鮮ノ人ニ壓迫ヲ加ヘルト

云フコトガアルコトモナキニシモ非ズデア
リマス、殊ニ一昨年デシタカ、アノ姓氏令、
即チ名前ヲ變ヘルト云フコトガアリマシタ
ガ、何デモ非常ニ成績ガ好イ、殆ド八割迄
日本人ノ名ニナツタ云フコトガアリマシ
タガ、ソレガ果シテ彼等ノ衷心カラ出タノ
ナラバ宜イデアリマスガ、時ニ依ルト警
察ノ壓迫ニ依テ斯ウ云フ風ニシタノデア
ル、或ハ學校ノ生徒等ガ動モスレバ父兄ガ
サウ云フ壓迫ヲ受ケルカラサウ云フ風ニ
ナツタノデアルト云フヤウナ不平モ聞クノ
デアリマスガ、此ノ頃ハドウデスカ、サウ
云フ方面ハ餘リ無理ニヤツテ居ラナイノデ
アリマスガ、何デモ前總督ノ時ニハ大分サ
ウ云フ方面ニ力ヲ入レタト云フコトデアリ
マスガ、今日ハモウ自然ニ任シテ居ラレル
ノデアリマスガ、ソレハ如何デアリマスガ、
其ノコトヲ承リタイノデアリマス、ソレカ
ラ只今モ申シマシタ通り徴兵令モ施行サレ
ル、ソレカラ義務教育制モ近ク行ハレルコ
トトナルノデアリマスガ、次ニ起ル問題ハ
參政權ノ問題デアリマス、段々内地ノ制度
ガ朝鮮ニモ及ブノ朝鮮人モ満足シテ居リ
マセウガ、更ニモウ一ツ進シテ所謂參政權
即チ帝國議會ニ議員ヲ出スト云フコトデア
リマスガ、是ハ隨分永イ問題デ、サウシテ
毎年ノ議會ニ朝鮮ノ人ガ上京シテ、參政權
運動ヲヤツタト云フコトモアリマス、此ノ頃
ハ、此ノ一二年ハ聽キマセウガ、サウ云フ
コトヲヤツテ居ル、又ソレヲ希望シテ居ルト
云フコトデアリマスガ、此ノ問題ハ兎ニ角
起ツテ來ル問題ト思ヒマス、徴兵令、義務教
育制、之ニ續イテハ參政權問題ト云フコト
ニ相成ルト思フノデアリマスガ、是ハ併シ
重大ナ問題デアリマシテ、舊ニ朝鮮ノ問題

ノミナラズ、内地ノ政治問題ニモ影響ノア
ル問題デアリマスカラ、餘程慎重ニ考慮セ
ラレナケレバナラスト思ヒマス、朝鮮ニ於
テモサウデアリマスガ、中央政界ニ於テモ
深く研究セバナラヌ問題ト思フノデアリ
マス、併シ之ヲ何時迄モ擱テ置クコトハ出
來ナイノデアリマシテ、今直チニ之ヲドウ
スルカト云フ問題ニ付テハ、餘程考慮ヲ要
シマスガ、ナカノ一是ハサウ急ニ實行ガ出
來ナイノデハナイカト思ヒマスガ、之ニ對
シテ朝鮮内ニ於ケル朝鮮ノ人ノ近時ノ思想
ハドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ、前年ハ
隨分劇シイ運動ヲシタト云フガ、此ノ頃ハ
餘リ其ノコトハ聞キマセウガ、近時ノ状況
伺シタイト思ヒマス

○政府委員(田中武雄) 御答ヲ申上ガマ
ス、先ヅ徴兵制並ニ義務教育制ノ實施ニ伴
ヒマシテ、段々教育ヲ受ケマシタ者ノ數ガ
殖エテ參ルノデアリマス、ソレ等ノ者ノ方
ヲドウ云フ工合ニ適當ニ使ツテ行クカ、各、其
ノ教育ノ程度ト分ニ應ジマシテ、兎モ角或
程度ノ天分ヲ伸バサシテ行ツテヤルト云フ
コトニ對スル考ヘ方、尙モウ一ツハ高等教
育ヲ受ケマシタ所謂「インテリ」階級ノ用ヒ
方ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマ
シテハ只今仰セノ如ク總督府當局ト致シマ
シテモ最モ苦心ヲシ、心ヲ傷メテ居ル問題
ナノデアリマス、總督府ガ他ノ施政ニ於キ
マシテ如何ニ善政ヲ布キマシテモ、斯ウ云
フ問題ガウマク參リマセスト朝鮮ノ民心ノ
安定ヲ確保スルト云フコトハ是ハムヅカシ
イノデハアルマイカト常々考ヘテ居ルノデ
アリマス、從ヒマシテ當局ト致シマシテハ、
朝鮮總督府ガ考ヘ得ルダケ考ヘテ居ルノハ

勿論デゴザイマス、尙チヨツト此ノ間ニ斯ウ云
フコトモ申上ゲテ置キタイト思フノデアリ
マスガ、文官試驗、ソレカラ司法官試驗、詰
リ高等試驗令ニ依リマスル行政科並ニ司法
科ノ試験ニ合格スルヤウナ者ノ數モドン
ドン殖エテ參リマス、左様ナ事實ニ當面ヲ
致シテ居リマスルノデ、ソレデ只今ノ此ノ
問題ガ非常ニ重大ナ問題ニナツテ參リマス
ルノデ、當局ト致シマシテハ非常ニ苦心モ
致シマスルシ、出來得ル限り朝鮮總督府ハ
是等ノ者ノ收容ニ努メテ居ルノデアリマス
ルガ、是ハ單リ朝鮮總督府ノミナラズ、政
府全體トシテ考ヘテ戴カナケレバナラス間
題デアリ、又單リ官邊ノミナラズ、官民兩
方面ニ於テ考ヘテ行カナケレバナラス問題
デアラウト思ヒマス、特ニ徴兵制ノ實施等
ニ依リマシテ、朝鮮ノ民衆ヲ兵トシテ御召
シニ與ラスト云フヤウナ事態ニナツテ居リ
マシテ、二千四百萬全體ヲ擧ゲマシテ、變
リナキ皇國民ニ仕立テテ行クト云フコトガ
目標デゴザイマスルノデ、段々資質ガ良ク
ナツテ參ラウカト思ヒマスルノデ、尙更以テ
サウ云フ點ニ考慮ヲ廻ラシテ行カナケレバ
ナラス、斯様ニ考ヘマシテ常々中央政府ニ
對シマシテモ、此ノ問題ニ付キマシテ實ハ
御願ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
デ此ノ問題ハ私共當局ト致シマシテ一番痛
心ノ事項ノ一ツデアリマシテ、將來トモ出
來ル限り此ノ點ニ付テ一ツ考ヘテ行キタイ
ト、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、只今
ソレニ關シマシテ少シデモ打開ヲ致シテ行
キタイト、斯ウ考ヘマシテ東京ノ獎學會、
ソレカラ中央地方ノ協和會ト云フヤウナ機
關ナドモ從來ヨリモ一層連繫ヲ密ニ致シテ
行キ、少シデモ朝鮮人ノ學校卒業者及ビ此

ノ勞働者ト云フヤウナ者ニ對シマシテモ、
其ノ處遇、其ノ取扱方ト云フモノヲ少シデ
モ彼等ノ意圖ニ副ウテ行クヤウニ機能ヲ發
揮シテ貰フヤウニ、只今頻リニ關係者ガ集
リマシテ、其ノ事ヲ相談ヲ致シテ居リマス
ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ御參考
迄ニチヨツト申上ゲルノデアリマスガ、官吏
ノ採用數ハ勅任、奏任、判任ノ全體ヲ通ジ
マシテ、内地人ガ五萬一千人デゴザイマス、
是ハ朝鮮總督府關係デアリマスルガ、内地
人ガ五萬一千人、朝鮮人ガ三萬五百人ト云
フコトニ相成ツテ居リマス、特ニ私共ハ資格
ヲ持チマシタ有資格者ノ浮浪者ヲ作ツテ行
クト云フコトニナリマシテハ大變デアリマ
スルノデ、是等ハ現在特別任用デ高等官ニ
ナツテ居リマス者ナドニモ再檢討ヲ加ヘマシ
テ、國家ガ認メタ資格者ヲ出來ルダケ充テ
テ行キタイト云フヤウナコトモ只今研究ヲ
致シテ居ル所デアリマス、ソレカラ此ノ度
コチラニ出テ參リマスル時ニ、總督カラ結
局只今ノ問題ヲ打開促進スル爲ニモ、矢張
リ内地各方面ニ朝鮮ノ認識ヲ正シクシテ貰
フト云フコトガ先決問題ト思フカラ、此ノ
内地、獨リ東京バカリデナク、各地ニ於テ
朝鮮ヲ正シク認識シテ貰フ爲ノ計畫ト云フ
ヤウナコトニ付テモ、中央關係當局ト相談
ヲシテ來ルヤウニト云フヤウナ、實ハ申
付ケモアリマシタヤウナ譯デアリマシテ、
總督モ此ノ點ニ付テハ非常ニ心配ヲサレテ
居ルノデアリマス、尙總督ト致シマシテハ、
只今獨リ此ノ問題ニ限リマセヌケレドモ、
動モスレバ地方ノ行政ノ末端ニ於キマシテ、
歪曲ヲサレテ進メラレルト云フヤウナコト
ヲ深く懸念ヲサレマシテ、此ノ官吏若シク
ハ公吏ニ對シマスル訓誡ト云フモノヲ始終

ハ公吏ニ對シマスル訓誡ト云フモノヲ始終

間斷ナクサレテ居ルノデアリマス、尙併シ各方面ノ人カラ公平ナ眼デ見テ、朝鮮全體ノ歩ミ方ガドウ行ッテ居ルカト云フコトニ付テハ、一ツ公平ナ眼デ忠言ヲ受ケルト云フヤウナコトニ付テ適當ナ方法ヲ考ヘテ見ルヤウニト云フコトヲ私ニ命ゼラレテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテモ出來ルダケ政治、行政ガ正シク運営サレテ行クト云フコトニ、一層努力ヲ致シテ參リタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ次ハ創氏ノ問題、志願兵問題等ニ付キマシテ、官邊ノ強制ト云フヤウナコトニ關シテデゴザイマスルガ、是ハ私共モ仰セノ如ク同ジヤウナコトヲ耳ニ致シテ居リマシタノデ、拙ラズモ自分ガサウ云ッタヤウナコトニ對シマシテ責任ノ地位ニ立チマシタノデ、サウ云ッタコトニ對シマシテ間違ッテ居ルコトガアルナラバ是正ヲシテ參リタイト考ヘマシテ、色々事實ノ真相ヲ調べ見タノデアリマス、必ズシモ絕對ニサウ云フコトガナカッタハ申上ゲ兼ねマスルノデアリマシテ、一部遺憾ナ事例モアルヤウデアリマス、併シ將來ハ左様ナコトノナイヤウニ、適正ニ運営シテ參リタイト斯様ニ存ジテ居リマス、特ニ志願兵制度等ニ付キマシテハ、總督ノ言明デアリマシテ、新聞ニ何十萬志願者ガアッタト云フヤウナコトヲ餘リニ書クコトハ、一面ニ於テ由ナキ宣傳ノヤウニモ見エシ、又ソレガ爲ニ道ノ競争ト云フヤウナ心理ヲ誘發スル虞レモアルカラ、何倍ニナラウガソナコトハ差支ナイカラ、一切新聞ニ書カスナト云フコトヲ嚴命サレマシテ、確カ今年ハ何倍アッタト云フヤウナコトハ新聞ニハ一切書カサナカッタト記憶ヲ致シテ居リマス、左様ナ狀況デア

リマスルノデ、將來トモ一層留意ヲ致シタイト思ヒマス、次ハ一ツ速記ヲ止メテ戴キタイ

○主査(男爵山川建君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○主査(男爵山川建君) 速記ヲ始メテ

○水野鍊太郎君 大變胸襟ヲ開イテノ御話ヲ色々伺ッテ能ク分リマシタ、ソコデ幸ニ中央ニ於テハ中央朝鮮協會ト云フモノガアリ、此處ニ居ラレル關屋サンナドモ其ノ事ニ當ッテ居ラレル、又協和會ト云フモノガアリマス、又私が主宰シテ居リマスル東洋協會モサウ云フ問題ニ付テ常ニ研究ヲシテ居ルノデアリマスカラ、私共ハ總督府ノ諸君ノ御盡力ニ對シマシテ敬意ヲ表スルト同時ニ、我々モ亦十分ニ協力シタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ何カ協會ヲ必要トスル場合ガアリマシタラ、御遠慮ナク御訪ネアラムコトヲ希望スル次第デアリマス、大體ニ於テ只今ノ御話ヲ承リマシテ安心致シマシタ、有難ウゴザイマシタ、朝鮮ニ付テハソレダケノコトデ、實ハ臺灣ノコトニ付テモ同様ニ承リタイト思ッテ居ッテデスガ、餘リ時間ガナイノデ、私ダケ質問シテハ如何カト思ヒマスガ、丁度臺灣ノ政府委員ノ方ガ居ラレマスカラ、今朝鮮ニ對シテ申シマシタヤウナコトニ付テ、何カ承ルコトガアリマスレバ大變仕合せト思フノデアリマス

○政府委員(齋藤樹君) 朝鮮ニ付キマシテ御尋ニナリマシタ個々ノ點ヲ限定シテ御答ヲ申上ゲマスヨリモ、寧ろ極ク切詰メマシテ、臺灣ノ大東亞戰下ニ於ケル一般情勢ヲ御聽キヲ、戴イタ方ガ適當デハナイカト存ジマスルガ、如何デゴザイマスカ

○水野鍊太郎君 結構デス、ドウゾ

○政府委員(齋藤樹君) 臺灣ニ於ケル民心ノ動向、特ニ大東亞戰爭勃發以後ノ治安狀況等ニ付キマシテハ、一言ニシテ申シマスルト全ク平穩無事、何等憂慮スベキ狀態ガ認メラレナイト云フコトヲ申上ゲテ過言デナカラウト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ二三ノ實際ノ實例ヲ御聽キヲ戴キマスルコトガ御理解ヲ戴クニ便利ト存ジマスノデ、具體的ノ事柄ヲ申上ゲタイノデアリマスルガ、日支事變勃發ノ當時昭和十二年ノ八月九月二箇月ニ互リマシテ、島内ノ金融機關ニ起リマシタ取付ノ狀態並ニ昭和十五年ノ暮カラ十六年ノ初頭ニ掛ケテ、日米關係ノ危機ガ傳ヘラレマシタ當時臺灣ニ起リマシタ取付ノ狀況ノ如キハ、或程度ノ不安ヲ我々當局者ニ與ヘタノデアリマス、昭和十二年ノ八月九月二箇月ニ互リマシテハ約四千萬圓、昭和十六年ノ一月二月ニ於キマシテモ約三千萬圓ノ取付ト云フ現象ガ起ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ大東亞戰爭ニ際シマシテハ、取付ノ現象ト云フモノハ全然起ッテ居リマセス、寧ろ昭和十六年ノ十二月カラ一月ニ掛ケマシテ、預金ハ九百萬圓ノ増加ヲ示シテ居リマス、是ハ民族の二日支事變ト云フモノニ對シテ本島人ガ若干割切レナイ氣分ヲ持ッテ居リマシタノニ對シ、大東亞戰爭ガ英米ノ勢力ヲ驅逐セムトスル戰爭目的ガ極メテ明瞭デアリマシタルコトト、緒戰ニ於ケル赫々タル戰果並ニ歴代總督ノ本島人ニ對スル皇民化ノ運動、特ニ長谷川總督著任以來ノ皇民鍊成ノ爲ニ力ヲ盡シマシタ運動ノ效果、斯様ナモノノ合成ノ結果デアラウト我々考ヘテ居ルノデゴザイマス、又或ハ昨年カラ志願兵制度ガ實施セラレマ

シタガ、志願兵ノ應募狀況或ハ特設勞務奉公團、若シクバ高砂義勇隊トシテ南方各地ノ軍ノ要請ニ應ジテ送り出シマシタル青年ノ募集ニ際シテノ應募ノ熱情、其ノ他俘虜監視人、看護助手等ノ現地軍ノ要望ニ應ヘテ送り出シマスル青年子女ノ應募狀況ニ現レマシタル熱情カラ見マシテモ、此ノ大東亞戰爭ヲ契機ト致シマシテ完全ナル皇國民ニナリ切ラウトスル熱意、言ハバ國家意識トデモ申スベキ感情ガ非常ニ高揚セラレテ居リマスルコトヲ認メザルヲ得ナイノデアリマス、特ニ是等青年ヲ募リマスル際ニ於テ行政的ノ措置ト致シマシテ、慎重ニ無理ノ行カヌヤウニ心掛ケテ居リマスルガ、而モ尙第一回ノ志願兵應募狀況ニ於キマシテ四百倍、本年ノ第二回ノ募集ニ於キマシテ六百倍ト云フ應募ノ數字ヲ示シテ居リマスルシ、或ハ又特設勞務奉公隊等ノ募集ニ際シマシテモ常ニ數十倍ノ應募ノ狀況ヲ示シテ居リマスル事實ハ、彼等青年ノ忠良ナル皇國民ニナリ切ラウトスル熱情ノ一ツノ現レトシテ私共ハ見テ居リマスルノデアリマス、尙是ハ先達テ他ノ委員會ニ於テ、其ノ際ハ秘密會デゴザイマシタガ、申上ゲタコトデゴザイマスルケレドモ、今日ニナリマスレバ既ニ過去ノコトデアリマスノデ、申上ゲテ差支ナイト存ジマスノデ一言附加ヘマスルガ、長谷川總督ノ著任致シマシタハ十五年ノ暮デゴザイマスガ、其ノ當時長谷川總督ノ施政ノ基礎ヲナシマスルモノハ、日米戰爭避クベカラズト云フ見透シノ上ニ立ッデ居ッタカノ如クニ承知致シテ居リマス、從ッテ著任以來長谷川總督ノ總テノ計畫ハ、日米開戰ノ曉ニ於テ、作戰上ノ理由カラ臺灣ガ内地トノ交通杜絶數箇月ニ及ブベキ場

合アルコトヲ豫想シ、同時ニ南方ヨリスル

再々ノ空襲下ニ曝サレル危險ノアリマスル

コトヲ豫想シテ、臺灣ガ其ノ最惡ノ狀態ニ

陥ツタ場合ヲ想定致シマス、其ノ際ニ於テ

島内ノ治安ヲ如何ニ保ツベキカ、島内ノ民

心ヲ如何ニ總督中心ニ統一スベキカト云フ

點ニ、長谷川總督ノ總テノ方針ハ出發シテ

居タノデアリマス、從テ或ハ金融異變ニ

對シマスル臺灣銀行ノ無制限拂出ノ準備、

或ハ食糧數箇月分ノ貯藏、防空訓練ノ強化、

若シクハ又皇民奉公運動ニ對シテ總督自ラ

先頭ニ立チマシテ、島内殘ル限ナク其ノ運

動ノ浸透ヲ圖ラレマスル等、總テ日米開戰

ノ後臺灣ガ最惡ノ狀態ニ置カレル場合ヲ想

定シテ、是ニ備ヘテノ準備ヲ致シテ參ッタノ

デアリマス、一年ノ後英米ニ對スル大東亞

戰爭ガ開始セラレタノデアリマスガ、我々

屬僚ハ長谷川總督ノ其ノ遠大ナル、將來ニ

備ヘテノ統治方針ヲ體シマシテ、過チナク

島内ノ治安ヲ保チ、本島人ノ民心ヲ總督中

心ニ一本ニ引纏メマシテ、此ノ非常時ヲ乘

切ル爲ニ萬全ノ努力ヲ拂ッテ行ク考デ今日迄

參ッテ居リマス、又今後モ一層其ノ點ニ付キ

マシテハ注意ヲ怠ラナイ積リデ居リマス、

臺灣ノ統治ニ關シマスル一般ノ事情ト致シ

マシテ以上ヲ御聽キ戴キマシタノデアリマ

スルガ、尙具體的ナ個々ノ點ニ付キマシテ

ノ御尋ガゴザイマスルナラバ御尋ニ從ッテ

御答ヲ申上ゲマス

○水野鍊太郎君 有難ウゴザイマス、大體

ニ於テサウ云フ狀況デアリマスルナラバ別

ニ懸念スベキコトモナイト考ヘマシテ、御

説明ニ對シマシテハ満足致シマス、モウ是

デ打切ッテ置キマセウ、マダ少シデアリマス

ケレドモ、外ノ方ノ御質問モアルヤウデアリ

御答ヘ申上ゲマス、一般民ノ生活ノ狀況、

特ニ食糧ガ經濟統制等ノ觀點カラドシナ風

ナ狀況デアルカト云フコトヲ先ツ申上ゲマ

ス、食糧ノ問題ハ昨年來相當深刻ナ問題ニナ

テ居リマス、昨年ハ朝鮮、自體ト致シマシ

テハ、相當ノ收穫量デアリマシタノデアリ

マスルガ、其ノ中カラ……チヨット以下數字

ノ點ハ速記カラ省イテ戴キタイト思ヒマス

○主査(男爵山川建君) 數字ハ速記カラ抜

イテ下サイ

○政府委員(田中武雄君) ○石ヲ内地ニ

供出スルト云ツタヤウナコトカラ、可成リ朝

鮮ノ百姓ガ持ッテ居ッタ米ヲ供出ヲサセナケ

レバナラヌト云フコトニナリマシテ、私昨

年ノ六月ニ赴任シタノデアリマスガ、當時

相當深刻ナ狀態デアリマシタカラ、段々實情

ヲ調べマシテ中央政府ノ方ト折衝ノ結果、

結局○○石程度ノモノヲ送りマシテ、後ハ

中止シタヤウナ次第デアリマス、ソナコ

トデ本年ハ米ニ於キマシテモ非常ニ減收ヲ

致シマシテ、平年作ヨリ○○石ガ減少シテ

居リマス、從ヒマシテ此ノ朝鮮ノ食糧事情

ハ御承知ノ通りニ米ニ於キマシテモ平年作

ニ於テ約○○石、ソレカラ雜穀ニ於キマシ

テ○○石、其ノ差ハ出シテ行ッテモ宜イト

云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ雜

穀ガ從來自由經濟時代ハ滿洲カラ參ッテ居

ルノデアリマスガ、是ガナカノ參リマセ

ヌノデ、今日食糧ノ需給ノ調節ヲ圖ッテ參

リマスノニ、内地、朝鮮、滿洲ト云フモノ

ヲ一括致シマシテ彼此交流計畫ヲヤッテ參

テ居ルノデアリマスガ、今年モ相當窮屈ナ

コトニナッテ居リマスルケレドモ、最近總

理始メ農林省、企畫院等ノ非常ナ斡旋ニ依

リマシテ朝鮮、滿洲トノ話合ガ出來マシテ、

大體今日ノ所之デ切抜イテ行ケルト云フ目

途モ付ケテ居リマスルケレドモ、先ツ食糧

問題モ何トカ切抜イテ行ケルト云フ目途ガ

立ッタノデアリマス、ソレカラ國語ノ普及狀

態、教育ノ狀態デアリマスルガ、是ハ一番

最初、今此處ニオイデニナリマスル水野閣

下アタリガオイデニナリマシタ頃ハ、三面

一校ト云フ目標カラ段々一面一校ニナリマ

シテ、サウシテ只今ハ義務教育ヲ二十一年

ヲ期シテ實施ヲシヨウト、斯ウ云フコトニ

ナッテ居リマス、ソレデ二十一年ヲ期シマシ

テ義務教育ヲ實施ヲ致シマス、朝鮮全體

ノ就學歩合ハ男ニ於テ九割、女ニ於キマシ

テ五割ト云フモノヲ收容スルコトニ、其ノ

目標デ計畫ヲ立テツ、アルノデアリマス、

只今國語ノ普及ノ狀態ハ全體ノ總人口ニ

對シマシテ、矢張り國語ヲ解スル者ハ一割

五分カラ二割弱ノ程度ノモノデアリマス、

併シ今回徵兵制ガ實施ヲサレマスルノデ、

壯丁ハ大體ニ二十一、二萬ノ程度デアリマ

スルガ、其ノ中ノ約半數、十萬ハ小學校、今

ノ國民學校モ何處ノ教育モ受ケテ居リマセ

ヌ、從ッテ大體ニ於テ國語ヲ解シナイ、斯ウ

見テ居リマス、其ノ十萬ノ人間ニ對シテ先

ヅ國語ノ習熟ヲサス、アトハ團體ノ教練ヲ

サスト云フヤウナコトデ、義務トシテ只今

其ノ訓練ヲ十萬ノ人間ニ對シテ行フト云フ

コトニナッテ進メテ居ルノデアリマス、ソレ

カラ産業ノ狀態ハ、大體朝鮮モ現在ノ決戰

下ニ於キマシテ非常ナ役割ヲ負擔ヲ致シテ

居リマスルガ、特ニ只今ハ米ノ問題ハ、先

程申上ゲマシタヤウニ平年デアレバ、マア

○○萬石位ハ内地ヘ出シテ行カナケレバナ

ラスト云フコトニナッテ居リマス、其ノ他

ハ主トシテ産業、特ニ電力ガ相當豊富デア

リ、從來ハ低廉デゴザイマシタノデ、此ノ

御答ヘ申上ゲマス、一般民ノ生活ノ狀況、

特ニ食糧ガ經濟統制等ノ觀點カラドシナ風

ナ狀況デアルカト云フコトヲ先ツ申上ゲマ

ス、食糧ノ問題ハ昨年來相當深刻ナ問題ニナ

テ居リマス、昨年ハ朝鮮、自體ト致シマシ

テハ、相當ノ收穫量デアリマシタノデアリ

マスルガ、其ノ中カラ……チヨット以下數字

ノ點ハ速記カラ省イテ戴キタイト思ヒマス

○主査(男爵山川建君) 數字ハ速記ヲ止メテ

午前十一時十九分速記中止

午前十一時三十五分速記開始

○主査(男爵山川建君) 速記ヲ始めテ

○子爵岡部長景君 私ハ極ク概括的ニ時間

モアリマセヌカラ、一言簡單ニ申上ゲマシ

テ御當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、

朝鮮及臺灣ニ於ケル一般民ノ生活狀況、食

糧ノ問題、教育或ハ衛生、職業、ソレカラ

轉廢業ノ問題ガヤカマシクナッテ居リマス

カラ、ソレ等ニ付テノ狀況、朝鮮語或ハ臺

灣語ノ狀況、日本語ノ普及ノ狀況、産業ノ

極ク概括的ノ問題、更ニ思想ノ傾向、サッキ

ノ民族問題等、或ハ統治ノ大體ノコトハ伺

ヒマシタガ、一般ノ人民ノ思想ノ傾向ト云

フヤウナコトニ付テ、極ク概括的ナ御話ヲ

伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中武雄君) 只今ノ御質問ニ

御答ヘ申上ゲマス、一般民ノ生活ノ狀況、

電力使用ニ依リマスル輕金屬工業ト云フヤ
ウナ方面ガ朝鮮ニ期待サレテ居ル、輕金屬
竝ニ電力ヲ用ヒマスル諸化學工業ト云フヤ
ウナモノガ朝鮮ニ期待サレテ居ル産業デゴ
ザイマスルガ、段々併シ資材等ノ關係モゴ
ザイマスルノデ、只今ハ主トシテ此ノ製鐵、
特ニ最近ハ無煙炭ノ利用ニ依リマスル所ノ
製鐵ト云フモノ、ソレカラ朝鮮ガ特殊ノ重
要性ヲ持ッテ居リマスル特殊礦物、「タンダ
ステン」デアリマスルトカ「モリブデン」、
黒鉛、水鉛、螢石、「ニッケル」、「コバルト」ト
云フヤウナ、物ニ依リマシテハ全ク百「パー
セント」朝鮮ニ依存ヲ致シテ居リマスル
重要礦物ガゴザイマスルノデ、サウ云ツタ
ヤウナ特殊礦物ノ増産ト云フモノニ只今全
力ヲ傾倒致シテ居リマス、尙又輕金屬工業
ニ付キマシテハ、無論ハ飛行機等ノ資材
ニナリマスルノデ、只今申上ゲタ電力ニ對シ
マスル特長ト相俟チマシテ、輕金屬工業ノ
増産ト云フコトニ進ンデ居ルノデアリマス、
ソレカラ思想ノ傾向デゴザイマスルガ、是
ハ此ノ民族運動ノ狀況ハ先程申上ゲマシタ
通りデアリマシテ、其ノ他ノ思想傾向ハチ
ヨット先程觸レマシタ如クニ、時局ガ斯ウ云ッ
タヤウナ時局デゴザイマスノデ、官民ヲ舉
ゲマシテノ鍊成ト云フコトニ今精進ヲ致シ
テ居リマス、特ニ小磯總督赴任以來、朝鮮
ノ人々ハ御承知ノ通り體力ニ於キマシテハ
内地人ヲズツト凌駕シテ居リマス、諸般ノ
運動競技ニ於キマシテモ、體力ノ點ニ於キ
マシテハズツト優レテ居ルノデアリマスガ、
問題ハ矢張り精神上ノ問題ダト思ヒマスノ
デ、團體ノ本義透徹、道義のナ、道義朝鮮
ノ建設ト云フコトヲ目標ニ重點ヲ置イテヤ
ラレテ居リマス、今回ノ豫算等ニ於キマシ

テモ其ノ鍊成ノ方面ニ相當ノ施設ヲ加ヘル
コトニ致シマシテ、其ノ一般的ノ鍊成計畫
ト、ソレカラ徵兵制實施ニ伴ヒマスル、毎
年十萬以上ノ人間ニ對シマスル國語普及ヲ
兼ネテ思想陶冶ト云フヤウナ方面ニ對スル
鍊成ニ重キヲ置イテ居リマスルノデ、段々
ト兵トシテ入リマスル者、竝ニ入リマセヌ
産業方面ノ戰士ニ對シマシテモ、段々ト思
想ガ着實ナル者ガ殖エテ參ルト思ッテ居ル
ノデアリマス、思想ノ傾向ハ段々ト日本……
本當ニ日本ト一緒ニナツテ進ンデ行クト云
フヤウナ傾向ハ逐年進ンデ參ッテ居ルヤウ
ナ狀態デアリマス、一應是ダケヲ申上ゲマ
ス
○子爵岡部長景君 食糧ノ配給ニナツテ居
ル物ハドレダケノ品目ガ配給ニナツテ居リ
マスカ
○政府委員(田中武雄君) 大體米、麥其ノ
他ノ雜穀、ソレカラ雜穀ノ中ニ芋ハ入ッテ居
リマスガ、ソレカラ滿洲カラ參リマスル所
ノ大豆及大豆粕ト云フヤウナ物、ソレカラ
ソレデモ尙且十分デゴザイマセヌノデ、勿
論朝鮮ニハ從來トモ春窮季ニハ色々ノ山野
ノ草ヲ取ツテ、草根木皮ヲ食ベテ居リマスル
事例ハ前カラアルノデアリマスケレドモ、
特ニ昨午カラ今年度ニ掛ケマシテハ、ソレ
等ノ物ハ申スニ及バズ、名モナキ、今迄顧
ミテ居リマセヌデシタ海藻、海ニ生エテ居
リマス所ノ海藻ヲ取リマシテ、之ヲ粉ニシ
テ食ベルト云フヤウナコトモ非常ニ獎勵シ
テヤラシメテ居ルノデアリマス、大體サウ云
フ海デ取リマス物トカ云フヤウナ物ハ別ニ
配給デゴザイマセヌケレドモ、先程申上ゲ
マシタ種類ノ米其ノ他ノ雜穀商品ハ全部統
制ヲ執リマシテ配給ヲ致シテ居リマス

○子爵岡部長景君 砂糖トカ鹽トカ、サウ
云フ物ハドウデスカ
○政府委員(田中武雄君) 砂糖、鹽ノ如キ
モ無論……砂糖ハ無論デアリマスガ、鹽モ
朝鮮ニ於キマシテハ專賣ヲ致シテ居リマス
ルガ、尙自給自足ニ足リマセヌノデ、是ハ
モウ適當ニ規正ヲシテ配給致シテ居リマス
ガ、必ズシモ全體ヲ只今切符制度デヤツテ居
ルト云フ譯デハゴザイマセヌ、唯規正ヲ適
當ニ致シマシテ、五六軒乃至七軒バカリヲ
單位デ愛國班ト云フモノヲ創設致シテ居リ
マスガ、ソレ等ノモノノ活動ニ依リマシテ
十分規正ヲシテ、道當局等ガ主ニナリマシ
テ配給ヲシテヤル、斯ウ云フヤウナコトヲ
ヤツテ居リマス
○子爵岡部長景君 朝鮮語ノ問題ハドウ云
フ風ニナツテ居リマスカ
○政府委員(田中武雄君) 朝鮮語ノ問題ハ
勿論國語ヲ獎勵致シテ居リマス、近來又特
ニ徵兵制度ノ實施ニ伴ヒマシテ、先ヅ國語
ノ習熟カラト云フヤウナコトデ、國語ノ獎
勵ヲ非常ニ致シテ居リマス、朝鮮語ハ別段
話ヲスルコトヲ禁ジテ居ル譯デハゴザイマ
セヌガ、成ルベク國語ヲ使ハウト云フ運動
ハ非常ニ展開サレテ居リマス、唯學校ニ於
キマシテノ朝鮮語ト云フ教科目ハ、是ハ只
今ノ所ハゴザイマセヌ、取リマシタノデア
リマスガ、併シ朝鮮語ノ使用ヲ一切禁ズル
ト云フヤウナコトハ、是ハ相當民政ニ關シマ
スル重大ナ問題デアリマスルノデ、國語ノ
獎勵ハ致シテ居リマスルケレドモ、朝鮮語
ノ使用禁止ト云フコトニ付キマシテハ實ハ
致シテ居リマセヌノデアリマス
○子爵岡部長景君 今ノ朝鮮語ノ問題ハ、
私ハ其ノ方針デヤツテ戴クコトハ大變結構

ダト思ヒマスガ、實ハ昨年參リマシタ時分
ニモ、非常ニ彈壓的ニ嚴禁主義ヲ執ツテ居ル
ヤウニ聞キマシタモノデアリマスカラ心配
シテ居ッタノデアリマス、今ノヤウニ常識的
ニヤラレルコトハ非常ニ結構ト思ヒマスガ
國語ヲ教ヘル場合ニ國語ヲ教ヘル先生自身
ガ、國民學校アタリデハ非常ニ貧弱デハナイ
カト思ヒマス、變ナ間違ッタ國語ノ先生ガ國
語ヲ教ヘルト云フコトニナルト、却テ國語
ヲ非常ニ案スヤウナコトニナリ、正シイ國
語ノ普及ノ上ニ却テ害ニナルヤウナコトニ
ナリハシナイカ、ソレハ正シイ國語ヲ教ヘ
ルニ十分ナル準備ガ出來テ、國民學校アタ
リハヤツテ居ラレルコトガアリマセヌカ、寧
ロ教員ノ十分ナル準備ガ出來ル迄ハ餘リ徹
底シタ方針ヲ執ラレルコトハ結果ハ面白ク
ナイデヤナイカト云フヤウニモ考ヘラレル
ノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ
○政府委員(田中武雄君) 御尤モ御質問
デアリマシテ、只今ノ所ト致シマシテ最モ
頭痛ノ種ハ其ノ教員ノ問題デアリマス、何
分朝鮮人ハ教育ニ對シマスル熱ハ非常ニ旺
盛ナコトハ大正八年以來サウデアリマスガ、
非常ニ旺盛デアリマシテ、教育ノ爲ナラ何
ヲ質ニ置イテデモヤルカラ學校ヲ増設シテ
貰ヒタイ、此ノ希望ハ實ニ熾烈ナノデアリ
マス、ソレデ朝鮮當局ト致シマシテモ、色
色ノ觀點カラ朝鮮人ノ自由ニ對シテ拘束ヲ
加ヘルト云フヤウナコトモ多イノデアリマス
カラ、從來治安ガ惡ケレバ惡イ程サウ云フ
コトガ多カッタモノデアリマスカラ、教育ト
云フヤウナコトニ付キマシテハ事情ノ許ス
限り民度ニ應ジテ進メテ參リマシテ、ソレ
デ只今一面一校ヲ突破致シマシテ、サウシ
テ今度義務教育ヲ實施ヲシテ、一萬二三千

學級ヲ増加スルコトニ致シテ居ルノデアリ
マスガ、教員ガ十分デナイト云フコトガ是
ハ事實デアリマス、從ヒマシテ此ノ教員ヲ
相當ナモノヲ作ラナケレバナラス、斯ウ考
ヘマシテ師範學校ノ増設、今回ノ學制改革
ニ付キマシテ朝鮮ハ内地ト違ヒマシテ、
必ズシモ師範學校ノ昇格ト云フヤウナコト
ニハ重點ヲ置キマセヌデ、先ヅ以テ初等教
員ノ良イ者ヲ作ッテ行クト云フヤウナコト
デ、從來ノ、詰リ尋常師範學校、此ノ普通
ノ師範學校ノ増設ヲ圖リマシテ、サウシテ
此ノ教員ヲ獲得ニ今大重ニナッテヤッテ居リ
マス

○子爵岡部長景君 交通ノ問題ハドウ云フ
コトニナッテ居リマスカ、是ハ從來滿洲、支
那方面ノ物資ハ大部分船デ來タモノガ、此
ノ頃ハ朝鮮經由ノモノガ非常ニ多イノデア
リマスガ、今日ノ輸送能力デハ非常ニ不足
デアルガ、何カ増設或ハ新設トカ、其ノ他
ノ方策ヲヤッテ居ラレノデアリマスカ、ド
ノ程度ニ進行中デアリマスカ

○政府委員(田中武雄君) 交通ノ問題モ色
色ノ問題ガゴザイマスケレドモ、主トシテ
ノ問題ハ北方ヲ睨ンダ場合ノ、詰リ滿洲朝
鮮間ノ此ノ交通ノ能力強化ノ問題、又最近
ハ海運ヨリ陸運ニ轉換致シマシタ其ノ重ネ
テ附加サレマシタ使命ニ對シテ之ヲ如何ニ
果シテ行クカ、此ノ二ツノ點ニ重點ヲ置キ
マシテ、港灣ノ計畫及ビ鐵道ノ改良、建設
ノ計畫ヲ進メテ居ルノデアリマスガ、大體
是ハ朝鮮總督府モ無論主體デアリマスケレ
ドモ、大體ハ參謀本部、軍、軍部關係ノコ
トガ多イノデアリマシテ、ソコデ之等ニ付
キマシテハ軍、企畫院、朝鮮總督府ト云フ
モノガ一丸ニナリマシテ、交通ノ強化對策

ト云フモノヲ立テマシテ、ソレニ基イテ只
今進メテ居ルノデアリマス、何ト申シマシ
テモ朝鮮ト致シマシテハ、新義州カラ釜山
ニ通ル鐵道ノ能力強化、之ノ復線ノ増強
ト云フヤウナコトニ主眼ヲ置イテ居リマシ
テ、今回モ其ノ幹線ノ強化ノ爲ニ一部私設
鐵道ノ買収ヲ御協賛ヲ御願ヒスルヤウニ致
シテアルノデアリマスガ、サウ云フ目標ニ
進ンデ居リマス

○子爵岡部長景君 朝鮮ノ方ハ大體此ノ程
度伺ヒマスレバ結構デアリマス、臺灣ノ方
ヲ一ツ……

○政府委員(齋藤樹君) 御答ヲ申上ゲマス、
順序ハ狂フト存ジマスガ、先刻水野先生ノ
御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマシタノニ、
モウ一ツ唯一點附加ヘマシテ、本島人ノ思
想狀態ヲ觀察シテ願ヒタイト思ヒマス、大
體大東亞戰爭勃發前後カラ臺灣ガ色々意
味ニ於テ、基地トシテ役目ヲ十分ニ果シタ
ト云フ自覺ト申シマスルカ、認識ガ本島人
一般ニ對シマシテハ非常ナル感激ヲ與ヘテ
居リマス、從ッテ又臺灣ガ從來日本ノ發展方
向ヲ南方ニアリト考ヘテ努力シ來リマシタ
色々ナ研究若シクハ、調査ノ活用セラルベ
キ時機ガ到來シタノデアルト云フ考方カラ、
本島人一般ニ非常ナル明ルサヲ持チ、將來ニ
對スル希望ヲ懷イテ居リマス、中央政府ニ
於キマシテモ臺灣ノ智識、經驗、是等ハ極
度ニ活用スルコト云フ方針ト下ニ、人モ物モ南
方ニ臺灣カラ供出セラレテ居リマス、例ヘ
テ申シマスレバ總督府關係ノ事務官、技術
官、教員、警察官等ニシテ南方各地ニ送出
サレマシタモノハ、相當數ニ上ッテ居リマ
ス、之ニ國策會社、製糖會社或ハ其ノ他
ノ民間會社ノ事業上ノ要員トシテ送出サレ

タモノヲ加ヘマス驚クベキ數ニ上ッテ居
ルノデアリマス、本島人ノ青年ハ、或ハ黃
麻ノ栽培若シクハ棉花ノ栽培等ノ現地ニ於
ケル下級指導員トシテ相當數極メテ若イ青
年モ參ジテ居リマス、是等ノ事實ガ非常ニ明
ルサヲ與ヘ、臺灣ノ將來ニ對スル大キナ希
望ヲ與ヘテ居リマスコトガ人心ヲ落チ著カ
セ、極メテ安定セシメテ居ルト云フコトヲ
附ケ加ヘテ申上ゲタイト存ジマス、島民一
般ノ生活狀態カラ申シマスルト、斯様ナコ
トヲ申上ゲルコトハ或ハ御叱リヲ受ケルカ
モ知レヌト存ジマスルガ、相當ノ消費規正ヲ
致シテハ居リマスルケレドモ、而モ尙内地ニ
比較致シマスルト、生活ハ配給以外ノ物資
ニ付テハ矢張り何ト申シマシテモ豊富ト云
フコトガ言ヒ得ルト存ジマス、私ナドモ東
京ニ參リマスルト翌日カラ臺灣デハト、
臺灣ヲ想ヒ出ス位ノ氣持ヲ再々抱クヤウナ
狀態デゴザイマス、島民一般ト致シマシテモ
勿論米、雜穀、或ハ食用ノ油、諸澱粉類ノ如キ
ハ配給ニナッテ居リマス、又非常ナ滯貨ノ山ヲ
眺メナガラ、砂糖ノ如キハ矢張り内地並ノ規
正ヲ受ケテ居リマス、併シソレデモ内地ニ
比較致シマシテ物資總量ノ極メテ不足デア
ルガ爲ニ、配給セラレマスル品目ハ若干
少イト思ヒマス、ソレダケ生活上ノ苦痛感、
不足感カラ來ル不滿不平ト云フヤウナモノ
ハ、内地ニ比較致シマスレバマダ〱大シ
タコトハナイヤウニ感ジテ居リマスガ、米
ノ配給量ニ致シマシテモ、嘗テハ内地ヨリ
相當一人當リノ一日配給量ヲ少クシテ居リ
マシタノデアリマスルガ、昨年ノ一期米ノ
收穫後、内地並ノ配給量ニ致シマシテ、之
モ相當民心ノ安定ニハ役立ッテ居ルヤウニ
存ジテ居リマス、生活一般ノ狀態ト致シマ

シテハ特ニ食糧ガ中心デアリマスルガ、懸
念スベキ狀態ニハ立至ッテ居リマセヌ、ソレ
カラ教育ニ關係致シマシテ臺灣ノ義務教育
制度ハ、十五年度以來三年間ノ準備ヲ致シ
マシテ、只今全島ノ就學率ハ八十一パーセ
ントニ上ッテ居リマス、昭和十八年度明年度
ヨリ義務教育制ニ入ルノデアリマスルガ、
義務教育制ヲ實施致シマスル場合ノ計畫ト
シテハ、目標ハ八十「パーセント」デアッタ
ノデアリマス、既ニ三箇年ノ準備期間中ニ
就學率ハ其ノ率ヲ超過致シマシタノデアリ
マス、又十八年度カラハ青年學校義務制ノ
準備ニ著手致シマシテ、十八、十九ノ二箇
年間ノ準備期間ヲ以チマシテ、二十年度カ
ラ義務制ヲ實施致シマシテ、將來ノ青年教
育ニ備ヘタイト、斯様ナコトデ十八年度ニ
ハ其ノ準備期間ノ費用ガ計上セラレテ居リ
マスルノデアリマス、尙附加ヘテ申上ゲマ
スルト、高砂族ノ教育ハ從來極メテ「ルー
ズ」十四年間ノ教育ヲ施シテ居タノデアリ
マスルガ、之モ十八年度ヨリ六年制ヲ採用
致シマシテ、三箇年ノ繼續事業トシテ、二
十年度ニハ相當澤山ノ六年制ノ小學校ヲ番
地ニ施設スル計畫ヲ致シテ居リマス、國語
普及ノ點ニ付キマシテハ、中川總督ノ時代
ニ始メテ簡易國語講習所ト云フモノガ作ラ
レタサウデアリマスガ、前小林總督ノ時代
ニ是ガ非常ニ擴充セラレマシテ、爾來今日
デハ全島ニ一萬六千箇所餘モ簡易國語講習
所ガ作ラレテ、サウシテ現在其ノ講習所ニ
學ンデ居リマスル者ハ、是ハ相當チ老人モ
行ッテ居リマスガ、老若男女ヲ合セマシテ七
十二萬ト云フ數ニ上ッテ居リマス、一般的ニ
ハ五十「パーセント」迄國語ヲ解スル者ヲ殖
シタイト云フ標準ヲ以テ其ノ施設ハ講ゼラ

レタト云フコトヲ承テ居リマスルガ、今日ニ於キマシテ大體六十「パーセント」近クノ國語解者アリト云フコトニ報告セラレテ居リマス、少クモ日常ノ會話ニ於テ國語ノ話ガ出來テ、不自由ヲ感ジナイ者ガ百六十萬ト推算サレテ居リマス、國語普及ノ熱ハ本島人ノ間ニ相當熾烈デゴザイマシテ、中ニハ本島人ノ家庭ニシテ家庭内デ既ニ臺灣語ガ、詰リ是ハ小學校デ新シイ教育ヲ受ケタ子供ノ關係カラ、臺灣語ガ通ジナクナッテ居ルヤウナ家庭モ出來ツ、アルト承テ居リマス、經濟統制或ハ轉廢業等ノ問題ニ付キマシテ申上ダレバ隨分色々申上ダルコト「バゴザイマスガ、マダ大シタ逼迫シタ狀態ニ立至ッテ居リマセヌ」ノデ、準備ダケハ十分ニ進メツ、アリマスケレドモ、御懸念ニナリマスルヤウナ事情ニハ當分到達スルコトハナイダラウト、斯様ニ思ッテ居リマス

○子爵岡部長景君 マダ伺ヒタイコトモアリマスケレドモ、モウ時間モナンドスカラ此ノ程度デ……

○主査(男爵山川建君) ソレデハ此ノ程度デ午前中ハ休憩ニ致シマス

午後零時八分休憩

午後一時三十八分開會

○主査(男爵山川建君) ソレデハ開會致シマス

○山隈康君 成ルベク簡單ニ申上ダマス、近來市制施行ノ地方段々増加スルノ傾向ガアリマシテ、現在ニ於キマシテモ、將來ニ於キマシテモ都市トシテノ實質ヲ備ヘ、若シクハ備ヘナイ都市ニサヘ市制ガ施行サレマシテ、私共ヲシテ言ハシメマスレバ、何ガ爲ニ市制ヲ施行スルノ必要ガアツカト

云フコトヲ疑ハシメ、單ナル市トシテノ誇リ、其ノ虛榮ヲ満足セシメムガ爲ニ企テラレタルコトモ尠クナイヤウニ感ジ得ラレルノデアリマス、御承知ノ如ク都市ハ商業ノ中心ト致シマシテ、其ノ施設經營モ亦商業ニ重點ヲ置クノハ當然デアリマス、近來ノ如ク市制ヲ施行セムガ爲ニ附近ノ町村、殊ニ純農村迄合併致シマシタ爲ニ、農家ヨリ選出セラレマシタル議員ト商業者ヨリ選出サレマシタル議員トノ間ニ往々意見ノ衝突ヲ來シマシテ、施設經營ニ重點ヲ失ウテ頗ル混雜ヲ來ス嫌ヒガアルヤウデアリマス、殊ニ從來町會、若シクハ村會等ニ於キマシテハ座談的ニ極メテ和カニ議事ヲ進メタモノデアリマスルガ、市制施行後ニ於キマシテハ議長ヲ選任シ、演壇ヲ設ケ、議論ノ爲ニ議論ヲスルト云フヤウナ傾向ガ見エマシテ、市會ト市ノ當局者トノ對立抗爭ヲサヘ見ル弊ガアルヤウデアリマス、又純農村ノ子女ガ市ト云フコトニ相成リマスルト、自然自己ノ生活ガ贅澤ニ流レマシテ、素朴ナル農村ノ氣分ヲ失フノ傾向モ見受ケルノデアリマス、更ニ四五萬ノ都市モ四五萬ノ都市モ同等ノ資格ノアル關係カラ致シマシテ、其ノ體面ヲ保ツ爲ニ無用ノ費用ヲ投ジ、市民ノ負擔ハ加重サレ、サウシテ其ノ内容、實質ニ於テハ舊態依然タルモノガ尠クナイヤウニ見受ケルノデアリマス、故ニ私ハ少クトモ人口十萬以上ヲ有シ、而モ其ノ十萬ノ中ニ七十「パーセント」ノ程度ニ於キマシテ商業工業ヲ營ム、斯ウ云フ者ヲ包容スル地域ニ限ッテ市制ヲ施行ヲ認メルト云フヤウニ爲スベキモノデハナイカト思フノデアリマス、更ニ私ノ慾ヲ申シマスレバ二十萬以上ノ人口ヲ有シ、而モ七十「パーセント」ノ商業工業者ヲ有スル地域ニ對シテ市制ノ施行ヲ認メテ、而モ之ヲ衆議院議員ノ獨立選舉區ニスル、御承知ノ如ク從來六大都市ヲ除キマスルノ外、市ノミニ依ッテ選出セラレタル衆議院議員ト云フ者ハナイノデアリマス、從ッテ經濟ノ中心デアリ、文化ノ中心デアリ、更ニ又國費ノ大半ヲ負擔致シマスル市ノ總意ヲ中央ニ反映スル機會モナイヤウデアリマス、併シ是ハ多少突飛ノ議論ノヤウデアリマスルガ、ソレハ暫ク措クト致シマシテモ、少クトモ今少シク市ノ本質、使命ニ檢討ヲ加ヘラレマシテ、ソレニ適應ヲシナイ地域ニ對スル市制施行ハ斷ジテ認可ヲシナイ、斯ウ云フ方針ヲ採ラレナケレバ、今ノヤウナ無暗ニ虛榮ニ依ッテ市ノ濫立ヲ見、其ノ爲ニ純農村ニモ影響スルノミナラズ、徒ニ費用ノミ増加致シマシテ其ノ實ハ之ニ伴ハナイ斯ウ云フ傾向ヲ見ルノハ頗ル遺憾ト存ズルノデアリマス、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ求メタイト思ヒマス

○政府委員(山崎巖君) 最近御話ノヤウニ市制施行ヲ希望シマスル地方ガ相當増加ヲ致シテ居ルヤウニ私共認メテ居ルノデゴザイマス、是ハ固ヨリ色々原因ハアルト思ヒマスガ、一ツハ最近御承知ノヤウニ、軍需工場其ノ他急激ニ立地ヲ致シマスル關係上、ソレニ伴ヒマシテ相當一地方ニ人口ガ激増致シマシテ、サウ云フ關係デ市制施行ヲ希望シテ來ル地方モアルヤウデゴザイマス、併シ又一方ニハサウ云フ特殊ノ原因デハナクシテ、唯人口ガ相當デアルカラ是非市制ヲ施行シテ見タイト云フヤウナ希望ノ向モアルヤウニ思ハレルノデゴザイマス、固ヨリ此ノ市制施行ニ付キマシテハ、從來カラ地方ノ要望ヲ十分ニ斟酌致シマシタコトハ勿論デゴザイマスガ、都市トシテノ經營ノ上カラ、或ハ經濟方面、或ハ文化方面其ノ他各種ノ施設ニ付キマシテモ、相當檢討ヲ加ヘマシテ認可ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今御話モゴザイマシタヤウニ、純農村ヲ合併シマシテ、其ノ結果從來ノ農村ノ醇朴ノ氣風ヲ或ハ阻害スルコト云フヤウナ實例モ絶無デハナイヤウニ思ハレルノデゴザイマシテ、此ノ市制施行ニ付テハ併ヒマス弊害ニ付テハ、市制施行ノ際ニ十分ニ檢討ヲ加ヘテ、今後モサウ云フ遺憾ノナイヤウニ致サナケレバナラヌト云フコトモ、私共モ十分ニ認メマスル所デゴザイマス、尙只今將來ノ市制施行ノ標準ニ付テノ御意見デゴザイマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ内務省ニ於キマシテモ、現在ハ御承知ノヤウニ不文律トデモ申シマセウカ、大體人口三萬以上デアッテ、都市ノ形態ヲ相當備ヘテ居ル場合ニハ市制施行ヲ認メテ居ルヤウナ例ニナッテ居リマス、併シナガラ今日ノ全體ノ情勢カラ考ヘマシテ、此ノ不文律デアリマスル標準ガ果シテ適當デアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、再檢討ヲ要スルノデヤナイカト考ヘマシテ、目下内務省自身ニ於キマシテモ此ノ標準ニ付キマシテ色々檢討ヲ加ヘテ居ル所デゴザイマス、只今御述ニナリマシタ御意見ニ付キマシテモ、私共此ノ標準ヲ檢討致シマスル場合ニ、十分ニ參考ニ致シマシテ遺憾ノナイヤウニ致シタイト存ジマス

○山隈康君 尙聽キタイコトモアリマスケレドモ、制限ノ時間ガ到達致シマシタカラ是デ打切りマス

○男爵松平外與麿君 實ハ昨日御伺ヒシヨ

ウト思ッテ御伺ヒヲ忘レタノデ伺ヒタイト
思ヒマス、或ハ是ハ困難ナ問題カモ知レマ
セヌガ、警防團員ナルモノハ大體職ヲ持ッ
テ居ル方ガ多イノデアリマス、併シ活動能
カト云フ點カラ言ヘバ、相當成年者ト云フ
モノヲ之ニ加ヘナケレバ、ナカ／＼本當ノ
活動ヲサス場合ニハ困難デアリマス、處ガ
若イ者ヲ採リマス場合ニハ一方ニ於テハ徵
用令ト云フモノガアルノデアリマス、是ハ
蟲ノヨイ御願ヒカモ知レマセヌガ、警防團
員ナルモノハ勅令ニ依ッテ制定サレタ所ノ
モノデアリマシテ、相當國家ニ對シマシテ
奉公スル職務ヲ持ッテ居ルモノデアリマス
ガ、是等ニ對シテ徵用關係ト云フモノハ何
等カ緩和スル途ガナイモノカドウカラ第一
ニ伺ヒタイ、是ハ第一デアリマス、其ノ次ハ
諄イヤウデアリマスガ、表ナニカラ拜見致
シマス、昨日申上ゲタノデスガ、酒匂川
ト大戸川ト此ノ年度割ヲ拜見致シマス、
十八年度ト十九年度ノ額ヲ較ベテ見マス、
十八年度ニ對シテ十九年度ハ六倍以上ノ費
額デアリマス、又一方ノ大戸川ニシマシテ
モ、約四倍以上デアリマス、非常ナ殖エ方
デ、外ノ表カラ見マス極端ナ増額ニナッテ
居リマスガ、理由ハ昨日御話サレタ理由ニ
依リマスノデセウケレドモ、餘リニ其ノ比
率ガ突拍子モナイ上リ方ヲシテ居ルト云フ
コトハ、何等カ是ハ將來ノ、唯川ノミデナ
ク何等カ之ヲ一體トスル所ノ河川トカ何ト
カノ統制、河川行政、利水ノ關係ト云フヤ
ウナモノモ加味サレタ問題ガ含マレタモノ
デヤナイカト云フ感ジガ致シマス、外ト較
ベマシテ非常ニ差ガ多過ギルト云フコトニ
付テハ、何カ外ノ目的モ併セ考ヘラレテ施
工サレルノデヤナイカト考ヘラレマスガ、

此ノ點モ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、次ハ
希望トシテ申上ゲテ置キマスガ、先程神祇
院ノ副總裁ニモ申上ゲタノデアリマスガ、
森林ノ大伐採ガ行ハレマス、色々ナ方面ノ
森林ト云フモノガ伐採サレル、又日光ノ街
道ノ杉並木モ御用ニ立ツト云フヤウナコト
ヲ豫ネ／＼聞イテ居リマス、從ッテ神社ノ
有スル所ノ山林ト云フモノモ考ヘナケレバ
ナラス問題デアリマス、併シ是ハ勿論斯ウ
云フ時局デアリマスカラ、御用ニ立チマス
レバ其ノ神社有林ト致シマシテモ差出スコ
トハ當然デアリマスガ、併シ神社ト云フモ
ノハ或意味ノ境内ノ廣サ、又ソレニ對スル
所ノ風致、斯ウ云フコトモ相當考ヘナケレ
バナリマセヌカラ、一般並ノ比率ヲ以テ森林
ヲ伐採スルト云フコトハ、却テ神社ノ尊嚴
ヲ冒瀆シヤシナイカト云フ感ジガ致シマス、
是ハ先程ノ御話デ分リマシタケレドモ、特
ニ此ノ點ハ十分ニ御考慮ニナッテ、若シ遊
バス場合ニハ餘程其ノ計畫ヲ細カク御決メ
ニナリマシテ、之ニ當ラレムコトヲ希望致
シマス

○政府委員(山崎巖君) 第一ノ御尋ニ付キ
マシテ私カラ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
警防團員ハ御話ノヤウニ、本來ノ仕事ヲ持ッ
テ居リマスル者ガ多イノデゴザイマシテ、
或ハ徵用ヲ受ケマス場合ニハ、警防團員ノ
本來ノ使命ニ非常ニ支障ヲ生ズルコトト相
成ルノデアリマス、殊ニ多數同時ニ徵用デ
モ受ケマスル、警備計畫ノ上ニモ齟齬ヲ
來スト云フヤウナコトニ相成リマスノデ、
此ノ徵用ノ關係ト警防團員トノ調整ヲドウ
スルカト云フコトハ、内務省トシマシテモ
苦心ヲ拂ッテ居ル所デゴザイマス、就キマシ
テハ厚生省方面ニモ、正面カラ申シマスル

ト徵用令ヲ除外スルコトハ困難デゴザイマ
スケレドモ、實際ノ活動ニ當リマシテ、警
防團員ニ付テ特ニ考慮ヲ拂ッテ貰ヒマスル、
ヤウ厚生省方面ニモ内務省カラ意見ヲ述ベ
又厚生省デモ其ノ點ニ付キマシテハ相當ノ
了解ヲ致シテ居リマスルヤウナ次第デゴザ
イマス、第二ノ問題ニ付キマシテハ國土局
長カラ申上ゲマス

○政府委員(新居善太郎君) 再度ノ御尋デ
ゴザイマシテ、主トシテ今酒匂川ト大戸川
ノ御尋デゴザイマスガ、主トシテ大戸川ダ
ト思ヒマスカラ、大戸川ニ付テ申上ゲタイ
ト思ヒマス、十八年度カラ後ノ年度ニ於ケ
ル豫算ノ年度割ガ急ニ大キクナッテ居ルガ、
豫算ノ編成上ドウカト云フ點ト、ソレカラ
何カ特殊ナ理由ガアルンデヤナイカト云フ
風ヲ御尋ノヤウニ拜承シタノデアリマス、
大戸川ガ非常ニ重要デアルコトハ昨日申
上ゲマシタ通りデゴザイマシテ、尙且昨日申
上ゲマセヌデシタガ、是ハ明治四十二年及
大正十年ノ兩度ノ臨時治水調査會ニ於キマ
シテ、我が國ノ治水ニ對シマシテ朝野ノ權威
者ニ集ッテ戴キマシテ大方針ヲ立テタノデゴ
ザイマスガ、其ノ後昭和八年ニ御承知ノ通り
土木會議デ又其ノ治水計畫ニ對シマシテ根本
的ノ檢討ヲ加ヘテ、所謂第三次治水計畫ヲ確
立シタノデアリマス、其ノ時ニ河川ノ改修ト
砂防ト云フモノニ對シマシテ將來ノ計畫ヲ立
テタ、其ノ砂防トシテ從來ノ計畫ハ其ノ通り
遂行シタクチャナラス、併シ更ニ十九ノ河川
流域ニ當ッテハ是亦非常ニ大切デアアルカラ
之ヲ十箇年以内ニ著手シテ、十五箇年以内
ニ完成シナケレバナラスト云フ決議ニナッ
テ答申サレテ居ルノデアリマス、其ノ中ニ
ハ此ノ大戸川ガ入ッテ居ルノデアリマス、ソ

レデアリマスカラ我々ト致シマシテモ、從
來此ノ土木會議ノ決議トシテ第三次治水
計畫ガ確立シマシタカラ、此ノ實現ニ努メ
テ居ッタノデアリマスガ、種々ノ關係カラ今
日ニ至ッタノデアリマシテ、今年度漸ク財務
當局ノ認メル所トナッテ、豫算ノ編成サレタ
コトヲ我々ハ砂防ノ見地カラモ非常ニ喜ン
デ居ル次第デアリマス、ソレデ今度ハ土木
工事全體ト致シマシテ我々ガ近來特ニ痛感
致シテ居リマスノハ、色々既定豫算モアリ
マス、又新規ニ新シイ客觀的情勢ニ依ッテ計
上サレタモノモアリマスガ、之ヲオシナベ
マシテ、現在ノ國家ノ情勢カラ致シマシテ
重點的ニ常ニ檢討致シテ行カナケレバナラ
スト云フコトヲ痛感サセラレルノデアリマ
ス、ソレデ著手シタ所、又新シク起工スル
所、地元カラ云ヘバ各、自分ノ所ヲ成ルベ
ク早クヤッテ貰ヒタイト云フコトハ、是ハ御
尤ト思ヒマスガ、併シ國家の見地カラ致シ
マシテ、之ニドウシテモ檢討ヲ加ヘテ行カ
ナケレバナラスト云フコトヲ考ヘマシテ、
今回ハ河川ト云ハズ、港灣ト云ハズ、道路
ト云ハズ、總テ從來ノ繼續費ニ對シマシテ、
ハ檢討ヲ加ヘマシテ、例ヘバ軍事施設ノ關
係或ハ生産力擴充ノ關係カラ致シテ、ドウ
シテモ是ハ早クヤラナケレバナラスト云フ
箇所ハ繰上ゲモ致シマスシ、又從來御承知
通り繼續費ノ豫算ハ後年度ニナリマシテ段々
豫算額ガ殖エテ參リマスノデ、之ガ積リ
積ッテ全體ヲ合セマス非常ナ額ニナリマス
ノデ、新シイ豫算ノ編成ノ時ニ、資金計畫、
物動計畫ト云フ枠ニ當嵌メル時ニ又非常ニ
苦心スルノデアリマス、サウ云フ關係カラ
致シマシテモ豫算ヲ繰延ベセザルヲ得スト
云フ状態ニモナリマスノデ、サウ云フ時ノ

繰延ニ當リマシテモ極メテ重點的ニヤルト云フ風ナコトヲ考ヘマシテ今度ヤツノデアリマスガ、サウ云フ考ヲ一方ニ持ツト同時ニ、又工事ノ能率ヲ非常ニ良クスルト云フコトカラ考ヘマシテ、一箇所當リ、是ハマアザツクバラシニ申上ゲマスガ、苟クモ國トシテ直轄シタルト云フ以上ハ、マア色色ナ事情ガアツテ急ニサウ變更モ出來マセヌケレドモ、成ルベク一箇所當リノ金額ト云フモノハ、工事能力ヲ最大ニ發揮出來ルヤウニシタイト云フ考ガ一方ニアリマスノデ、ソレデサウ云フ考デ豫算ヲ編成致シタノデアリマス、ソレデ大戸川ニ付キマシテモ昨日申上ゲマシタヤウナ豫算編成ノ方針ノ一項目トシテ、原則トシテ三箇年以内ト云フコトガアリマスノデ、三箇年以内ニ是ダケノ工事ハ出來ルカラ一ツ彼處ノ重要性ニ鑑ミマシテ、是ダケハ是非ヤリタイト、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ、ソレカラ物價ノ變動カラ致シマシテモ、事變以前ト較ベマシテ、金額ハ殖エマシテモ、工事ノ内容ハ事變前ニ較ベマストソレト同ジヤウナ工事ノ内容ト云フコトニモ參リマセヌノデ、マア此ノ程度ノ金額ト云フコトガ適當デハナイカト斯ウ思ヒマス、ソレカラ初年度少イト云フコトハモウ重々御承知下サルコトト思ヒマスケレドモ、初年度著手スル準備トカ、或ハ豫算ノ配付トカ、工費配付、サウ云フヤウナ手續モアリマスノデ、一年度額ヲ全部使フト云フコトニ少シ困難ガアリマスノデ減ラシテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、頭ダケ突込メバ宜イト云フ風ナ考ハ毛頭持ツテ居ラスノデアリマス、左様御了承願ヒタイト思ヒマス

○田所美治君 二時迄僅力數分間デアリマ

ス、所謂一刻千金ト云フ場合デアリマスカラ、二三御尋ネシタウゴザイマスケレドモ、一點ダケ内務省ノ御方ニ御尋ネシテ置キタイ、國民學校ノ教育ノ俸給ヲ市町村費デ支辨シテ、ソレモ國庫ガ半分負擔シテ居リマスケレドモ、ソレヲ府縣費ニ移シマシタノハ一昨年ノコトデアリマス、一昨年來三年、今年デ三年デアリマスカラ、其ノ結果如何、御感想如何ト云フコトヲ伺ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、實ハ御承知ノ通り是ハ山崎次官モ能ク御承知デアリマセウ、「ヨーロッパ」各國ニ於テモ色々昔カラノ行キ懸リデ國庫トノ關係ハ色々ニナツテ居リマス、「ドイッ」ハ初メ二分ノ一カ三分ノ一位ハ國庫ガ負擔シテ居ッタ、今ハモウ少シ、二分ノ二位ニナツテ居リマセウ、アトハ町村費、「フランス」ハ全額負擔シテ居ル、國庫ガ全額、是ハマア理想的ナヤウナコトデアリマスケレドモ、「フランス」ハ行詰ツテシマツテ、増俸ト云フヤウナコトモ國庫カラ一文モヤレヌト云フヤウナコトデ、却テ國費負擔ノ爲ニ苦シムヤウニナツテ居リマス、「イギリス」ハ又特別「エングダウト・スクール」ノ制度デアリマスガ、是モ約二分ノ一位前カラ負擔シテ居リマセウ、此ノ頃ハ大分變遷シテ居ルカ知レマセヌガ、日本ハ元々町村費全額負擔、ソレデハ町村費ノ負擔ニ堪ヘヌト云フコトカラ二十何年前デアリマセウ、何トカ國庫デ分擔シテヤラウト、國庫半額負擔ノ制度ヲ布キマシテ、大正八年以來デスカ、ズツト今日迄負擔シテ居ル、サウスルト町村ノ方デ今度困テ來テ、貧弱町村ハ其ノ負擔ニ苦シンデ、俸給ノ支拂ガ延滞スルトカ、或ハ支拂不能ニナルト云フコトデ、斯ウ云フコトガ數年續キマシテ、遂ニ是モ

マア何トカシナケレバナラヌト云フコトカラ、全額國庫ガ負擔スレバ宜イト云フ論ガ一方ニアリ、又一方ニサウシテシマッタナラバ「フランス」ノヤウニ困ル場合モアル、國家事變ノ際ニ俸給ガ國庫デ十分支拂フコトモ出來ヌト云フヤウナコトガ起ルンデヤナイカ、數億ニ上ル金ノコトデアルカラト云フノデ分擔主義デ押通シマシテ、審議會ノ問題ニ出マシテ、大分慎重審議ヲ致シマシタ、サウシテ今ノ府縣費負擔ト云フコトニナツテ居ル、國費全額支辨ニナレバ理想的デアリマスケレドモ、ト云フコトデ一昨年採用シテソレヲ實施シタヤウナ譯デアリマスガ、其ノ結果ハドシナニナツテ居リマスカ、斯ウ伺ツテ見タイノデス、今其ノ財政ノ點ハ内務省ノ方ノ御主管デアリマスカラ……、實ハ分與稅特別會計デ縣費デ半額ナリ、一方ハ國費デ出スノデスカラ、唯會計ガ二ツニナツテ居ルダケノ話デアツテ、實際ニ於テハ國費支辨ト殆ト同ジヤウナ譯デス、其ノ點カラ云ヘバ理想ニ近イモノデアルガ、唯サウスルト兩方カラ出シテ行カナケレバナリマセヌカラ餘程教員ノ俸給ヲドノ位ニスルカト云フヤウナコトニ付テハ、始終深イ注意ヲ御拂ニナラヌト却テソレガ爲ニ停頓シテシマフ、教員ノ増俸デアルトカ、待遇ヲ高メルトカ云フヤウナ問題ガ却テサウ云フ爲ニ止リヤシナイカト云フ虞モナイデヤナイ、分與稅モ殖サナキヤナラヌ、國庫ノ負擔モ若干殖サナクチャナラヌ、千萬殖サナケレバ二千萬ノ問題ニナツテ來ルト云フコトデソシナコトヲ恐レルノデスガ、一體マダ三年目デアリマスカラドウ云フヤウナコトニナツテ居リマスカ、文部省ノ方デモ能ク分リマスデスガ、ドノ位年々自然ノ優遇ト云

フヤウナ方面ニ向ケルト云フコトモ出來マセウカ、町村デ勝手ニヤラシテ居ル財政デ其ノ稅高ニ對シテ半額補助スルト云フコトヨリモ、元ハ其ノ時ノ支給額ヲ元ニシマシテ、サウシテ全體ノ半額ニ各府縣ガヤリマスカラ、多少ノ緩急ガ取レテ、自然増俸ト云フモノガ毎年三圓カ五圓カ出來ツ、アルノデナカラウカ、ソレデモガ出來ナケレバ財政ノ移動ダケノ話デアツテ何等良イ結果ヲ見ナイ、斯ウ云フコトニナルコトヲ恐レルノデアリマスガ、實ハ此ノ半額負擔ノ問題モ當初ノ起リハ山崎次官モ御承知デアリマセウガ、教員ノ優遇ト云フモノヲ一面ニ期待シテ居タノデアリマス、一面ニハ町村負擔ノ輕減、斯ウ云フコトデ二ツノ目的カラ始メタ譯デアリマスガ、増俸ノ方ガ却テ窮屈ニナツテ來ルト云フコトデハイケマセヌカラ、國家トシテハ只今ノ小學校教員ハ五十圓トカ六十圓トカ貧弱デ、連モ食フニ食ハレヌト云フ貧弱デ、ソレニ國民教育ノ負擔ヲ背負ハセテ居リマスカラ、ドウシテモ増俸シナクチャナラヌ、是ハ年々ノ問題デ、私モ此ノ間希望シテ置イタノデアリマスガ、今六十圓位デスカ、五十何圓、六十圓位、今度此ノ豫算デ此處ニ分與稅ノ額モ載ツテ居リマスガ、若干御殖シニナル分迄増シテ年功加俸ヲ全部ニヤラウ、是迄ハ成績ノ良イ者ダケニヤツノダガ全部ニヤル、其ノ額ハ今聽イテ見タラ百二十萬圓位ダト云フコトデスカ僅カナモノデスガ、ソレニ賞與ヲヤル、賞與ガ千三百萬圓バカリ殖エテ居ル、是ハ大キナ額デアリマスカラ是ガ平均給ヲ増ス「フアクター」ニナルダラウ、斯ウ思ヒマスガソレ等ニ依ツテ、今年ノ豫算ニ依ツテ今ノ俸給ヨリモドノ位……俸給ト言ヒ

マセヌ、俸給其ノ他支給額全部ヲ集メテ教員一人ガ受ケルモノガ、平均下ノ位殖エルト云フコトノ御見込ト云フカ、計算ガ付イテ居リマスカ、ソレガ若干上テ居ルト云フコトナラ私大變遷シイ、サウスレバモウ次年度ニ於テハ國家ノ計畫ヲモウ少シ進メル、モウ少シ兩方ノ分與稅ノ國庫ノ負擔ヲ進メテ行クト云フコトニナレバ又三圓ヤ五圓殖エル、年々五圓位上ルヤウナ計畫ニナッテ參リマシタナラバ、マア不十分ナガラモ國民學校ノ方ハ自然解決ニ行キハシナイカ、コシナ考テノデアリマシテ、三千六百萬圓殖エテ居リマステドモ、ソレハ自然増加、小學校ノ教員ガ一萬トカ二萬トカ殖エテ參ッテ居リマセウ、數ノ増加ト云フモノガアリマスカラ、本當ノ「ネット」ノ收入ノ増加ト云フモノハ今文部省ノ方カラ調ヲ受取りマシタガ、千八百七十五萬圓バカリアルト云フコトデアリマスカ、之ヲ年ニズツト均シテ見マス、一人當下ノ位所謂優遇ノ資ニ與ヘルコトガ出來マセウカ、斯ウ云フコトヲ伺ッテ見タイ、固ヨリソシテ御尋ラスルハ、此ノ制度ニナリマシテカラ、或ハ俸給ノ不拂トカ、或ハ延滞シテ居ルトカ、ソシナコトハモウ何處モナイダラウト思ヒマスカ、ソレトモウ一ツハ、是ガ爲ニ町村ノ國民學校ニ對スル「インテレス」ト言ヒマスカ、利害關係ガ薄クナッテ、サウシテ國民教育ヲ地方的ニ尊重ヲシテ行クト云フコトガ、教員ト即チ町村長トノ間ノ疎隔ト言ヒマスカ、サウ云フコトハ決シテナイダラウト思ヒマス、唯金ノ點デサウ云フコトモ起ル憂モナイデアリマセウガ、ソシナコトモ此ノ制度ヲ立テル上ニ心配シマシタガ、アリマスマイ、又事務上ノコトデモ町村ト府縣

トノ間ニ何等疎隔スルコトガナク、圓滿ニ異動等ガサレマスカ、良イ方モ澤山想像サレマスガ、ソシナ點ニ觸レテ一應伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(山崎巖君) 國民學校ノ教員ノ俸給ヲ數年前町村費カラ縣費ニ移管致シマシタ結果ニ付テノ御尋デゴザイマス、大體初メニ心配サレマシタ此ノ經費ノ負擔ヲ府縣費ニ移シマス爲ニ、町村ノ國民學校ニ對スル關心ガ非常ニ薄ライデ、其ノ結果ガ面白クナイノデヤナイカト云フ心配ガ當時非常ニ強カッタノデアリマスガ、其ノ點ハ實際ノ實績ニ鑑ミテ見マシテモ全然其ノヤウナ心配ハ無用デアッタヤウニ考ヘマス、何等負擔ノ變更ニ依リマシテ町村ノ金額ニ對スル關係ハ變リハナイヤウニ思フノデアリマス、又教員ノ俸給ノ不拂等ニ付キマシテモ、府縣費ニ移管致シマシタ後ハ全然ソレガナイヤウナ實情ニ相成ッテ居リマス、又事務上ノ問題ニ付キマシテモ、府縣ト町村トノ間ニ色々ゴタ／＼ヲ起スト云フヤウナコトハ殆ドナイヤウニ承知ヲ致シテ居リマス、尙本年ノ豫算關係デドウ云フ風ニ教員ガ優遇ニナルカト云フ點ニ付キマシテハ、財政課長カラ御答ヘ致シマス

○政府委員(小林千秋君) 只今田所サンカラ御話ガゴザイマシタヤウニ、從來市町村ガ國民學校ノ教職員ノ俸給ヲ支拂ッテ居リマシタ時ニ、偶、農村不況ノ問題等ガ關聯致シマシタ爲ニ、教員俸給ノ不拂ト云フヤウナ不祥事件モ惹起ヲ致シタヤウナコトモゴザイマス、又年々歳々増加致シマス教職員ノ俸給ヲ、市町村ト云フ小サイ團體デモゴザイマスルヤウナ、マア財政ノ非常ニ範圍ノ小サイ、貧弱ナ所デ之ヲ支拂ハネバナラ

スト云フヤウナコトノ爲ニ、市町村財政ヲ壓迫スルト云フヤウナ事象モ尠クナカッタノデゴザイマス、是ハ御承知ノ通りデゴザイマスルガ、其ノ爲ニモウ少シ經濟ノ大キナ府縣ト云フ所ヘ此ノ俸給ノ負擔ヲ持ッテ行クト云フコトデ、先般俸給トソレカラ赴任旅費ト云フモノヲ府縣費ノ負擔ニシタノデアリマス、其ノ結果小サイ町村ノ財政カラ大キナ府縣ノ經濟ニ入ッタノデアリマスカラ、概シマシテ昇給ノ度合其ノ他其ノ赴任旅費等ニ付キマシテモ改善ヲセラレル傾向ニアッタノデゴザイマスルガ、更ニ戰爭ノ勃發トナリマシテ、國民學校ノ教職員ノ待遇ヲ改善スルト云フコトガ大キナ問題トナッテ參ッタノデゴザイマス、此ノ待遇ノ改善ニ付キマシテハ、ドウ云フ程度ニ改善ヲスルカト云フヤウナ事柄ハ文部省ガ所管ヲ致シテ居リマシテ、ソチラノ方デ案ヲ色々練ッテ居ラレル譯デアリマスルガ、是ハ御承知ノコトト思ヒマスガ、俸給ニ付キマシテハ初任給ノ引上ノ問題、ソレカラ昇給ニ付キマシテハ大體年額下ノ程度ノ昇給ニナルヤウニ豫算ヲ組ムカト云フ問題、其ノ外諸給與問題モゴザイマス、例ヘバ年功加俸、特別加俸等モゴザイマスガ、加俸ノ必給性ノ問題ト云フヤウナコトモゴザイマス、從來ハ、加俸ハ府縣知事ガ成績優良ナル者ト認メマスル者ニ付テ之ヲ支給スルト云フコトデゴザイマシタ、ソレヲ今後ハ五年ナラ五年經チマスルト必ズ加俸ヲ附ケルト云フ工合ニ、加俸ノ必給ヲ勵行シテ參リタイト云フコトモ一ツノ待遇改善ノ内容デゴザイマス、更ニ又賞與ノ如キモノニ付キマシテモ、從來ハ各團體ノ財政ノ事情ニ依リマシテ色々異ッテ居ッタノデゴザイマスルガ、是

亦少クトモ中等學校ノ教職員竝ニ持ッテ行キタイ、ト申シマスルノハ、師範教育制度ノ改正ニ依リマシテ大體將來國民學校ノ方ノ教職員ハ、高等專門程度ノ學校ヲ出タル者ト同様ニ取扱フヤウニ段々持ッテ行キタイ、斯ウ云フ心持デゴザイマスルカラ、自然サウ云フコトモ考慮サレネバナラヌコトニ相成ル譯デアリマス、ソレカラ更ニ新シイ師範學校ノ卒業生ニ對シマシテノ待遇改善ハ勿論デアリマスルガ、從來ノ教職員ニ對シマシテモ短期ノ講習ヲ受ケサセマシテ、段々ニ後ノ鳥ガ先ニナルト云フコトノアリマセヌヤウニ、是亦色々手段ヲ講ジテ參リタイト云フコトデ、具體的ノ内容ノ大體ノ案ハ文部省ニゴザイマシテ、先般議會デモ文部大臣ガ御説明ニナッテ居リマシタヤウナコトデ進ンデ參ル譯ト存ズルノデアリマス、是等ノ待遇改善ヲ考ヘテ參リマスルト、之ヲ俸給、赴任旅費ハ府縣費デゴザイマスルガ、其ノ外ノ一般旅費デゴザイマスルトカ、死亡賜金、賞與、臨時手當、臨時家族手當、戰時勤勉手當ト云フヤウナモノガ市町村ノ支辨ニナッテ居リマスノデ、矢張り市町村ニ於キマシテハ財政ニ左右セラレル虞ガ多分ニゴザイマスルノデ、是等ノ經費ニ付キマシテモ、ヨリ大キナ經濟デアリマスル所ノ府縣ニ持ッテ達ミマシテ、府縣ニ於テ之ヲ負擔シ、支給スルト云フコトニ改メルト云フコトガ今回ノ勅令ノ改正等ト相成ッテ居ル譯デアリマス、左様ニ致シマシテ、從來大體赴任旅費ハ二分ノ一國庫負擔ノ對象ニナッテ居リマセヌデシタガ、之ヲ今回ハ二分ノ一國庫負擔ノ對象ニスル、加俸、賞與ニ付キマシテモ同様デアリマス、サウ致シマシテ大體二分ノ一國庫デ持ッ、

ソレカラ家族手當或ハ戰時勤勉手當、臨時手當等ニ付キマシテ、臨時手當ハ全額デアリマスルガ、其ノ外ノモノニ付キマシテハ、法律ニ依リテ二分之一ト云フコトニ決メタル云フコトデハゴザイマセヌガ、豫算ヲ組ミマスル際ニハ他ノ經費ト同様ニ、二分ノ一ノ對象ニスルト云フコトニ取扱フ定メタヤウナ次第デアリマス、其ノ結果國費ノ負擔ガ相當ニ増額致スノデアリマスルガ、残りノ二分ノ一ノ地方費負擔ニ付キマシテハ、此ノ待遇改善ガ行ハレテ參リマスルト云フト、初年度、次年度、ソレカラ先ノ方ヘ段段ニ經費ガ増シテ參ルコトニ相成ツテ居リマス、是ガ完全ニ遂行サレマスル爲ニハ、國費ノ方ハ二分ノ一ガ出ルノデアリマスルガ、地方費ノ負擔ニ付キマシテハ之ニ相應スル財源ヲ附與致シマセヌト、此ノ實施ガ困難ニ相成ル譯デアリマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ政府内部ト致シマシテハ、ソレハ關係方面トモ協議ヲ致シマシテ、其ノ際ニハソレニ必要ナル財源ヲ附與スベク、分與稅ノ増額等ニ於テ考慮ヲ致シタイト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス

○田所美治君 兩政府委員カラノ御説明デ能ク分リマシタ、是ハナカノ多ク殖エテ行クト思フノデス、相當ノ自然増ガアル、今年ハ千萬餘圓ト書イテアリマシタガ、抛ツテ置イテモ千萬圓程殖エル、來年モ千萬圓程殖エル、人口ノ増加ヲ一方デヤツテ居リマスカラシテ、ソレガ厄介ナ問題ナノデスガ、ソレニ驚イテシマフト國費ニシタガ爲ニ以後ハ段々ト惡クナツテ來ル、斯ウ云フコトニナリマス、又今兩政府委員ノ御話ニナリマシタ趣意ハ、是等ノ本質ヲ御了解ノ上ノ御答デアリマスカラ、此ノ意味デ

年々兩省デ一ツ御協議ノ上ニ、相當ノ増俸ト云フコトヲ見込デオイデナラナケレバナラス、現在六十圓デスガ、之ヲ二、三年先ニハ七十五圓カ八十五圓ニスルト云フ御説明デアリマスガ、七十五圓迄ニ行クトスレバ、現在六十圓デスカラ三年モ五年モ掛ルト云フ譯デアリマスカラ、之ガ計畫ヲ立テテ行クニハ年々三千萬圓位ニ殖サナケレバナラスグラウト思フノデアリマシテ、餘程内務省ノ方デモ府縣費カラ御取リニナツタ以上ハ、頭痛ノ問題グラウト思ヒマスガ、併シ財政ノ當局トモ能ク御相談ニナリテ之ヲ減退シテハナラスト思フノデアリマスカラ、ドウゾ只今御説明ノ趣旨デ、年々歳歲相當ニ待遇ヲ良クシテ行クト云フコト、即チ其ノ結果トシテ國民教育ガ向上シテ行ク、斯ウ云フコトニ御進ミヲ願ヒマス、私ハ是デ終リマス

○主査 男爵山川建君 ソレデハ之ヲ以テ内務省所管ノ豫算ニ付テノ質疑ハ終リマス、厚生省關係ノ審議ニ入リマス前ニ厚生大臣ノ豫算ノ説明ヲ御願ヒ致シマス

○國務大臣(小泉親彦君) 厚生省所管昭和十八年度本豫算、同追加豫算及昭和十七年度追加豫算ノ大要ヲ御説明申上ゲマス、先ヅ厚生省所管、昭和十八年度一般會計歲出豫算ノ要求額ハ、本豫算ニ於テ、經常部一億八千七百八十八萬餘圓、臨時部一億五千四百四十四萬餘圓、計三億三千二百二十三萬餘圓、追加豫算ニ於テ臨時部二千二百三十三萬餘圓、右本豫算及追加豫算ヲ合算致シマシテ、經常部一億八千七百八十八萬餘圓、臨時部一億七千二百五十七萬餘圓、合計三億五千三百三十六萬餘圓デアリマシテ、之ヲ昭和十七年度豫算ニ比較致シマスレバ、一億

一千四十八萬餘圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、而シテ右昭和十八年度豫算中ニ於ケル新規増加額ハ二億八千五百五十九萬餘圓デアリマシテ、此ノ豫定經費ニ付キマシテハ時局ニ鑑ミ、第一、軍事扶助其ノ他各種ノ軍人援護事業ノ充實徹底、第二、軍需生産力ノ増強ニ資スル各般ノ國民動員體制ノ刷新強化、第三、結核對策ノ強化、第四、其ノ他決戰下最モ緊要ナル諸施策ニ重點ヲ置キ、且效率的ニ之ガ計上ヲ致シタ次第デアリマス、今其ノ大要ヲ御説明申上ゲマス

ト先ヅ第一、軍人援護ニ關スル事項ニ付テ申上ゲマス、戰時下ニ於キマシテ最モ緊要ナルコトハ、軍人ノ遺族家族ノ扶助援護、傷痍軍人ノ保護等デアリマスルノデ、軍事扶助法ニ依リテ徹底ヲ期シマスルト共ニ、法ノ適用ヲ受ケナイ人々ニ對スル援護等ニ付キマシテ必要ナル施設ヲ本年度ニ引續イテ實施スルコトト致シマシタ、即チ第一軍事扶助費ノ增加ハ八百八十萬圓、第二傷痍軍人保護ニ要スル經費二千七百三十四萬餘圓、第三戰死者遺族援護ニ要スル經費五百五十三萬餘圓、第四軍人援護事業助成等ニ要スル經費二千二百一十一萬餘圓、第五傷痍軍人療養所其ノ他新營ニ要スル經費一千五十萬餘圓、第六國立結核療養所ニ要スル經費ノ增加ハ六十五萬餘圓等ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、次ニ國民動員ニ關スル事項ニ付テ申上ゲマス、生産増強ハ刻下焦眉ノ要務デアリマシテ、之ガ完遂ハ國民勤勞ノ充實發揚ニ俟ツ所極メテ大ナル鑑ミマシテ、勤勞總力ヲ最高度ニ發揮致シマス爲ニ第一、國民職業指導所臨時事務處理ニ要スル經費一千五百二十六萬餘圓、第二、勤勞給源開拓ニ要スル經費四百七十一萬餘圓、

第三、國民徵用制度強化ニ關スル經費一千三百六十四萬餘圓、第四、轉廢業對策ニ關スル經費四百九萬餘圓、第五、勤勞訓練施設助成ニ要スル經費三百二萬餘圓、第六、職業轉換者生活援護ニ要スル經費三百三十一萬餘圓、第七、衛生用物資關係業者整備ニ要スル經費百三十萬餘圓、第八、重要事業場勞務管理ニ要スル經費二十四萬餘圓、第九、賃金統制ニ要スル經費二十萬餘圓、第十、技能者養成ニ要スル經費百九十萬餘圓等、必要ナル諸經費ヲ計上致シタ次第デアリマス、次ニ結核對策ニ關スル事項ニ付テ申上ゲマス、結核ノ撲滅ハ國家喫緊ノ要務ニ屬シ、大和民族ノ隆替ニ關スル重大事デアリマス、仍テ當省ニ於キマシテハ、曩ニ閣議ノ決定ヲ見マシタル結核對策要綱ニ基キマシテ、全力ヲ竭シ之ガ施策ノ強化徹底ニ邁進セムトスル次第デアリマシテ、第一、國民健康保險ニ關スル經費ノ增加ハ二千四百九十九萬餘圓、第二、日本醫療團結核療養所費補助ニ要スル經費九百七十八萬餘圓、第三、醫療關係者團體補助ニ要スル經費五十九萬餘圓、第四、國民體力法施行ニ要スル經費三千七百二萬餘圓、第五、不罹患者青少年心身鍊成ニ要スル經費百六萬餘圓、第六、大日本體育會補助ニ要スル經費四十萬圓、第七、大日本武德會補助ニ要スル經費四十萬圓、第八、保健所費補助ノ増加ハ百八十五萬餘圓、第九、結核豫防會補助ニ要スル經費六十二萬餘圓、第十、農村結核豫防指導獎勵ニ要スル經費七十九萬餘圓等ヲ計上致シマシタ、次ニ、其ノ他戰爭遂行上緊要ナル人口増強、保健衛生、國民生活安定等ニ關スル諸施策實施ノ爲ノ經費ト致シマシテ第一、乳幼兒體力向上指導ニ要スル經費

費百七十四萬餘圓、第二、妊娠婦保健指導ニ要スル經費百三萬餘圓、第三、阿片費ノ増加百十二萬餘圓、第四、戰時災害保護法施行ニ要スル經費八萬餘圓、第五、協和事業ニ要スル經費六十六萬餘圓等ヲ計上致シタノデアリマス、以上厚生省所管昭和十八年度一般會計歳出豫算ノ大要ヲ御説明申上ガタ次第デアリマス、次ニ厚生省所管ノ各特別會計ニ付テ申上ゲマスレバ、健康保險ニ於ケル十八年度豫定額ハ歳入歳出共一億一千八百四十萬餘圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比較致シマスルト、歳入歳出共三千四百三十四萬餘圓ヲ増加致シテ居リマス、又船員保險ニ於ケル十八年度豫定額ハ歳入一千四百四十七萬餘圓、歳出三百三十一萬餘圓差引歳入超過八百十六萬餘圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比較致シマスルト、歳入ニ於テ百九十一萬餘圓、歳出ニ於テ百三十五萬餘圓、差引歳入超過ニ於テ五十五萬餘圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、又労働者年金保險ニ於ケル十八年度豫定額ハ歳入、一億七千三百八十七萬餘圓、歳出四百六十三萬餘圓、差引歳入超過一億六千九百二十四萬餘圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比較致シマスルト、歳入ニ於テ四千七百三十九萬餘圓、歳出ニ於テ百六十三萬餘圓、差引歳入超過ニ於テ四千五百七十六萬餘圓ヲ増加致シテ居リマス、又労働者災害扶助責任保險ニ於ケル十八年度豫定額ハ、歳入歳出共八百七十萬餘圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比較致シマスルト、歳入歳出共十八萬餘圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、最後ニ厚生省所管昭和十七年度一般會計歳出追加豫算ノ大要ニ付テ御説明申上ゲマスレバ、此ノ要求額ハ經常部一千萬圓、

臨時部二百一十一萬餘圓、計一千二百一十一萬餘圓デアリマシテ、經常部ハ軍事扶助費ノ増加デアリマス、軍事扶助費ハ十七年度本豫算ニ於テ七千四百九十九萬餘圓ヲ計上致シマシタガ、軍事扶助法ニ依ル要扶助者ノ數ガ著シク増加シ、豫算ニ不足ヲ生ジマシタノデ、曩ニ第一豫備金ヨリ一千五百萬圓ヲ補充致シマシタガ、尙年度内ニ一千萬圓ノ支出ヲ追加計上致シタノデアリマス、此ノ經費ヲ廢業對策ニ關スル經費ノ増加デアリマシテ、右ハ曩ニ國民勤勞訓練所及職業輔導施設擴充ノ爲、第二豫備金ヨリ二百十五萬餘圓ヲ支出致シタノデアリマスルガ、尙年度内ニ之ガ繼續施行ノ必要ガアリマスルノデ、之ニ要スル經費ヲ追加計上致シタ次第デアリマス、以上厚生省所管昭和十八年度本豫算、同追加豫算及昭和十七年度追加豫算ノ概要ヲ御説明申上ゲタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○主査(男爵山川建君) 是ヨリ質疑ニ入りマス、通告順ニ依リマシテ、丸山委員

○丸山鶴吉君 第一ニ國民健康保險組合ノコトニ付キマシテ、二三ノ點ニ付テ承リタイト思ヒマス、國民健康保險組合法ガ實施サレマシテ、此ノ組合ノ使命ノ重大ナルコトハ勿論デアリマスガ、殊ニ斯ウ云フ時局ニ際シマシテ、保險組合ノ機能ヲ益發揮スルコトハ、國家ノ爲ニ非常ニ大切ナ事ダト思フノデアリマス、今日迄ノ組合ノ組織ノ經過及將來ノ見透シニ付キマシテ、是ハ厚生大臣カラデナクテモ宜シウゴザイマスカラ、政府委員カラ概略ノ所ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(武井群嗣君) 國民健康保險組合ハ、御承知ノ通り數年前ノ制定ニ係ル法律ニ基テ漸次普及シツ、アルモノデアリマスガ、昭和十六年度迄ニ此ノ組合ニ加入致シマシタ者ハ約八百萬人ト稱シテ居リマス、然ル處政府ニ於キマシテハ、成ルベク速クニ全國民ニ洩レナク此ノ組合ヲ設置セシムルヤウ勸メ方針ヲ立テマシテ、昭和十七年度ニ於キマシテ約千四百萬人ノ組合員ヲ作ル爲ニ必要ナル豫算ヲ計上致シ、目下組合ノ設立ニ努メツ、アル狀況デゴザイマスガ、大體本年度末迄ニ於キマシテ當初豫定ノ組合ヲ設立スルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス、昭和十八年度ニ於キマシテハ、之ニ一應豫期シマシテ約千六百萬人ノ組合員ヲ作ラウト云フ計畫ノ下ニ、先程大臣カラ説明モアリマシタヤウニ、之ニ要スル補助費ト致シマシテ昭和十八年度ニ二千一百萬圓餘ヲ計上致シタ次第デアリマス、斯様ニ致シマシテ大體十八年度末ヲ以テスレバ、主トシテ農山漁村方面ノ國民ニ對シテハ此ノ組合ガ行キ互ルヤウニナルノデハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、然ル上ハ都市方面ニ住ム人ニ對シマシテモ此ノ組合ヲ普及セシメタイ、十九年度以降ニ於キマシテハ専ラ其ノ方面ニ力ヲ注グ豫定ヲ持ツテ居ル次第デゴザイマス

○丸山鶴吉君 二千一百萬餘圓ノ補助費ノ増加デゴザイマスガ、是ハ組合數ガ殖エマス關係デ増加ヲ致シマシタノデアリマスガ、別ニ補助費ノ率ヲ御上ゲニナル御計畫ハナイノデゴザイマス

○政府委員(武井群嗣君) 從來一人一圓ノ補助ヲ致シテ居リマシタノヲ、來年度カラハ一圓六十五錢ニ増ス豫定デ居リマス、從

ヒマシテ人數ノ増シマスノト、其ノ補助率ノ増ス費用ト計上ニナツテ居ル譯デアリマス

○丸山鶴吉君 了承致シマシタ、戴イテ居リマス材料ニ依ッテ見マス、御獎勵ノ御趣旨ガ農村ヲ中心ニ置イテ今日迄サレテ來タ關係デモアラウト思ヒマシテ、殆ド都會地ニハマダ組合ガ設立サレテ居ラスヤウデゴザイマス、一二長野縣ノ飯田市、香川縣ノ丸龜市ト云フヤウナコトガ表ニ出テ居リマスノデアリマスガ、此ノ市部デ組合ヲ設立致シマシタ場合ハ、其ノ市町村ヲ單位トシナケレバナラスノデゴザイマセウカ、ソレヲ幾ツカノ區域ニ分ケテ組合ヲ作ルコトヲ御認ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(武井群嗣君) 仰セノヤウニ大體只今ノ所ハ農村方面ニ力ヲ注イデ居リマスガ、現ニ市部ニ於キマシテモ之ガ設置ヲ見ツ、アル地方モゴザイマス、例ハ東京都府ノ如キハ最近全部ガ漏レナク入ツタ、或ハ靜岡縣モ之ニ準ジテ近ク全縣民ガ加入スルト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルヤウデアリマス、ソコデ都市ニモ依リマスガ、大キナ都市ニ付キマシテハ一市ヲ一ツノ組合ニスルコトモ實行上モ如何カト存ジマスノデ、適當ニ其ノ組合ガ運用スル上ニ於キマシテ其ノ效果ヲ舉ゲ得ルヤウニ相當ノ區分ヲシナケレバナラナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○丸山鶴吉君 例ハバ東京市アタリノ例ヲ取リマス、今度ハ都ニナリマス譯デゴザイマセウケレドモ、人口七百萬モアリマシテ、此ノ全體ガ總テ組合ヲ作ルヤウナコトハ非常ニ困難ナコトデアルト思フノデアリマス、自分ガ町會長ナンカラ致シテカラノ體驗カラ申シマシテモ、ナカノ一ツ一ツメニスルコトハ困難デアリマスレバ小サ

イ區域デ或ハ町會ノ聯合トカ、或ハ町會ニシマシテモ今迄設立サレタ組合ノ員數ヲ見マスト、組合員ガ平均三千幾ラト云フ風ナ數ニナツテ居ルヤウデアリマス、其ノ位ナ組合員ト云フモノハ町會ヲ單位ニシテモ東京デハ出來ルノデヤナカラウカ、御承知ノヤウニ町會ノ下ニ隣組ガアルト云フヤウナモノガ出來マシテ餘程其ノ間ガ緊密ニナリ、貯金組合ノ如キハソレデ一定單位ニシテ進ンデ來テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ緊切ナ施設ヲ致スヤウニ普及ササウト云フコトニナリマスレバ、サウ云フコトヲ御考ニナレバ大都市デモ速カニ組合ガ出來ルノデヤナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ノ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(武井群嗣君) 先程來農山漁村方面カラト申シマシタガ、其ノ趣旨ハ此ノ方面ニ健康保險組合ノ必要ノ度モ高イト云フヤウナコトモアツタ譯デアリマスガ、又他面ニハ作り易イト云フコトモアツタ譯デアリマス、併シナガラ健康保險組合ノ必要ハ都市ニ於キマシテモ同様デアリマスノデ、都市ノ方ニ參ルノデアリマスガ、其ノ際ニ於キマシテハ、元々町村單位等ニ組合ヲ作ツタト云フヤウナ趣旨カラモ發足致シマシテ、今御話ニナリマシタヤウニ、相當數ノ組合ヲ作ル方ガ其ノ組合ラシテ所期ノ目的ヲ達セシメマス上ニ於キマシテモ效果ガ舉ルノダラウト思フテ居リマス、實ハ有體ニ申シマス、當局ニ於キマシテモ東京市ノ如キ大都市ニ付キマシテハマダ何等ノ經驗モ持ツテ居リマセヌ、御話ニナリマシタヤウナ今日迄ノ町會運營等モ能ク睨ミ合セマシテ御趣旨ニ副フヤウニ進メタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○丸山鶴吉君 其ノ點ハ其ノ程度ニ致シマシテ、今國民健康保險醫士云フノハ、大體強制的ニ御指名ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、オ醫者ノ自由意思デ保險醫ニナルコトモ認メラレ、ナラヌコトモ認メラレル、サウ云フ制度デゴザイマスカ

○政府委員(武井群嗣君) 從來ハ醫師會トノ契約ガアリマシテ、約束デ保險醫ニナツテ貫ツテ居ッタノデアリマスガ、昨年帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ法律ノ改正ノ結果、行政官廳ニ於テ指定スルコトニ規定ハ改メラレマシタ、併シ實際ノ運用ト致シマシテハ、本人ノ意思ヲ無視シテ指定スルコト云フコトモ如何デアラウト思ヒマスノデ、出來ル限リ本人ノ意思ヲ尊重シタ上デ指定スルコト云フコトニ取扱フコトニ致シテ居リマス

○丸山鶴吉君 大體承リマシタ所ニ依リマシテ、私共モ國家健康保險ノ趣旨ニハ非常ニ賛成デゴザイマシテ、一日モ速カニ普及スルコトヲ希望致シテ居ルノデアリマス、政府ニ於テカレマシテモ色々ナ計畫ヲ立テラレ、又多額ノ豫算ノ増額ヲ御要求ニナリマシテ、銳意其ノ普及ニ努力サレテ居リマスコトハ感激ニ堪ヘナイ次第デアリマス、結局政府トサレマシテハ國民全體ガ保險組合ニ加入シテ、組合ノ手ヲ通シテ醫藥治療ヲ受ケル、斯ウ云フコトニシタイト云フコトガ理想デアル、サウ云フコトニナリマス、結局今御説明ニモアリマシタヤウニ醫師ト云フ者ハ行政官廳ガ保險醫トシテ指名スルコトガ出來ルノデアリマス、又國民全體ガ組合ニ加入致シテシマフト云フコトニナリマスレバ、組合ノ手ヲ通シテマア醫療ヲ受ケル譯デアリマスカラ、國內ノ總テノ醫者ハ大體國民健康保險醫、サウ云フコトニ指名サレルモノト見ルコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ狀況ニ至ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(武井群嗣君) 先程初メニ申上デマシタヤウニ、政府ノ方針ガ實現サレマシテ、全國民漏レナク此ノ組合ニ入ルト云フ時ガ近ク參ルダラウト存ジマス、左様ニナリマシタ時ニ於キマシテハ、仰セノ通り全國ノ開業醫ハ此ノ國民健康保險組合ト云フコトヲ無視シテ其ノ營業ヲ續ケルト云フヤウナコトハ、事實問題トシテナカク考慮ヲ要スルコトニナルノデヤナイカト思ヒマス、從來トモスレバ健康保險醫ハ或一部ノ醫者ダケガ指定サレテ居ッタト云フヤウナコトモアリ、其ノ間色々ナ話モ聽イテ居ルノデアリマスガ、恐ラク全國民ガ漏レナク入ルト云フ時代ニナリマスレバ、一方ニ於キマシテハ新シク法律ニ依リマシテ更生致シマシタ日本醫師會、其ノ下ニ屬スル道府縣ノ醫師會等モ國策ニ協力スルコト云フ新シイ建前ニナツテ居リマスノデ、此ノ醫師會ニ屬スル開業醫自身ノ方カラモ、國民健康保險組合ニ進ンデ協力スルヤウニナルダラウト思フテ居リマス、政府ト致シマシテハ、ソレヲ期待致シテ居ル次第デアリマシテ、恐ラクサウ云フ時代ガ近ク來ルダラウト認メテ居ル次第デアリマス

○丸山鶴吉君 政府委員ノ御説明ハ能ク了承致シマシタ、ソレガ國民健康保險制度ヲ御作リニナリマシタ理想デアリ、又速カニ其ノ理想ヲ達成スルコトハ國家ノ爲デアルト信ズルノデアリマス、ソコデ一點御伺ヒシタイ點ガアルノデアリマス、是ハ國民健康保險ノ普及ノ上カラモ非常ナ大切ナコトデ、又私共知リ合ノオ醫者ノ方々カラモ頻リニ懇ヘラレテ居リマスノデ、御話ヲ聽キマス

ト、非常ニ御尤モダトモ考ヘラレル點ガアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ厚生大臣ノ御意見モ承リタイト思フノデアリマス、ソレハ最近厚生省令ヲ以テ國民保險關係ノ醫療費ノ御定メヲ規定ニナリマシテ御發布ニナリマシタノデアリマス、其ノ醫療費ノ問題デゴザイマスガ、從來國民健康保險ノ醫療費ト云フモノハ、大體健康保險ノ醫療費ニ準ズルト云フヤウナコトデ、地方ノ醫師會ト地方長官アタリノ御話合デ、マア組合ニ依ツテ色々違ヒマスケレドモ、決リマシテ、一定ノ裕リガアリマシテ、其ノ裕リノ中デ、其ノ地方ノ實情ニ應ジテ醫療報酬ト云フモノヲ決定スルヤウナ組織ニナツテ居ッタヤウデアリマスガ、最近發布ニナリマシタ此ノ醫療報酬ノ點數ト云フモノハ、確然ト一律ニ決ツテシマヒマシテ、其ノ間ニ全ク餘裕ガナイト云フコトニナツタノデアリマス、マア例ヘバ往診料一ツヲ採ツテ見マシテモ、以前ハ三點カラ五十點迄ノ間デ其ノ醫者ノ資格ニ依リ、醫者ノ程度ニ依リ裕リガ取レルコトニナツテ居ッタノデアリマスガ、今度ノ診療報酬點數ニ依リマス、マア往診料ノコトヲ申シマス往診料ハ兎ニ角三點トナツテ居ル、是ガ誰デアラウトモ三點デア

ル、片道半里ヲ超ユル場合ハ、半里又ハ其ノ端數ヲ増ス毎ニ三點ヲ加フト云フノデスカラ半里ノ間ハ何處ヘ行キマシテモ、誰ガ行キマシテモ、往診料ト云フモノハ三點、一點ヲ二十錢ニ致シマシテモ六十錢、斯ウ云フコトニ確然ト是ガ決メラレテシマッタノデアリマス、マア藥價其ノ他ニ付キマシテモ、精細ナル茲ニ規定ガ出來タノデアリマス、藥價ノ如キモ内服藥ト云フモノハ一點

○丸山鶴吉君 政府委員ノ御説明ハ能ク了承致シマシタ、ソレガ國民健康保險制度ヲ御作リニナリマシタ理想デアリ、又速カニ其ノ理想ヲ達成スルコトハ國家ノ爲デアルト信ズルノデアリマス、ソコデ一點御伺ヒシタイ點ガアルノデアリマス、是ハ國民健康保險ノ普及ノ上カラモ非常ナ大切ナコトデ、又私共知リ合ノオ醫者ノ方々カラモ頻リニ懇ヘラレテ居リマスノデ、御話ヲ聽キマス

ト、非常ニ御尤モダトモ考ヘラレル點ガアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ厚生大臣ノ御意見モ承リタイト思フノデアリマス、ソレハ最近厚生省令ヲ以テ國民保險關係ノ醫療費ノ御定メヲ規定ニナリマシテ御發布ニナリマシタノデアリマス、其ノ醫療費ノ問題デゴザイマスガ、從來國民健康保險ノ醫療費ト云フモノハ、大體健康保險ノ醫療費ニ準ズルト云フヤウナコトデ、地方ノ醫師會ト地方長官アタリノ御話合デ、マア組合ニ依ツテ色々違ヒマスケレドモ、決リマシテ、一定ノ裕リガアリマシテ、其ノ裕リノ中デ、其ノ地方ノ實情ニ應ジテ醫療報酬ト云フモノヲ決定スルヤウナ組織ニナツテ居ッタヤウデアリマスガ、最近發布ニナリマシタ此ノ醫療報酬ノ點數ト云フモノハ、確然ト一律ニ決ツテシマヒマシテ、其ノ間ニ全ク餘裕ガナイト云フコトニナツタノデアリマス、マア例ヘバ往診料一ツヲ採ツテ見マシテモ、以前ハ三點カラ五十點迄ノ間デ其ノ醫者ノ資格ニ依リ、醫者ノ程度ニ依リ裕リガ取レルコトニナツテ居ッタノデアリマスガ、今度ノ診療報酬點數ニ依リマス、マア往診料ノコトヲ申シマス往診料ハ兎ニ角三點トナツテ居ル、是ガ誰デアラウトモ三點デア

ル、片道半里ヲ超ユル場合ハ、半里又ハ其ノ端數ヲ増ス毎ニ三點ヲ加フト云フノデスカラ半里ノ間ハ何處ヘ行キマシテモ、誰ガ行キマシテモ、往診料ト云フモノハ三點、一點ヲ二十錢ニ致シマシテモ六十錢、斯ウ云フコトニ確然ト是ガ決メラレテシマッタノデアリマス、マア藥價其ノ他ニ付キマシテモ、精細ナル茲ニ規定ガ出來タノデアリマス、藥價ノ如キモ内服藥ト云フモノハ一點

デゴザイマスカラ二十錢、頓服ハ〇・五點デアリマスカラ十錢、特殊ノ頓服藥ガ一點デ矢張り二十錢、大體不斷醫者ガ最モ用ヒマス藥ト云フモノハ、兎ニ角一劑一日分ガ二十錢デアル、斯ウ云フコトニモウ畫一的ニ、全國的ニ規定サレマシタノデアリマス、果シテ斯ウ云フコトデ實際病氣ノ際ノ治療ト云フモノガ圓滑ニ、而モ有效ニ行ハレルダラウカ、斯ウ云フコトニ付テ非常ニ心配ヲ致スノデアリマスガ、以前三點乃至五十點ト云フヤウナ往診料ニ付キマシテモ裕リガアリマシタノニ、モウ一律ニ半里以內ノ往診ハ六十錢ダ、ソレハオ醫者ガ誰デアラウガ、總テ六十錢ダ、斯ウ云フコトニ御決メニナラナケレバナラヌヤウニナリマシタ事情ハ如何ナルモノデゴザイマセウカ、其ノ點ハ委員デ宜シウゴザイマスケレドモ、モウ少シ精細ニチヨット御決メニナリマシタ筋柄ヲ一ツ御話シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平井章君) 私カラ事務的ノ點ニ付キマシテ御話申上ゲタイト思フノデアリマス、從來ノ健康保險ノ診療、是カラ御話申上ゲタイト御分リニクイカト思ヒマスガ、診療ニ付キマシテハ御承知デアラウカト思ヒマスルガ、被保險者一人當リ八圓ナニガシヲ以チマシテ、日本醫師會ニ一年間ノ診療一切ヲ引受ケテ貰ッテ居ッテ譯デアリマス、三百萬圓ノ政府管掌ノ被保險者ノ診療ヲ一人當リ一年間八圓ナニガシヲ以チマシテ引受ケテ貰ッテ居ッテデアリマス、ソコデ毎月其ノ十二分ノ一ノ被保險者數ダケノ金額ヲ日本醫師會ヘ御拂ヒ致シマス、日本醫師會ハ全國ノ開業醫ノ中デ、本人ノ希望スル開業醫ノ方ヲ選ビ出シマシテ保險醫ト云フモノニナッテ戴キマシテ、サウシテ

健康保險ノ被保險者ガ參リマシタ時ニ診療ヲ加ヘテ、サウシテ其ノ診療ニ應ジマシテ、日本醫師會ハ政府カラ受取リマシタ金額ヲ按分シテ分ケテ居ッタノデアリマス、其ノ按分ト申シマスノハ、各保險醫ガ被保險者ヲ診療致シマス時ニ、其ノ診療ヲ點數ニシテ價值ヲ現シテ居ッタノデアリマス、先程來御話ガアリマス診療料ハ三點乃至五點、或ハ往診料三點、或ハ盲腸炎ハ二百點乃至四百點トカ云フ點數ヲ定メマシテ、其ノ點數ニ依ッテ診療料ヲ換算致シマシテ請求シテ居ッタノデアリマス、ソレヲ各保險醫カラ出マス所ノ點數ヲ合セマシテ、受領致シタ總診療費ヲ割リマス、一點單價ト云フモノガ出テ參ル譯デアリマス、ソコデ一點單價ヲ出シマシテ、其ノ各保險醫ノ診療ノ點數ニ一點單價ヲ掛ケマシテ、其ノ金ヲ各保險醫ニ分配ヲ致シテ居ッタノデアリマス、處ガ診療ガ非常ニ多イト云フコトヲ前提トシテ考ヘマス、其ノ診療ガ多イト云フコトハ病氣ガ多イト云フコトト、今一ツハ濫療濫診ト云フモノモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマシテ、診療ニ對スル報酬ヲ政府ガ三百萬人分ヲ一手ニ拂ヒマス關係上、其ノ間ニ濫療濫診ト云フモノガアルコトハ否メナイ事實デアリマス、サウ云フモノヲ合シタ點數ニ依ッテ總請負金額ヲ割リマスカラ一點單價ト云フモノハ常ニ不同デアリマシテ、毎月不同デアッテ、時ニ依リマス最初豫定シマシタ二十錢ト云フ見當デ請負金額ヲ想定シテ出シタノデゴザイマスガ、事實ハ十錢前後ニモ單價ガ下ルト云フコトニ相成リマス、開業醫、保險醫ハ被保險者診療ヲ致シマシテモ、幾ラ診療費ガ入ルカドウカト云フコトハ非常ニ疑問ニナッテ參ルノデア

リマス、更ニ又醫師會ハ左様ニシテ拂ヒマス場合ニ、請求シタ診療報酬ヲ一々審査致シマシテ、サウシテ誤謬ハ訂正シナケレバナリマセシ、更ニ其ノ疾病ニ對シテ適當ナル診療ヲシテ居ルカドウカト云フ點モ調ベナケレバ相成ラヌ譯デアリマシテ、其ノ間ニ査定ト云フ問題ガ起キテ參ルノデアリマス、醫師ガ致シマシタ注射ナリ、投藥ナリヲ査定員カ、審査員ガ調べマシテ、此ノ病氣ニハ是ハ不必要デアルト云フコトヲ認メマス、其ノ點數ヲ「ゼロ」ニスルト云フヤウナ審査、從ッテ査定ト云フ問題ガ起キテ來ル譯デアリマス、左様ナ關係デ點數ガ決ッテ居リマシテ、單價ガ決ッテ參リ、診療報酬ノ受取額ガ決ッテ參リマス、ソレガ又毎月異動ガ、變動ガアル、豫測シナイ小額ナ場合モアル、斯ウ云フヤウナ結果ニ相成リマシテ、非常ニ保險醫ノ方、開業醫ノ方ニ、社會保險ニ對シテ協力シテ戴クノニ可成リ無理ガアツカヤウニ思フノデアリマス、ソコデ昨年ノ通常議會ノ御協賛ヲ經マシテ公布ニナリマシタ改正健康保險法、又醫療關係ガ是ト同様ナ關係ニアリマス、國民健康保險法ノ結果、其ノ醫療制度、診療報酬ノ支拂制度ト云フモノヲ根本的ニ、質的ニ改正ヲ致シタデアリマス、ソレハドウ云フ點ニ付テ改正致シタカト申シマス、先ヅ保險醫ハ從來希望者ガナッテ戴イテ居リマシタノヲ、必要ノアル方ニ付テ地方長官ガ一方的ニ指定シテ保險醫ヲヤル、正當ノ理由ガナイ限りハ拒ムコトガ出來ナイト云フコトニナリ、保險醫ノ方ニ診療シテ戴イタ場合ノ診療ハ厚生大臣ガ決定スル、斯フ云フコトニ法令ノ定メガ相成ッテ居ルノデアリマス、ソコデ厚生大臣ハ、其ノ改正法令ノ施

行ガ此ノ四月カラデアリマス、過日決定ヲ致シマシテ告示セラレタノデアリマス、ソレニ依リマス、從來アリマシタ所ノ醫師會ノ採用シテ居リマシタ診療費ノ分配ノ基準トナルベキ各診療ヲ點數ニ換算シタ所謂點數計算規定、斯ウ云フモノヲ我々モ採用致シマシタガ、ソレニハ可成リ修正ヲ加ヘタノデアリマス、其ノ修正ノ中大キナ一點ガ只今御話ノアリマシタ各診療ノ點數ヲ畫一ニシタト云フ點デゴザイマス、ソレニ付キマシテ只今、畫一ニスルト云フノハ穩當デハナイト云フ御話ガアリマシタガ、我々トシテハ畫一ニスル方ガヨリ宜イッデハナイカト云フ確信ヲ以テ實ハシタ譯デアリマス、ト申シマスノハ、是ハ微妙ナ働キガアリマシテ、一ツノ盲腸ノ手術ヲ致シマス場合ニ、二百點乃至四百點ト決メテ置キマス、手術ノ難易ニ依リマシテ或ハ二百點、或ハ二百五十點、或ハ三百點ト云フヤウナ請求ヲ致シ、ソレニ對シテ其ノ支拂ヲスレバ最モ具體的ニハナリ得ル、理論的ニハナリ得ル譯デアリマス、併シ其ノ査定審査ヲスルト云フコトガ、此ノ點數ニ幅ガアル爲ニ、其ノ間ニ純粹ニ理論的ニ行フト、宜シイノデアリマスケレドモ、其ノ間、幾多ノ動機ガ其處ニ加ハル餘地ガアリマス、從ッテ或人ニ付テハ二百點乃至四百點ノモノヲ三百點拂フトカ、或人ニ付テハ二百點シカ拂ハストカ云フヤウナ、査定、審査ノ場合ニ相當不明朗ナ部分ガ非常ニ起ルノデアリマス、ソコデ從來健康保險ガ始リマシテカラ十八年ニナリマスガ、十八年間非常ニ其ノ間ニ不明朗ナ分子ガアリマシテ、其ノ爲ニ却テ眞面目ナ協力ヲシヨウト思ハレマス保健醫ノ方

開業醫ノ方ニ、非常ニ氣マゾイ思ヒヲサシテ居ル點ガ多ク見受ケラレタノデアリマス、左様ナ點ガ診療組織ノ上ニ非常ニ色々響イテ參リマス、或ハ組診診療デアルトカ、或ハ差別待遇ヲスルトカ云フヤウナ、色々診療ノ上ニ弊害ガ起キテ參ツノデアリマス、更ニ又先程來申シマスヤウニ、點數ガ月々差異ノアルト云フコトニ依リマシテ、ドレダケ入ルカモ分ラヌト云フヤウナコトモ弊害ノ一ツデアリマスガ、左様ナ譯デ、其ノ點數ヲ確定點數ニスル方ガ最モ明瞭ニナル、勿論確定點數ト申シマシテモ、從來ノ盲腸ヲ二百點乃至四百點トアリマスモノヲ三百點ナラ三百點ト云フヤウニ、一律ニハ致シテ居リマセヌ、其ノ手術ノ中デモ技術的ニ分ケ得ルヤウニ分ケマシテ、同じ手術デモ或ハ三階段ニ、或ハ五階段ニ、出來ルダケ技術的、事務的ニ分ケ得ルヤウナ方法ヲ講ジマシテ、サウシテ確定點數ニ致シタノデアリマス、ソレガ診療醫ノ支拂上最モ明瞭ヲ期スル所以デアリ、保險診療ノ將來ノ爲ニ宜イノデハナイカト云フノデ、サウ云フヤウナ方針デ、從來ノ日本醫師會ガ採用致シテ居リマシタ點數計算規定ヲ改正致シマシテ、サウシテ從來一點單價十錢内外カラ最近ハ十六七錢ト云フコトニナツテ居リマシタモノヲ、二十錢ト云フ確定點數ニ致シタノデアリマス、從ツテ今後ハ疾病ガ多イ場合ニ於キマシテモ單價ガ下ルト云フコトハアリマセヌ、常ニ診療ニ對シテ其ノ點數ニ二十錢ヲ掛ケタモノガ拂ハレル譯デアリマス、ソコデ先程御觸レニ相成リマシタ往診料ガ、是ハマア三點ト畫一ニナツテ居リマス、併シ其ノ三點ト畫一ニ致シマシタノハ、只今申シマシタヤウナ趣旨カラ致シタノデ

アリマスガ、之ヲ總テ三點一本槍デ參リマスコトハ餘リニモ實情ニ副ハナイト云フ結果ニモ相成リマス、サリトテ有ラユル實情ニ合フヤウニハ、厚生大臣ガ……三百萬人若シハ國民健康保險組合デ言ヘバ數千人カラ數萬人ノ診療ニ對シテ、政府若シハ組合ガソレダケノ診療ヲ一手デ拂フ、本人ガ拂フノデナク組合ガ拂フノデゴザイマシテ、サウ云フ診療費ノ算出ノ基礎ト致シマシテハドウシテモ畫一ニナラザルヲ得ナイ、具體的ノ有ラユル場合ニ合理的ニハ決メ兼ねル譯デアリマス、ガ、餘リ畫一ニナリマシテハ、具體的ノ場合ニ外レマシテ穩當ヲ缺クノデ、其ノ中ニ特ニ又夜間デアリマス場合ニ於テハ増額スルトカ、或ハ道ガ難路デアリマス場合ニハ増額スルトカ、或ハ往診ガ相當時間ヲ取リマス場合ニハ増額スルトカ、或ハ國民健康保險組合ニ於テ特ニ現レト思ヒマスケレドモ、特ニ交通不便ナ場合ニ於キマシテハ地方長官ガ三點ヲ五點、十點ト上ゲテモ宜イト云フヤウナ方針ヲ採リマシテ、性質上或程度畫一ニナラザルヲ得ナイモノヲ、出來ルダケ實情ニ副フヤウニハ處置致シテアルノデアリマス、唯御承知デモアリマセウト思ヒマスガ、殘サレテ居ル大キナ問題ガアル譯デアリマス、ソレハ其ノ點數ニ人的考慮ヲ拂フカト云フ問題ガ一ツアリマス、ソレカラ地理的考慮ヲ拂フカト云フ問題ガ一ツアルノデアリマス、即チ同じ手術ヲヤツテモ、都會デハ田舎ノ町村ヨリモ高イ點數ニ決メルカドウカ、ソレカラ同じ盲腸ノ手術ヲヤリマシテモ、普通ノオ醫者サンガヤツ場合ニハ二百五十點トスルカ、特ニ誰ニガ致シマシタ場合ニハ三百點、三百五十點ニスル、斯ウ

云フヤウナ人的考慮ヲ拂フト云フ問題ト、地理的考慮ヲ其ノ點數若シハ單價ニ拂フカドウカト云フ問題ガ大キナ問題デアリマシテ、此ノ問題ガ素直ニ解決ケル案ガアルトスルナラバ、私ハ非常ニ理想的ニ相成ルト考ヘテ居ル譯デアリマス、處ガ是ハ數年來我々ノ方デモ研究致シテ居リマシテ、又日本醫師會、此ノ決定ニハ日本醫師會長ノ意見ヲ聽クコトニナツテ居リマスノデ、日本醫師會ニ於テモ研究シ、共同的ニモ研究シテ居ル譯デアリマシテ、何等カノ名案ヲ得マシテ、人的考慮ヲ拂フコトガ出來ルナラバ、御話ノヤウナコトモ起キナイノデハナイカト云フヤウナコトガ考ヘラレマスノデ、從來トモ色々研究致シテ居リマスケレドモ、只今ノ處其ノ名案ガ我々ニモ日本醫師會ニモナイ譯デアリマス、サリトテ點數ニ幅ヲ付ケルト云フコトハ先刻來申シマシタヤウナ事情デ、非常ニ是ハ理論的ニハ結構デアリマスケレドモ、實際問題トシテハ非常ニ困難ナ問題、弊害ガ起ルノデアリマスカラ致シ兼ねルノデ、人的考慮若シハ地理的考慮ガ拂ハレバ非常ニ結構ト思ツテ居リマス、國民醫療法ノ施行ノ狀況ヲ我々トシテハ見テ居リマシテ、若シ其處ニ何等カノ人的考慮ヲ拂フ根據ガアリマスナラバ、例ヘバ專門家、名醫ノ場合デアリマストカ、何等カノ人的考慮ヲ拂フ根據ガアリマスナラバ、漫然ト實ハ拂フ譯ニハ參ラナイノデアリマシテ、何處迄何點、ドナタニ何點拂フカト云フコトハ一々出來マセヌカラ、ソコデ何等カノ名案ガ生レテ來ルナラバ、ソレニ依ツテサウ言ツタ弊害ヲ、今起ツテ居リマス弊害ヲ除去シタイト考ヘテ居リマシテ、我々トシテハ常ニ研究ヲ致シテ居ルヤウナ

狀況デアリマス
○丸山鶴吉君 只今政府委員ノ御説明ニ依リマシテ御事情ダケハ詳シク承ツテ、其ノ點ハ了承ヲ致シタノデアリマス、唯一例ヲ取ツテ申上ゲタノデアリマスケレドモ、此ノオ醫者ガ半道ノ往診ヲシテ、サウシテ三點、六十錢、夜間ハ十割増ト云フコトニナツテ居リマスカラ夜ハ六點ニナル譯デアリマス、夜間ト云フノハ午後九時カラ午前七時迄ト言ヒマスカラ、夜中ニ叩キ起サレマシテモ往診ヲシテ一圓二十錢、チョット按摩ヲ呼ビマシテモ田舎デハ一圓デ來ルカモ知レナイガ、東京デハ一圓五十錢、二圓取リマスカラ、苟クモ學校ヲ出マシテ、オ醫者ト云フ看板ヲ掛ケテ居ル人ガ、半道往診ヲシテ行ッテ、往診料ト云フノハ六十錢シカ取レヌ、難路ノ時ニハ又三點ヲ加ヘル、暴風雨雪ノ時ニハ十割増トスト、其ノ倍ニナルヤウナ細カイ規定ガ出來テ居ルノデアリマスケレドモ、兎ニ角ニ是デオ醫者ノ公定相場ヲ決メタヤウナ感ジガ致スノデアリマシテ、オ醫者ト云フノハ半里ノコノ往診ニ出掛ケテ行ツテモ六十錢デ來ルノダ、斯ウ云フコトヲ厚生省ノ省令ヲ以テ公示ヲサレタヤウナコトニナル、今田舎デモチヨット半道モ小僧ヲ使ヒニ出シテモ五十錢以下ハヤル譯ニ行カナイヤウナ時世デモアルト思ヒマス、此ノ點ガ確カニ其ノ醫師自身ノ權威ヲ失墜スル、又オ醫者自身ガ斯ウチヤント公ニ相場ヲ公定サレシマヒマス、何ダカ熱意ガ減ッテ來ル、サウ云フコトノ爲ニ折角出來タ立派ナ制度デアリマスケレドモ、オ醫者ノ方ノ協力ノ熱意ト云フモノヲ失フト云フコトニナリマス、其ノ點ニ對シテ非常ニ憂慮スベキ事態ガ來ルノデハナカラウカ、成ル程

政府委員ノ御説明ニモアリマシテ、人的考慮ヲ加ヘルガ、是モ考ヘテ見マスレバ非常ナ困難ナコトデアラウト思フノデアリマス、例ヘバオ醫師ニナルノニモ今迄、モウナクナリマシタケレドモ、醫術開業試験ヲ受ケテオ醫師ニナッタ人モアルシ、専門學校ヲ出テオ醫師ニナツテ居ル人モアル、大學ヲ出テオ醫師ニナツタ人モアル、其ノ後専門ノ研究ヲ續ケラレテ、各、専門ノ方面ノ博士ニナツテ居ル方モアル、勿論是ハ博士デモ凡庸ナ人間モアルシ、開業試験ヲ受ケテナツタオ醫師デモ立派ナ人ハ例外的ニアルコトハ勿論アルノデアリマスケレドモ、誰モ彼モ皆一律ニ半哩往診ニ行ツテ皆六十錢、晝間往診ニ行ツタナラバ六十錢、斯ウ決メテシマフト云フコト如何ニモ全體ノオ醫師ノ權威ヲ失墜シテシマフヤウナ感ジモ致シテ、況ヤ其ノ決メラレタ値段ト云フモノハ極メテ安イノデアリマスカラ、按摩ヨリモ何ヨリモ安イノダト云ツヤウナコトニナリマスト、是非常ナ權威ヲ失墜スルヤウナコトニナル、デスウ云フコトヲズツト續ケテ行ツテ居リマスト、何モオ醫師ニナルニハ深い研究ヲシナイ方ガ宜イノダ、専門學校ヲ出テオ醫師ノ資格サヘ得レバ宜イ、別ニ研究シナイデモマア是カラ國民全體ニ國民保險ト云フモノガ普及ヲ致シテ來ルヤウニナリ、誰モ彼モ國民健康保險醫ト云フコトニナリマスト、研究シナクテモオ醫師ノ免狀、資格サヘ得テ居レバ兎ニ角食フニハ因ラナイ、組合ノ組合醫トナツテ働キ得ルノダト云フコトニナリマスト、醫術ノ研究ト云フヤウナコトニ對シテモ將來非常ナ心配ヲセナケレバナラナイヤウナ事態ニナツテ來ルノデヤナカラウカ、地方デ村ノ組合ナシカニナリマス

ト、村ニオ醫師ガ一人居リマシタリ、二人居リマシタリスル位デアリマシテ、大抵都會ヘ出テヤツタ人デナイノデスカラ團栗ノ背比ベデアリマシテ、マア大シテ非常ニ優レタ人ガ田舎ニ籠ッテ居ルト云フコトハナイ譯デアリマスガ、ソレデモ御承知ノ通り日本ハ特殊ノ事情ガアリマシテ、或村々デオ醫師サンノ家ト言ヘバ大抵代々決ツテ、モウ祖父ノ時代、曾祖父ノ時代カラオ醫師ダト云フコトデ年來續イテ來テ居ルノデアリマス、ソコニ非常ナ親シミトサウシテ氣持ガ通ヒマシテ、娘ヤ何カノオ嫁ノ世話カラ家庭ノ内輪迄、世話スルヤウナ、非常ナ緊密ノ關係ニナツテ居ルモノデ、美シイ狀態ガ展開サレテ居ルノデ、中ニハ惡イ事例モナイトハ申シマセスケレドモ、ソコニ非常ニ美シイ所ガナイデハナイカ、斯ウ云フコトニナツテシマツテ、オ醫師サント云フ者ハ半道ノコノ出懸ケテ行ツテ六十錢ト相場ガ決ルヤウニナリマスト、ドウモ是ハ能ク私ハ述懐ヲ聽イデ居ルノデアリマスガ、モウ息子ナンガオ醫師ナンカニ到底スルモノデナイ、コンナ馬鹿ナコトハナイト云ツヤウナ氣持ヲ持ツテオイデニナルオ醫師ガ少カラズ、事實田舎ノ知合デサウ云フヤウナコトニ出會ハシテ居ルノデアリマス、デ何カ勿論非常ナ困難ナ點ノアルコトハ今ノ御話デ了承致シマスケレドモ、地域の考慮、人的考慮ト云フヤウナコトニ適當ナ案ヲ見出シテ、ソコニ適當ナ融通性ト云フモノヲ御持チニナラスト、オ醫師ノ熱心ナル協力ヲ仰グコトガ先ヅ失ハレテ、實際此ノ國民健康保險組合ヲ設立シマシタ趣旨ガ貫徹シナイヤウナコトニナツテ來ル虞ガアル、從ッテ日本ノ醫業ノ發達ト云フコトヲ是デ阻止スルト云フヤウナ結果ニ

ナツテ來ル、長イ前途ヲ考ヘテ見マス、是非非常ニ恐ルベキ結果ヲ生ズルノデハナカラウカト云フ氣持ガ致スノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ當局ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、一應承リタイト思ヒマス

○國務大臣(小泉親善君) 只今國民健康保險、又健康保險ノ普及ト云フコトニ醫師ノ協力ガ最モ必要デアル、然ルニ醫療費ノ單價等ヲ劃一的ニスルト云フヤウナコトガ、ソレガ現在ノ色々ノ社會事情ト睨ミ合セマシテモドウモハツクリシテ居ナイ所ガアル、是デハ折角ノ社會保險ヲ國民ノ全部ニ普及スルト云フ趣旨ニモ副ハナイト云フ御心配カラノ色々ノ御言葉ハ誠ニ御尤ニ拜承致シマシタ、御言葉ノ中ニモ親ハレル次第デアリマスルガ、此ノ國民皆保險ト云フコトヲ急イデ致シタイト考ヘマスノハ、申上ゲル迄モナク醫療ヲ國民ノ何處迄ニモ普及致シタイ、其ノ普及モ唯極ク低イ醫療デモ何デモ宜シイ、普及サヘスレバ宜イト云フノデナクシテ、國民醫療法ニ明示致シテ居リマスルヤウニ内容ノ極メテ充實シタ、日進月歩ノ醫學ニ即シタ其ノ立派ナ内容ノアル醫療ヲ國民ノ津々浦々ニ迄之ヲ普及致シタイ、是ガ國民皆保險ノ狙ヒ所デゴザイマス、然ルニ只今仰セノヤウナ點ノコトガ若シ現レテ參リマスレバ、全ク逆行スルコトデゴザイマシテ、是ハ將來國民體力ノ向上、國民保健ノ爲ニ誠ニ遺憾ナコトデアルト存ズル次第デアリマス、今回此ノ單價ノ相當幅ノアツタモノヲ、色々ノ只今申上ゲマシタヤウナ事情等ニ於テ之ヲ畫一的ニ定メマシテ、是ハ一應仰セノ通りニ誠サウ云フコトデハ、只今續御述ニナリマシタヤウナ、色々ノ

弊害ガ續出スルト云フコトガ、私ハアリ得ルコトト存ズル次第デアリマス、茲ニ於キマシテ事務的ニハ此ノ人的或ハ地域の考慮ヲ拂フベク努力研究ヲ致シテ居リマスルガ、今日幸ニシテ此ノ矛盾ヲ是正致シ得ルモノトシテ、私共ガ此ノ準備ヲ進メツ、アリマスルノハ、日本醫療團ノ仕事ト是ト一心同體デアリマスル表裏一體的ノ活動ヲシ、而モ國策ノ協力機關タル醫師會、此ノ二ツノ運営ニ依リマシテ只今ノ矛盾ヲ是正致サウ、斯ウ考ヘテ居ル次第ナンデゴザイマス、ト申シマスルノハ、醫療團ハ單ニ醫療團ノ第一ノ目的ハ結核撲滅ニ大イニ力ヲ盡スト云フコトデ、醫療團ハ結核病床ノ速カナル普及ヲ圖リマスルガ、又一面ニ於キマシテハ、此ノ表裏一體的タル醫師會ト協同致シマシテ、結核以外ノ一般病氣ニ對シマシテ、内容向上セル醫療ヲ普及スルト云フ任務遂行ノ爲ニ極ク簡單ニ申上ゲマス、村ノ或醫師ガ何々診療所、何々病院ト云フヤウナ看板ヲ掲ゲテ居リマスル、其ノ片一方ニハ日本醫療團何々村出張所ト云フヤウナ意味ノモノニ致シマシテ、此ノ醫師ニ對シマシテ日進月歩ノ醫學ガ行ハレマスヤウニ、醫療團ガ學術的ニモ亦資材的ニモ、或ハ其ノ治療内容ニ於キマシテモ、懇切ナル御世話スルト云フ立場ニ置カレテ居リマシテ、又ソレノ聯絡ガウマク行キマスルヤウニ醫師會ガ茲ニ活動ヲシテ、サウシテ本當ニ津々浦々ニ迄、内容ノ向上シテ居ル醫療ヲ普及スルト云フコトニ御働キスル、國民皆保險ニナリマシタ時ニ於テハ全部ガ之ニ働クコトニ相成ル次第デアリマスルノデ、之ニ依リマシテ醫師會ノ國策協力機關トシテ爲スベキ必要ナル經費ハ國家ニ於テ之ヲ補助スル、

斯ウ云フ行キ方ヲシテ参リマシテ、只今ノ往診料ガ六十錢ト決ッテシマフト云フヤウナコトノナイヤウニ、適當ナル方面ノコトハ、極ク卑近ナコトヲ申上ゲマスレバ、醫療團ニ於テサウ云フ往診ヤ何カノ施設ヲ講ズル、或ハ醫師會自身ニ於テ講ジテ置ク、サウシテ之ニ依ッテ此ノ今個人々々ガ働カレルコトニ於テ單價ガ決ッテシマフ、立派ナ人が非常ナ良イ治療ヲ、苦心ノアル治療ヲサレタ時モ、極ク輕易ナ誰デモ出來ルヤウナ、保健婦デモ出來ルヤウナ治療ヲシタノト同ジ單價デ、病名ガ同ジダカラト云フヤウナコトノナイヤウニ致シマシテ、之ニ依リマシテ醫術ヲ益、向上セシメル、而カモ醫師ト患者トノ結び付キヲハッキリシテ行クト云フヤウニシテ、今日指導ヲ致シ、醫療團モ出來マシテカラ僅カノマダ日數シカアリマセヌガ、此ノ方面ニマダヤット先月カラシテ生レマシタ日本醫師會モ、此ノ點ニ向ッテ進マナレバナラヌト云ッテヤッテ居リマスヤウナ譯デアリマシテ、之ニ依リマシテ先程カラ御心配ヲ下サイマスル此ノ矛盾、又色々ノ御心配ヲナイヤウニ致シテ行キタイ、否之ニ依ッテ、皆保險ニ依ッテ全部ノ者ガ即チ保險組合、醫師會、醫療團三位一體のニナリマシテ、眞ノ目的タル所ノ内容ノ深い醫療ヲ國民ノ隅、ニ普及致シタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○丸山鶴吉君 厚生大臣ニ於カレマシテモ、只今御發表ニナリマシタ醫療報酬ノ點數ガ實際問題ニ適合シナイ所モアリ、又ソレガ爲ニ醫術ノ將來ニ付テノ深キ信念ヲ持タレマシテ、色々御考究ニナリ御心配ニナッテ居ル點ハ能ク了承致シタノデアリマス、諄イヤウデゴザイマスアレドモ、此ノ藥モマ

ア詳細ナモノガ出テ居リマスアレドモ、サッキ申上ゲマスヤウニ、内服藥ト云フモノハ一劑一日分ガ一點デ二十錢デ斯ウ云フコトニ決ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ健康保險ノ方デモ亦サウ云フ風ナ工合デアッタノデアリマス、國民全體ヲ目標トシテ、此ノ國民保險ト云フモノヲ進メテ行カウト云フコトニナリマス、モウ少シ御考慮ニナラナレバナラヌノデヤナイカと思フノデアリマス、私モ暫ク健康保險ノコトニ關係致シテ居ッタコトモゴザイマスアレドモ、マア當時デスラ一劑一日分二十錢ト云フヤウナコトハオ醫者ニ取リマシテハ、マアソレデ損ガ行クトハ申シマセヌアレドモ、外ニ健康保險以外ノモノニ投藥シテ居ル者カラ見レバ非常ナ犧牲ヲ拂ッテ居ル、是ハ健康保險制度ト云フモノハ工場労働者、集團労働者ト云フモノヲ主ニシテヤリマシタモノデスカラ、一種ノ是ハ社會救済ダト云ッタヤウナ意味デ健康保險醫ニナラレタ者モ、國民全體ノ醫療ノコトデナイモノデスカラマア幾ラカ辛抱ヲシテ居ッタト云フ點モアルヤウデアリマス、併シ其ノ當時決シテ損ガ行クト云フヤウナ程度デヤナイ、ソレデモマア藥代トシテ儲カリ方ガ少イト云フ位ノコトデアッタラウト思ヒマスルガ、大體其ノ藥價ヲ決メラレマシタノガ、サウ云フ健康保險ノ出發點カラ決メラレタ藥價デアアル、又此ノ國民保險デモ國民一般ニ及スト云フコトニナラヌ前ハ農山漁村、サウ云フ風ナ所ヲ目當ニシテ段々普及サレルト云フ趣旨デアッタノデスカラ、一種ノ是ハ社會政策の施設デ、マア醫療ニ困ル人ヲ此ノ保險ニ於テ助けタルト云フコトガ趣旨デアッタノデアリマスカラ、藥價等モ相當安ク決

メルト云フヤウナコトハ、是ハ當然ナコトデモアッタラウト思フノデアリマス、國民ノ一部分ニ對スル藥價デアリマスレバ、サウ云フ風ニ決メテモ外ノ方デ儲カル所デ補ヒ得ルト云フコトハアリマスガ、國民皆保險ノ思想ニナッテ總テノモノガ保險ニ入ルノダ、オ醫者ト云フ者ハ國民健康保險組合員ヲ治療スルノダト云フ斯ウ云フ立場ニナッテ來マス、餘リ安い單價ヲ決メラレマスト實際治療内容ガ低下シテ來ルノデヤナイカ、本當ニ適材ヲ用ヒルト云フヤウナコトガ自然出來ナイヤウニナッテ、ソレガ爲ニ實際治療ノ效果ヲ舉ゲルコトガ少ナクナルト云フヤウナ虞ガアルノデヤナイカ、殊ニ此ノ二十錢ヲ決メラレタ當時カラ見マスルト、藥代ト云フモノハ非常ニ騰テ居ルノデ、チョット調べテ見マシタガ、アルコールガ五百「グラム」昭和十一年ニ一圓一錢ダッタモノガ現在ハ十二圓十五錢、一番オ醫者サンガヨクオ使ヒニナル重曹デアリマスガ、重曹デモ五百「グラム」ガ昭和十二年ノ十二月當時ノ小賣相場ハ十錢デアリマシタガ、今ハ二十七錢デアリマス、大抵皆一倍、三倍ト云フ藥代ニナッテ居ル、是モ藥ノ配給ノ關係デ開業醫ナシカナカ、藥ヲ手ニ入レルト云フコトニ非常ニ困難ヲシテ居ルト云フヤウナ状態ノ時デアリマス、相當藥ニモ闇ガ行レテ居ルト私ハ見テ居ルノデアリマス、サウ云フ際ニ兎ニ角一日一劑二十錢ナンダ、斯ウ決ツテシマッテ居ルナラバ、自然癒ッテモ癒ラナクテモ宜イカラ一劑與ヘテ置ケバ宜イノダト云フヤウナ氣持ニナッテ置ケバ宜イカノデ、ドウシテモ心カラオ醫者ノ協力ヲ仰ガナレバナラヌノデスカ、經濟上ノ立場カラ言ッテドウモサウ云フコトニナッ

テ來ルト、醫療内容ガ非常ニ低下シテ來テ、却テ國民健康保險ノ最終ノ目的ヲ達成スルノニ障礙ヲ來スヤウニナル、例ヘバ都會ニ是カラ段々オ獎メニナルト致シマシテモ、私共初メ健康保險組合ニ入ッテ、其ノ組合ノ保險醫サシニ見テ貰ヘバ一劑ハ二十錢ダ、ドンナ藥ヲ貰フノカ知ラヌガ、ソシナコトデヤドウモ組合ナシカ云フモノヲ拵ヘヌ方ガ宜イ、サウシテマア是ハ色々御意見ハ承ッタノデスカ、今ノ所デハ半里ノ間ト云フモノハ僅ニ六十錢、夜間夜中ニ呼出シテ來デモ一圓二十錢、大抵本人ノ負擔ト云フノガ二割乃至三割ト云フコトニナッテ居ルカラ、三割負擔トシテモ、ドンナ立派ナオ醫者ヲ夜中ニ呼ンデ來デモ、不斷ノ保險掛金ノ外ハ僅ニ三十六錢出セバ立派ナ醫學博士デモ自分ノ所ヘ呼ブト云フコトガ出來ル、理論上ハサウ云フ風ニナッテ居ル、サウ云フコトニナリマス、ソシナコトデ本當ニ病氣ニナッタ時ニ病氣ガ癒ラダラウカ、適切ナ治療ヲ受ケルコトガ出來ラダラウカ、斯ウ云フ心配モ、是ハ素人デモ直グ考ヘル、ソシナ組合ナシカニ入ッテ一體本當ニ病氣ニナッタ時ニドウナルカト考ヘマス、組合ヲ普及サレテ行ク上ニ付テモ非常ナ障礙ニ却テナルノデヤナイカ、餘リ値段ヲ安ク決メテ置クト云フノハ寧ロ國民保險ノ普及ノ障礙ニナルノデヤナイカ、サウ云フ氣持モ致スノデアリマス、マア此ノ點ハ日本醫師會ナリ、醫療團ナリ、ソレ等ガ設立サレル時ニ、厚生大臣モ御述ニナリマシタヤウニ、色々御考究ニナルト云フノデアリマスカラ、ソレ等モ併セテ慎重ニ一ツ御考究ニナリマシテ、何トカノ形デモウ少シ合理的ニ、オ醫者モ國民モ喜ンデ此ノ組合ニ入ッテ

組合が速ニ普及スルヲ云フヤウナ形ニナツテ
行カナイトイカスト思フノデアリマス、今
ノ所デハマア寄り／＼友達ノオ醫者トカナ
シトカニ會フ度ニ此ノ問題ガ出ルノデアリ
マシテ、アンナ氣持ニ醫者ヲ置イテ置イタ
ノデハ、私此ノ國民健康保險ノ此ノ立派ナ
施設ノ前途ニ非常ナ憂ヲ殘スノヂヤナイカ
ト云フコトヲ痛切ニ心配致シマスカラ、諄
イヤウデゴザイマスケレドモ、斯ウ云フ質
問ヲ申上ゲル次第デゴザイマス、厚生大臣
ニ於カレマシテモ更ニ一ツ十分ニ御考究ヲ
願ヒタイ、之ヲ二月御發布ニナリマス時ニ、
今度法律ニ依ッテ出來マシタ大日本醫師會ア
タリノ意見ハ十分御聴取ニナツタノデセウ
カ、如何デセウカ

○政府委員(平井章孝) 大臣ノ名ニ依リマ
シテ日本醫師會會長、日本齒科醫師會會長ノ意
見ヲ大臣カラ文書ニ依ッテ徴シテ、其ノ結果
決定公示サレタモノデアリマス

○國務大臣(小泉親彦君) チョット只今ノ
ニ御答ヘ致シマス、御話ノ通り一劑二十錢
ガトカ、或ハ車賃ガドレダケダトカ云フヤ
ウナ從來ノ醫師會、日本醫師會ト云フモノ
ガナイ中ニハ、到底只今考ヘマシタヤウナ
國民皆保險ト云フヤウナ考ハ出スコトガ
出來ナカッタノデアリマス、併シ結核ノ蔓延
ノ狀況、國民ノ保健ト云フ問題カラ考ヘマ
シテ、國民皆保健ト云フコトガ最モ宜イ、
ソレヲヤル上ニ於キマシテモ茲ニ新タニ日
本醫師會、全ク從來ト違フモノガ出來ナケ
レバナラス、又ソレニ對スル一ツノ實施機關
ガナケレバナラヌドウシテモ出來ナイト云
フヤウナコトカラ、此ノ國民醫療法ト云フ
モノノ御制定ヲ仰イデ、斯ウ云フコトニ致
シマシテ一年ノ間ニ此ノ準備ガ整ヒマシタ

ノデ、先般國民皆保險ト云フ決意ヲ政府デ
致シタヤウナ次第デゴザイマス、從ヒマシ
テ今日唯下ノ病氣デモ一劑二十錢デ癒ル
云フヤウナ感じハ全然持ッテ居リマセシ、
事實調査ヲ致シテ見マスト、全ク國家ガ治
療致シテ居リマスル方面ニ於キマシテ、一
日ニ五十圓掛ル治療ガ數十日續イテ初メテ
人命、保健ヲ全ウシ得ルト云フヤウナ場合
モアリマス、併シ又殆ド何モ藥トシテハ要
ラナイト云フヤウナ時モアルノデアリマス、
是ガ從來ノ醫療ト云フモノニ非常ニソコニ
是正スベキ點ガアル、是等ノ方面ニ對シマ
シテハ醫師會ノ活動ヲ俟タナケレバナラス、
又患者ガ自分ガ治療ヲ受ケテ是ガ二十錢ナ
ンダト云フノデ、オ醫者サントソレカラ患
者トノ間ガ唯金デ結び付クト云フヤウナ意
味ノコトハ絕對致シタクナイ、何處迄モ信
頼デ、病人ト醫師トノ間ニ信頼關係ニ結ビ
付イタ行キ方ヲシテ行キタイ、斯ウ云フコ
トカラシテ只今ノヤウナ即チ治療ノ上ノ個
人個人ノ經濟的關係ト云フヤウナ問題ハ、
是ハ醫療團、醫師會ト云フヤウナモノガ取
上ゲテ、茲ニ十分ニ其ノ間ニ調和ヲ圖ルヤ
ウニシテ行ッテ、其ノ患者ガ醫療ヲ求ムル場
合ニ於テハ、其ノ病氣々々ニ應ジタ適當ナル
醫療ガ其ノ人ニ及サレル、從來到底一生
自分達ハサウ云フ立派ナオ醫者サンニ見テ
貰ヘナイト云フヤウナ階層ノ人達モ、其ノ
病氣ニ依リマシテ立派ナ人ニ見テ貰ヘルト
云フ風ニ迄行キタイト云フノガ、日本醫療
團ガ中央病院カラ末梢ノ先程申上ゲマシタ
一開業醫ノ所迄ノ一ツノ醫療體系ト云フモ
ノヲ確立スル爲ノ組織體、機關トナリマシ
タ次第デゴザイマスノデ、此ノ點ハ先程申
上ゲマシタヤウニ各醫師會、醫療團、之ヲ

三位一體のニ運營ヲ致シマシテサウシテ何
處迄モ患者ト醫師トノ信頼關係ニ依ッテ内
容ノ向上ト、醫療ガ普及出來ルヤウニ運營
シテ行キタイ、斯ウ考ヘマシテ、此ノ運營
ニ付テハ將來共萬遺憾ナキヲ期スル次第デ
アリマス、尙此ノ一劑二十錢、或ハ先程ノ
點數等ニ於キマシテハ、今回生レマシタ醫
師會ガ實際ヲ見マシテ、又醫療團ノ手ヲ及
シマシテ、色々ノ醫療費等ノコトガハッキリ
分ッテ參リマスト、茲ニ自ラ先程事務當局カ
ラ申シマシタ人的、地域的ノ此ノ調節ノ考
慮モ當然行ハレルヤウニナツテ來マシテ、之
ニ依リ此ノ單價ノ問題、或ハ只今御指摘ニ
ナリマシタヤウナ、色々ノ問題ガ解決ノ出
來ルヤウニ、逐次進ンデ行キタイ、斯ウ考
ヘテ居ル次第デゴザイマス

○丸山鶴吉君 大體了承ヲ致シマシタノデ
アリマス、殊ニ今度出來マシタ醫師會ヲ本
當ニ活用サレマシテ、サウシテ之ヲ適正ニ
御考慮下サルト云フコトヲ大臣カラ言明ヲ
得マシタノデ私安心ヲ致シタノデアリマス、
唯醫師會ノ方モ新シク立派ナ方ガ、醫師會
長ニ厚生大臣カラ御指名ニナリマシテ、御
任命ニナツタノデアリマス、此ノ問題ノ如キ
ハ重大ナ問題デアリマシテ、今府政委員カラ
承ルト、唯書面デ日本醫師會會長ト齒科醫師
會會長ノ了解ヲ得タト云フコトデアマスガ、
是ハ日本ノオ醫者トシテハ重大ナ問題デゴ
ザイマスカラ、特ニ總會デモ開イテ、會員
ノ意見ヲ交換シタ上デ決定シテ答申ヲセ
ラルベキモノデ、恐ラクソシナコトヲ會
長ガ獨斷デ初メカラ回答サレタト云フ
コトニナリマスト、大キナ責任問題ガ起ッテ
來ルノデハナイカトスラ心配ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、折角強化サレマシタ日本

醫師會モ出來マシタノデアリマスカラ、十
分醫師會ノ意見モ尊重サレ、考慮ヲ願ヒタ
イノデアリマス、デ是モ諄イヤウデアリマ
スケレドモ、モウ一點ダケ此ノ診療報酬ノ
點數表ヲ見マスト、中ニ指導料ト云フモノ
ヲ御取リニナツテ居ル、斯ウ云フコトハドウ
モ日本のデナイヤウナ感じガ私ニハサレテ
ナラスノデアリマシテ、例ヘバ結核性疾患
ニ罹ッテ居ル者ヲ診察ニ行ッテ榮養、安靜又
ハ運動其ノ他療養上ノ指導ヲ爲シ、常態ト
シテ投藥注射、處置等ガ行ハレザル場合
ニ請求シ得ル其ノ指導料ト云フノガ三點、
六十錢貫ヘル、ソレカラ乳幼児哺育指導デ、
滿二歳以下ノ病氣ノ子供ニ授乳、榮養、食
餌其ノ他療養上ノ指導ノミヲ爲シ、常態ト
シテ投藥、注射、處置等行ハレナカッタ場
合ニハ指導料、行ッテ見タ場合ニハ往診料ノ
外ニ指導料ト云フモノヲ三點貫フノガ、ド
ウモソシナコトハ日本のデナイノデ、オ醫
者ガ患者ヲ見ニ行ッテサウシテオ前斯ウ云
フ風ニシテ光線ニ當ッタ方ガ宜イダラウ、
少シ運動シタ方ガ宜イダラウ、食物ハ斯
ウ云フ風ニ注意シタ方宜イダラウト注意ヲ
與ヘルコトハ當然ナノデ、其ノ注意ヲ與ヘ
タカラハ三點貫フト云フノハ、立派ナ人
ハソシナコトハシナイト思ヒマスガ、儲ケ主
義ノオ醫者ガアルトスレバ、幾分デモ良イ
コトヲ言ッテ指導シタノダカラ三點、斯ウ云
フノデ六十錢ヲ附ケサセル、ソシナコトハ
ドウモ今迄ノ日本ノオ醫者ト患者トノ關
係ト云フモノヲ非常ニ水臭クシ、機械的ニ
スル規定ノヤウデアリマシテ、之ヲ見タ時ニ
私ハ非常ニ氣持ガ悪ク感じタノデアリマス、
何カ將來醫師會トモ色々御研究ニナリマシ
テ、是等ニ改正セラレル時ニ、大體日本國

民健康保險ト云フモノガ日本の出来テ居ルノデ、ロシヤノ醫療國營ト云フコトノ弊害ヲ矯メテ、本當ニ隣保共助ノ精神ニ立ッテ行クト云フ趣旨カラ出来タ組合デアリマスカラ、何等カ一ツノ形式デソシナ注意ヲシタカラト云フノデ三點取ラレルノダト云ツタヤウナコトハ、斯ウ云フヤウナ規定ニ表シテ貫ヒタクナイト、斯ウ云フ感ジガ切ニ致シマスノデ、是モ併セテ御願ヒ申上ゲマス、其ノ點ニ對スル質問ハ餘リ長ク時間ヲ取リマシタノデ、マダ承リタイコトハアリマスケレドモ止メマシテ、唯一點厚生大臣ニ心配ニナリマスノデ、承ッテ置キタイト思ヒマスコトハ、豫算ノ中ニ轉廢業ニ對スル施設ノ費用モ色々アルノデゴザイマスガ、現ニ轉廢業者ガ相當數出テ居ルヤウデアリマス、ソレニ承ル所ニ依ルト、政府ノ方針トシテ決定サレテ居ル所デハ、段々ニカラ平和産業ノ整理ヲ大規模ニサセル、殊ニ鐵鋼政策等カラ考ヘマシテモ、古イ機械等ヲ大規模ニ潰サナケレバナラスト云フコトデアリマスカラ、或ハ紡績業デアリマスツカ、或ハ製絲業デアリマスツカ、其ノ他ノ平和産業ト云フモノガ非常ニ整理ヲ受ケル、又全國ニアル金山、其ノ他ニ於キマシテモ、モウ殘ス金山ト云フモノハ非常ニ少クテ、今戰爭ト直接關係ナイヤウナ所ハ非常ニ整理ヲサレル方針ガ、大體政府トシテ御決定ニナッテ居ルヤウデアリマス、サウシマスルト是等カラ出来マス一種ノ失業者、勿論厚生省トシテハソレヲ他ニ轉業サセ、生活ノ途ヲ得ルヤウニ最善ノ途ヲ御盡シニナルト思ヒマスケレドモ、相當多數ノ者ガ一時ニ溢レ出ルノデハナカラウカ、本年ノ豫算ニハソレ等ヲ豫期シテ御要求ニナッテハ居ラ

ヌヤウニ思フノデアリマス、既ニ國策トシテ平和産業ノ大整理ヲヤルト云フコトガ決ツタ以上ハ、ソレ等ノ轉廢業者ト云フモノガ一時ニ非常多數ノモノガ出テ來ルノダト云フコトダケハ豫想サレルノデスガ、之ニ對スル手當ハ十分ニ御出来ニナッテ居ルノデゴザイマスセウカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(小泉親彦君) 企業ノ整理ニ因リマシテ轉廢業セラレタ、而モ重要産業方面ニ轉業サレルト云フヤウナ人ニ對シマシテハ、從來ハ轉廢業ヲ致シマス爲ノ共助金制度或ハ更生資金ト云フヤウナ恩典ニ浴シマシテ、是ガ愈、重工業ナリ重要産業方面ニ移ッテ參リマス時ニハ、此ノ人ノ生活ニ對シマシテ一月ノ生活援護ガ行ハレテ居リマシタノデアリマスガ、今回之ヲ九十日ニ延長致シマシテ、ソレダケノ生活援護ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙此ノ人達ニ對シマシテ色々ノ轉業準備ト云フモノニ對シマシテハ、從來ノ勤勞訓練所ト云フモノガ全國ニ二箇所ゴザイマシテ、既ニ只今迄ニ一萬數千名ノ卒業生ヲ出シテ居ル譯デアリマスルガ、先般來更ニ二箇所、同様ノ大キサノモノヲ拵ヘマシタノデ、月ニ四千人ツツ出テ居ルト云フヤウナコトガゴザイマス、又全國ノ職業指導所ニハ補導所ヲ拵ヘマシテ、職業補導ノ爲、轉廢業者ノ爲ニ是ハ全國ニ相當數ノモノガ出来テ居リマスノデ、其ノ卒業者モ年ニ數萬ヲ算シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、今後ハ更ニ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、例ヘバ金山ト云フヤウナモノノ整理ト云フヤウナコトカラ出マスル所ノ人々ニ對シマシテハ、大體同ジ企業體ノ中ニ他ノ重要産業、例ヘバ金山ノ同ジ企業

體ノ中ニ炭山ガアルト云フヤウノハ、極メテ都合ガ宜シイノデゴザイマスノデ、サウ云フ所ニ其ノ人達ヲ轉業サセル、移動配置セシムルト云フコトヲ今準備ヲ致シテ居ル次第デアリマスルガ、併シ同一企業體ニサウ云フモノノナイヤウナモノニナリマス、是ハ已ムヲ得ズ即チ配置換ヘテ致サナケレバナラナクナルト存ジマス、此ノ配置轉換ノ方ニ對シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ生活援護ノ手ヲ差伸ベマスヤウニ、關係當局トモ一緒ニナリマシテ準備ヲ進メテ居ルヤウナ次第ゴザイマス

○政府委員(持永義夫君) 私カラチヨト附加ヘテ申上ゲマス、今後ノ企業整備ニ因リ從業員ノ問題ヲドウスルカト云フ御心配デゴザイマスガ、是ニ付キマシテハ金山ノ方ハ目下色々ト關係省ト話ヲ進メテ居リマスガ、實際整理サレマスノハ大體四月以降ノヤウデアリマス、從ッテソレニ要シマスル經費ハ現在要求シテ居リマセヌガ、必要ニ依リマシテ豫備金等デ要求シタラドウカト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙只今御話ノ全體ノ企業整備ニ因リ從業員ノ救済ノ問題、是ニ付キマシテモ大體四月以降デアリマシテ、商工省ノ考トシマシテハ逐次ヤッテ行クト云フヤウナ考ナノデアリマス、取敢ズノ方針トシマシテハ三月一杯迄デ止メタル者ニ付キマシテハ、事業主ガ或程度救済ノ方策ヲ講ジテ居リ、政府トシマシテハ其ノ以後ノ分ヲ考ヘル、從ッテ商工省ノ關係モ實ハ救済ニ關スル豫算ガ出テ居ナイ次第デアリマス、ソレハ全體合セマシテ何レ特別ノ措置ヲ講ジテ行クトニ相成ルダラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○丸山鶴吉君 是ハ數字ナドハ御述ニナルコトハ出来ナイダラウト思ヒマスガ、企業整備ニ因ッテ轉廢業ト云フモノノ數ハ非常ニ大キクナルンデヤナカラウカト私共想像致シテ居ルノデアリマス、ソレデハ豫算編成ノ頃迄ニハ政府ノ御方針モ本當ニ確トシテ決ッテ居ラスノデ、豫算ノ時ニ御組ミニナルコトガ出来ナカッタコトハ諒トスルノデアリマスガ、非常ニ大キナ國費ヲ要スルヤウナ事態ニナッテ來ルンデヤナイカト云フコトヲ臆ゲナガラニ數字ヲ豫想シタリシテ私共心配ヲ致シテ居ル、ソレデ豫算ヲ見マス、豫算ニハサウ云ツタコトデ豫想シテ御請求ニハナッテ居ラス、今政府委員カラ御述ニナッタヤウニ、其ノ點ハ豫備金等デ御考ニナルト云フコトデアリマスカラ、マアソレ以上ハ申上ゲマセヌガ、現ニ商工省關係ニ於キマシテハ又小賣商ノ整理ナンカヲ始メテ居ルノデアリマスガ、ソレヤヤフ全體ヲ集メテ見マス、非常ニ大キナ國費ヲ要シテ是ガ處置ヲシナケレバナラスト云フヤウナ事態ガ來ルト斯ウ考ヘラレルノデアリマス、御サカリノナイコトダラウト考ヘマスガ、サウ云フ點ニ付テ豫算面カラ見テ非常ニ心配ヲ致シマスカラ是ダケノ質問ヲ致シタノデアリマシテ、更ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(小泉親彦君) 只今ノ、今後ニ起リマスル、企業整備ノ問題ニ對シマシテハ、御話ノヤウニ是ハ全部ノ企業ヲ其ノ儘、例ヘバ端のニ申上ゲマスルト、國家ガ之ヲ買上ゲルト云フヤウナコトニ致シマスルト、是ハ大ハ大ナ額トナリマス、今日ノ所ハ其ノ企業ハ其ノ儘ニシテ置イテ、必要ナル所ニ必要ナル措置ヲ講ジタイ、今回ノ鐵回收等ニ於キマシテノ計畫ト同ジヤウナ意味

ニ於キマシテ、設備全部ヲ「スクラップ」ニ
スルト云フヤウナコトハ大變ナコトニナル
ト考ヘテ居リマスガ、是同ジヤウニ、企
業整備ノ時ニ於キマシテモ、從來ノ企業ノ
性質又ハ發達等ヲ考ヘマシテ、是ハ政府ニ
於テ十分責任ヲ以テ善處スル、斯ウ云フコ
トヲ一ツ申上ゲテ置キマス

○吉田茂君 私ハ前刻大臣ノ御説明中ニモ
アリマシタ明年度豫算トシテ主トシテ力ヲ
注ガレルト云フ軍需生産ノ増強ニ付テ御尋
ネシタイト思フデアリマスガ、丸山委員
ノ御質問中ニ屢、國民醫療法、日本醫師會
ノ働キニ付テノ御話ガ出マシタニ付テ、先
ヅ自分ノ伺ヒタイト思フ居タコトヲ伺ヒ
マスル前ニ、國民醫療法ノ實施ノ狀況ニ付
テノ概略ヲ伺ヒタイト思フデアリマス、
醫師會ハツヒ先般改組サレマシタ、醫療團
ハ之ニ先ヅテ大分以前ニ其ノ組織ガ出來
マシタ、日本醫療法ノ施行、又我が國醫療
界トシテノ劃期的ナ新シイ基礎ヲ御築キ下
サイマシタコトハ、此ノ重大時局、殊ニ厚
生大臣ノ御骨折ニ感謝スル譯デアリマス、
此ノ醫療法ノ施行ノ現況、醫療團ノ現在ヤ
テ居ラレルト、又本年主トシテ力ヲ注ガ
レタイトコト、御考ニナツテ居ルコト等ノ概
略ヲ先ヅ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(武井群嗣君) 昨年帝國議會ノ
協賛ヲ經テ制定ニナリマシタ國民醫療法ノ
實施ノ狀況ニ付テ御答ヲ申上ゲマス、仰セ
ノ通り其ノ内容ト致シマシテハ、日本醫師
會及齒科醫師會ノ改組ト日本醫療團ヲ設立
ト云フヤウナコトガ大キナコトニナツテ居
ル譯デゴザイマス、醫療團ニ付キマシテハ
法律ノ制定公布後準備ヲ進メマシテ、六月
末ニ日本醫療團ノ設立ガ出來タ譯デアリマ

ス、何分ニモ新シク始メルコトデアリマス
ノデ、又事務所等ノ關係モアリマシテ色々
ト當初手間取ツタコトガアルノデアリマス
ガ、只今ノ狀況ヲ極ク概略ヲ申上ゲマス、
御承知ノ通り一ツノ仕事ハ結核療養所ノ急
速建設ト云フコトニアリマスノデ、其ノ方
面ニ付キマシテ只今ノ處十七年度ノ事業計
畫ト致シマシテハ、現實ニ具體化シテ居リ
マスルモノガ結核療養所ノ病床一萬九千
云フモノヲ場所ヲ選定致シ、或ハ又工事ノ
契約ヲ締結シ、或ハ建設工事ニ著手スルヤ
ウナ實情ニ相成ツテ居ル譯デゴザイマス、是
ニ付キマシテハ、實ハ醫療團設立前ヨリ厚
生省ニ於キマシテ府縣當局ト内々準備ヲ進
メツ、アツタ譯デアリマスガ、ソレヲ全部新
設ノ醫療團ニ引繼ギマシテ、醫療團ニ於キ
マシテハ府縣當局ト打合ノ上、只今申上ゲ
マシタヤウニ十七年度ノ事業目論見ニ依リ
マスル一萬九千床ニ付テノ設置ヲ急ギツ、
アル狀況デアリマスガ、資材其ノ他色々ノ
關係デ當初ノ期待程ニハ進ンデ居リマセヌ
ガ、醫療團ノ評議員會ノ議ヲ經マシタ本年
事業目論見通りニハ參ツテ居ル實情デアリ
マス、療養所ト關聯致シマシテ公立ノ結核
療養所ヲ日本醫療團ニ統合スルト云フ問題
ガアル譯デアリマス、約二萬床ニ近イモノ
ヲ統合スルトニナツテ居ル譯デアリマス
ガ、是ハ十七年度末ヲ以テ公營ヲ打切ツテ、
十八年度ヨリ日本醫療團ニ統合スルト云フ
豫定ニナツテ居リマスノデ、只今ソレガ統合
ニ付キマシテ事務的ノ打合ヲ主トシテ内務省
ト致シテ居ルノデアリマシテ、大體事務的ニ
ハ順調ニ進ンデ居ル譯デゴザイマス、其ノ
他無醫地域ノ解消或ハ他ノ一般病院ノ統合
ト云フヤウナ問題モ、事業目論見トシテハ

計畫ハ致シテ居リマスルケレドモ、只今
ノ處ハ結核ノ對策ニ力ヲ注ガバ宜シカ
ラウト思ヒマシテ、其ノ方面ニハマダ手
ヲ著ケテ居ラヌ譯デゴザイマス、尙申
添ヘテ置キタイト思ヒマスコトハ、昨年
ノ八月政府ニ於キマシテ、結核對策ニ
付キマシテ強イ國家意思ヲ表明致シタ譯
デアリマスガ、之ニ依リマス、當初日本
醫療團ハ五箇年ノ計畫ヲ以テ全國ニ八萬床
ノ結核療養所ヲ建設スルト云フノデアツタ
ノデアリマスガ、此ノ國策ノ決定ニ依リマ
シテ之ヲモット早メテ、三箇年ヲ以テソレヲ
完成スルト云フ見込ノ下ニ急グコトニナツ
テ居リマスノデ、ソレ等ノ準備モ只今致シ
テ居ル狀況デゴザイマス、第二ノ日本醫師
會及日本齒科醫師會ノ設立ノコトニ付キマ
シテハ、先程モ丸山委員ノ御尋ニ對シテ御
答ヘ致シタ中ニモ出タノデアリマスガ、法
ノ施行ト共ニ、之ニ必要ナル勅令ヲ制定セ
ラレマシテ、之ニ基イテ道府縣ノ醫師會ノ
結成ヲ昨年ノ秋濟マセマシタ、道府縣ノ醫
師會長等ガ設立委員ニナリマシテ、日本醫
師會及日本齒科醫師會ノ設立ガ一月ノ末ニ
出來上リマシテ、兩會長ノ任命ヲ見、以下
副會長、理事等ノ選任ヲ見タ譯デゴザイマ
シテ、兩醫師會共設立以來、新シイ醫師會
及齒科醫師會ノ爲スベキ事業等ニ付キマシ
テ、只今色々計畫ヲ進メツ、アル實情デゴ
ザイマス、其ノ外醫療法ノ施行ニ付キマシ
テハ、一般ノ醫師ノ業務等ニ付キマシテノ規
定、或ハ開業其ノ他ニ付キマシテノ詳細ナ
規定ガ必要ナノデアリマスガ、是等モ勅令
若シクハソレニ伴フ省令等ノ制定ヲ全部昨
年中ニ終リマシテ、先ヅ一應形ノ上ニ於キ
マシテハ、國民醫療法ノ施行ハ事務的ニ完了

シタ實情デゴザイマス
○吉田茂君 醫療團ノ目下最モ力ヲ注グ重
點トシテ、結核撲滅ト云フコトニ御骨折ニ
ナルト云フコトハ、誠ニ結構ダト思フノデ
アリマスガ、其ノ外ニモ、前刻ノ丸山委員ノ
質問ニ對スル大臣ノ御答辯中ニモアリマシ
タ醫療内容ノ向上改善ト云フヤウナコトノ
大本山ニ醫療團ガナツテ行クコトヲ思フノ
デアリマスガ、又結核ノ豫防撲滅ト云フコトニ
致シマシテモ、單ニ療養所ノ病床ヲ増加ス
ルト云フコトバカリデナシニ、大臣ノ御持
論デアリマスル環境ノ整備ト云フヤウナコ
ト、國民ノ健康増進、結核豫防或ハ早期ノ
治療ト云フヤウナコトモ、矢張り醫療團ヲ
中心トシ、醫師會ト連絡ヲ執リ、其ノ他有
ラユル方法デ實施セラル、コトト私共ハ豫
期シテ居ルノデアリマスルガ、療養所設置
ノ外ニ左様ナコトニ付キマシテ、現在御計
畫ハドウ云フ風ニナツテ居リマスルカ、又今
後如何様ナ措置ヲ執ラレマスルカ、ソレヲ
一ツ大臣カラノ御示ガ伺ヘレバ甚ダ仕合セ
ダト思ヒマス

○國務大臣(小泉親彦君) 結核撲滅ニ對シ
マシテハ先般閣議デ決定致シマシタヤウニ、
從來ハドウモ行政部面ニ於キマシテハ厚生
省限リノ問題ノヤウニサレテ居リマシタノ
ヲ、今回教育、産業、有ラユル行政部面ニ
於テ、又ソレノミナラス國民全部ト一緒ニ
ナツテ行カナケレバナリマセヌノデ、有ラユ
ル社會層ヲ通ジマシテ、此ノ國家意思ニ基
イテ協力ヲシテ結核撲滅ニ邁進シヨウト云
フコトニ致シマシタ關係カラ、此ノ對策ヲ
立テマス上ニ、各方面ノ仕事ニ付テ只今仰
セノ環境ヲ整備スル、撲滅環境ヲ十分整備
スルト云フコトニ著眼致シタ次第デアリマ

ス、而シテ日本ノ結核ノ蔓延ノ狀況ハ御承知ノ通り、歐米ト全然違テ居ルノデゴザイマシテ、青年層ニ結核ノ一ツノ流行ノ山ガゴザイマス、是ダケデ日本ハ非常ニ結核ノ多イ國ニナッテ居リマスノデ、此ノ山ヲ崩シマスレバ大體結核ノ少イト言ハレテ居ル國ト同ジヤウナ狀況ニナリマスノデ、此ノ山ヲ崩スベク此處ニ撲滅ノ重點ヲ置キマシテ、丈夫ナ人ハ益、結核ニ罹ラナイヤウニ、又他ノ病氣ニモ罹ラナイヤウニ鍛鍊ヲスル、弱クテ此ノ儘デ置クト結核ニ罹ル、或ハ病氣ニ罹リ易イト云フヤウナ弱イ人ハ此ノ青年層ニ約四十萬、年々ゴザイマスノデ、此ノ四十萬ノ人ヲ先ヅ容レテ、病氣ニ罹ラナイヤウナ、又弱イ人ガ丈夫ニナルヤウナ生活ヲ訓練加ヘル、極ク端的ニ申シマスレバ、十分ノ營養ヲ與ヘ、十分ノ休養ヲ與ヘテ、サウシテ本當ノ健康生活ヲ體得セシメルト云フコトニ致シマスレバ、此ノ四十萬ノ大部分ヲ救ヘルノデハナイカ、之ニ付キマシテ、昨年來二箇所程準備の試験施設ヲ致シタノデアリマスルガ、其ノ效果ガ非常ニ顯著ナモノガアリマシタノデ、此ノ成績ニ依リマシテ全國ニ千三百箇所バカリ、今回健民修鍊所ト云フモノヲ設置致シマシテ、此處ニ大體二月ヅ、只今申シマスヤウナ青年ヲ收容致シマシテ、之ニ依ッテ仕事ヲシツツ療養スル、療養ダケシカ出來ナイ者ハ療養ダケスルト云フ風ニシテ行キタイ、病人ハ日本醫療團ニ之ヲ引受ケサセル、サウシテ國民皆保健ニ致シテ行クト云フヤウナコトト併セマシテ、生活ノ有ラユル部面カラ生活保護ト云フコトヲハッキリ致シマシテ、之ニ依ッテ國民ノ中カラ結核ヲ、兎ニ角此ノ山ヲ崩シテシマフト云フヤウニシテ行キタイ

ト云フノデ、今回ソレ等ノ豫算の措置ヲ致シタ次第デアリマス

之ニ關スル豫算モ數々擧ゲラレテ居ルノデアリマスガ、軍需生産ヲ増強スル爲ニハ是モ醫療ト同ジデ、厚生省ノ御擔任ダケデソレガ出來ル譯デナクテ、他ノ産業省、例ヘバ商工省、或ハ勞務ノ大切ナ給源デ是レ亦アリマスル農村ヲ預ル農林省、或ハ教育ノ部面ヲ受ツツ文部省等、ソレハ政府全體ノ御協力ニ依ッテ初メテ軍需産業生産力増強ト云フコトガ、實現セラル、ト思フノデアリマスルガ、主トシテ厚生省ノ御心配ヲ戴カネバナラナイ勞務ノ問題ヲ中心ニ、少シ何ッテ見タイト思フノデアリマス、本年ハ特ニ大戰爭下ノ最モ大切ナ年デアリ、生産力ノ増強ト云フコトニ、國家ノ總力ヲ結集セニヤナルマイト云フコトヲ屢、政府當局カラモ御話ヲ伺ッテ居リ、私共モ實際サウナケレバナラス

穩當ノコトガアリマシタラ、後デ速記カラ然ルベク削ッテ置イテ戴イテモ結構デアリマス、心身共ニ若イ従業員ガ「スポイル」サレル、又病氣ニナッテ者ハ村ヘ歸ッテ、村デ結核其ノ他ノ病菌ヲ振り播ク、村ハ一番大切ナ日本ノ何ト申シマスカ、日本のナ氣魄ハ、是ハ育ツ中樞デアルト考ヘルノデアリマス、左様ナ工場方面ノ思ハシクナイヤウナ狀況ガ村ニ影響ヲ及シテ、所謂人ノ申シマスル轉業農家ト云フヤウナモノデ離農ノ傾向ガ顯著ニナッテ來テ、食糧ノ増産モ、軍需産業ノ増産等ト、或ハヨリ以上根本的ニ大事ナコトデアルト思ハレマスルニ拘ラズ、サウ云フヤウナコトガ影響シテ、若干食糧増産ト云フコトガ妨ゲラレル、増産ガ妨ゲラレルバカリデナシニ、左様ナコトガ相關聯シ、循環致シマシテ、國民ノ士氣道念ト云フヤウナモノニ無理ヲ掛ケル、サウ云フコトモ有リ得ルノデヤナイカト云フヤウナ心持ガ致シマシテ、自分ノ實際ノ見聞カラモサウ云フ氣ガシテ居ルノデアリマス、是ハ單リ厚生省御擔當ノ方面ニ於ケルコトダケデ解決シ得ベキ問題デハナイノデアリマシテ、政府全體ノ緊密ナ御協力ノ下ニ、矢張り本當ノ堅實ナ前線ノ兵隊ノ働キ同様ナ、奇蹟的ナ生産増強ガ行ハレナケレバナラス現狀デアリマス、其ノ政府全體ノ連絡アル御骨折ヲ希望致シマスルト同時ニ、私ノ只今心配致シマシタヤウナ點ニ付キマシテ、厚生大臣ハドノヤウニ現狀ヲ御覽ニナッテ居ラレマスルカ、又其ノ現狀ニ對シテドウ云フ御工夫ヲ御持チニナッテ居リマスルカ、ソレ等ノ御工夫ト、本年御提出ニナリマシタ是等ノ軍需生産増強ニ關スル豫算ト、ドウ云フヤウナ關聯ニナリマスルカ、概要ノコト

○吉田茂君 只今ノ御計畫、誠ニ私共モ全然御同感デ、斯様ナ計畫ノ立チマシタコトヲ深く感謝スルノデアリマス、實際ニ大臣ノ言ハレル結核ノ山ノ澤山アリマスル作業場、工場或ハ學校等ノ實際ノ若イ者ノ健康狀態ヲ見マスルト、今日ノ現狀ハ誠ニ寒心ニ堪ヘナイヤウナ心持ガ致シマス、事變前ヨリモ隨分惡クナッテ居ル向モアルノデヤナイカ、氣ヲ付ケテ良クナッテ所モ無論ゴザイマセウガ、ソレニ對シテ早期ノ發見ヲシ、良キ指導ヲ與フルト云フコトノ上ニハ色々ナ自由ガ、殊ニ戰時下デアリマスル爲ニ感ジラレテ居ルヤウデアリマス、ミスミス氣付ナガラ若イ者ガ段々重症ニナッテ行ク、ドウシヤウモナイト云フヤウナ切羽詰ツタ心持ニ泣カネバナラナイヤウナ場面ガ隨分アルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、御計畫ノ實行ト云フコトノ上ニハ、矢張り時局柄色々ノ障礙ガゴザイマセウケレドモ、一ツ萬難ヲ突破シテ、至急ニ其ノ御計畫ガ國民生活、全國ノ職場或ハ學校ト云フヤウナ共同生活ヲシテ居ル所ニ滲透徹底致シマスルヤウニ、此ノ上ナガラ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其ノ事ノ爲ニ金ガ澤山要ルト云フヤウナコトハ、寧ロソレハ取ルニ足ラス問題デ、十分ニ其ノ點ニ御骨折ヲ戴キタイト思ヒマス、其ノ點ニ付テノ私ノ御尋ハソレデ終リマシテ、前刻豫算ノ御説明中ニアリマシタ軍需生産ノ増強ト云フコトニ本年度ハ特ニ力ヲ入ラレル、ソレハ結局サツキカラモ御話ノ出マシタ重要軍需産業、重點的ニ厚生省ノ立場トシテノ各種ノ施設ガ行ハレルト云フコトカト存ジマス、

同テ居リ、私共モ實際サウナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、私共ノ見聞致シマスル工場其ノ他ノ作業場ノ實地ヲ見マスルト、必ズシモ生産能率ト云フモノガ、所期ノ程度ニ昂揚シテ居ラナイト云フヨリモ、寧ロ減退シテ居ルヤウナ所モ隨分アルノデハナイカト思ハレマス、限ラレタ人口デ、此ノ大事ナ年ニ軍需生産ニ國家ノ總力ヲ結集シナケレバナラスト云フ時期ニ、此ノヤウナ狀態デアッデハ誠ニ相濟マヌデヤナイカト思ハレルヤウナ場面モ必シモナイデハナイヤウニ思フノデアリマス、新聞記事等ニアリマスル模範の工場、鑛山、或ハ産業戰士等ノ事例、サウ云フコトモ確カニ非常ニ有難イコトデアリマスルガ、左様ナ光明方面ノミデナクシテ、非常ニ憂慮スバキ現象モアルノデハナカラウカ、遊ンデ居ル時間ガ多クテ、サウシテ遊ンデ居ル時間ニ對シテモ金ガ貰ヘル、貰ッタ金ガ濫費セラレル、能率ハ擧ラナイ、是ハ私ノ申シタコトデ不

穩當ノコトガアリマシタラ、後デ速記カラ然ルベク削ッテ置イテ戴イテモ結構デアリマス、心身共ニ若イ従業員ガ「スポイル」サレル、又病氣ニナッテ者ハ村ヘ歸ッテ、村デ結核其ノ他ノ病菌ヲ振り播ク、村ハ一番大切ナ日本ノ何ト申シマスカ、日本のナ氣魄ハ、是ハ育ツ中樞デアルト考ヘルノデアリマス、左様ナ工場方面ノ思ハシクナイヤウナ狀況ガ村ニ影響ヲ及シテ、所謂人ノ申シマスル轉業農家ト云フヤウナモノデ離農ノ傾向ガ顯著ニナッテ來テ、食糧ノ増産モ、軍需産業ノ増産等ト、或ハヨリ以上根本的ニ大事ナコトデアルト思ハレマスルニ拘ラズ、サウ云フヤウナコトガ影響シテ、若干食糧増産ト云フコトガ妨ゲラレル、増産ガ妨ゲラレルバカリデナシニ、左様ナコトガ相關聯シ、循環致シマシテ、國民ノ士氣道念ト云フヤウナモノニ無理ヲ掛ケル、サウ云フコトモ有リ得ルノデヤナイカト云フヤウナ心持ガ致シマシテ、自分ノ實際ノ見聞カラモサウ云フ氣ガシテ居ルノデアリマス、是ハ單リ厚生省御擔當ノ方面ニ於ケルコトダケデ解決シ得ベキ問題デハナイノデアリマシテ、政府全體ノ緊密ナ御協力ノ下ニ、矢張り本當ノ堅實ナ前線ノ兵隊ノ働キ同様ナ、奇蹟的ナ生産増強ガ行ハレナケレバナラス現狀デアリマス、其ノ政府全體ノ連絡アル御骨折ヲ希望致シマスルト同時ニ、私ノ只今心配致シマシタヤウナ點ニ付キマシテ、厚生大臣ハドノヤウニ現狀ヲ御覽ニナッテ居ラレマスルカ、又其ノ現狀ニ對シテドウ云フ御工夫ヲ御持チニナッテ居リマスルカ、ソレ等ノ御工夫ト、本年御提出ニナリマシタ是等ノ軍需生産増強ニ關スル豫算ト、ドウ云フヤウナ關聯ニナリマスルカ、概要ノコト

デ宜シウゴザイマスカラ、御伺ヒ致シタイト存ジマス

○國務大臣(小泉親彦君) 今日仰セノ通り生産増強ノ爲ニ有ラユル資材、設備等ニ制約ヲ受ケマシテ、色々ノ所謂惡條件ガアル次第デゴザイマスガ、之ヲ克服シテ生産増強ヲ圖ルト云フノハ、是ハ只今御話ノアリマシタ通りニ、生産能率ノ増強ト云フコトガ、是ガ一ツノ問題デアルト存ジテ居リマス、然ルニ今日生産能率ガ、其ノ期待スル程上ツテ居ナイト云フ事象ガ各方面ニアリマスコトモ、是モ承知致シテ居リマス、又勿論非常ナ能率ノ上ツテ參リマシタ所モゴザイマスガ、サウデナイ所モアルコトモ否定ハ出來ナイト存ジマス、是ニハ只今御言葉ノアリマシタヤウニ色々ノ原因ガゴザイマスガ、厚生省關係ノコトダケデ申上ガテ見マスレバ、要スルニ今日此ノ能率ヲ下ゲルト云フコトハ仕事ヲ致シマスル人々ノ、其ノ勤勞者ノ氣持ガドウモ其處迄能率ヲ増進スルト云フ、其ノ利便的ナ氣持迄進ンデ來ナイト云フヤウナ環境ガアル場合ガ、生産能率ノ低下ノ大キナ原因トナツテ居ルト存ジマス、勿論僱用工等ニ於キマシテハ其ノ馴レナイ仕事ニ就キマシテ爲ニ、其ノ前ニ別ニ準備ノ訓練等モナイ者ニハ病人ガゴザイマシテ、今日缺勤率「一十」パーセントト申サレテ居リマスルガ、其ノ中ノ「十」パーセントハ病氣デアルト云フヤウナ點モゴザイマスルガ、其ノ外ニ大キナ問題ハ、只今申上ガマシタ勤勞者ノ生産環境ト云フモノガドウモハッキリ致サナイト云フコトガ多い場合ニ生産能率ヲ低下シテ居ルト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ僱用工ニ於キマシテハ、一番能率ヲ下ゲマスノハ此

ノ氣持デゴザイマス、國ニ召サレテ、生産増強ノ第一線ニ出タト云フ感激ヲ以テ現場ニ參リマスレバ、ソレガ私經濟下ノ自分達ノ仕事デアルト云フコトガ、ドウモ割切レナイ氣持ガアリマス、自分ノ勤勞ガ直チニ國家ニ繋テ居ルト云フコトヲ現實ニ承認デスカ、確認スルコトガ出來ナイト云フ環境狀態ガ、彼等ノ氣持ヲハッキリスルコトガ出來ナイ、茲ニ於テ生産能率ノ向上ノ爲ニ、僱用ノ國家性ト云フコトヲ明確化致シタイ、斯ウ考ヘマシテ、此ノ國家性ヲ明確化スル、是ニハ勿論企業家自體ガ國家性ヲ益、明確ニサレルコトガ必要デアリマスガ、勤勞者側ノ方カラ申シマシテ、此ノ國家性ヲ明確化致シマス爲ニ、皇國本來ノ勤勞觀ノ昂揚ト云フ、一ツノ大キナ其ノ狙ヒ所ニ、此ノ勤勞精神ノ徹底ト云フコトニ十分ニ意ヲ盡シ、從來ノ產報運動等モ合理的ニ是ヨリ進展ヲセシメテ行ク、現場ニ即スルヤウニ進展ヲセシメテ行ク、又援護事業ヲ十分ニ致シマシテ、後顧ノ憂ナク生産ニ勵ムコトガ出來ルヤウニスル、又其ノ生産經營責任者モ、其ノ工員モ一體の體制ヲ保ッテ、上ノ人モ下ノ人モ皆國家ニ召サレテ居ルノデアルト云フヤウナ一ツノ體制ヲ整ヘルト云フコトガ、又國家性ヲ明確ニスル一ツノ大キナ要素デアルト斯ウ考ヘマシテ、是等ノ點ニ對シマシテ今回生産増強ノ爲ニ勤勞對策ト云フモノヲ政府決定メマシタ最初ニ、此ノ點ヲ大キク取リ上ガテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、而シテ結論ハ、要スルニ是ハ勤勞管理ト云フモノガ徹底シナケレバナラナイ、陣頭指揮モ重要事業場ノ管理令ニ於ケル其ノ管理ト云フモノヲモット、本當ニ徹底ヲスルト云フコトガ最も必要デアル、而

モソレガ、親心ヲ持ツタ親切ナ勤勞管理ガ行ハレ、工場内ノミナラズ進ンデハ其ノ生活ニ迄及ンデ行クト云フ位ニ勤勞ノ管理ヲ徹底セシメルコト、又更ニ勤勞ノ色々ノ運營ノ方面ニ於キマシテモ改善スベキモノガ多アルト存ジマス、例ヘバ僱用ニ致シマシテモ、國民登錄ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ青年工ニ對スル輔導ノ問題、教化ノ問題ニ致シマシテモ色々改善スベキ點ガ多アルト考ヘル次第デアリマス、斯クノ如ク致シマシテ、此ノ生産能率ト云フ勤勞者一體ノ氣持ヲ向上致シマス同時ニ、一面ニハ只今御言葉ノアリマシタヤウナ工場へ行ッテ、即チ其處ノ惡イ色々ノ條件ノ爲ニ病氣ニナル、サウシテソレガ農村ニ歸リ農村ヲ汚染スル、サウシテ本當ノ國防力、兵力及生産力ノ兩面ノ源泉アル所ノ農村ヲ汚染スル、又精神上ソレガ惡イ影響ヲ及スト云フ方面ニ對シテハ、一旦工場ナドニ於テ病氣ニナッタ者ハ出來ルダケ日本醫療團ガ速カニソレヲ引受ケテ治療ヲシテカラデナケレバ還サナイ、又若シ家庭ノ事情デ歸ラナケレバナラス者ガ歸ッタナラバソチナラ方ニ手ヲ伸バシテ、他ノ家族ニ其ノ病氣ヲ擴ゲナイト云フヤウナ十分ノ措置ヲ講ジナケレバナラナイ、又工場内ニ於テハ弱者ガアルナラバ、ソレ程ニ惡クナラナイウチニ修鍊ノ施設ヲ工場内及工場外ノ附近ニ建設スルト云フヤウナコトヲ致シマシテ、農村モ之ニ依ッテ汚染スルコトヲ防グ、今回農林省ガ主トシテ計畫シテ居リマス皇國農村確立ト云フコトニ厚生省ト致シマシテモ全面的ニ之ニ協力致シテ參リマシテ、有ラユル保險指導等ノ施設ヲ此ノ皇國農村確立ノ線ニ副ッテ進ンデ行キタイ、斯ウ云フヤウナ工夫ヲ以

チマシテ生産能率増進ト云フ方面ニ今後人的生産力ヲ總動員シテ、國民ノ總力ヲ發揮スルヤウニ施設致シタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉田茂君 色々御意見ヲ拜聴致シマシタ、又御計畫ヲ伺ヒマシタガ、何レモ大變結構ナコトト存ジマス、御話ノ中ニ出マシタ生産管理ノ改善ト云フコトガ一番能率増進ノ上ノ大切ナ條件デアラウト思フノデアリマス、ソレニ關聯シテ僱用工ノ御話モ出タノデアリマスガ、此ノ僱用工ハ殊ニ召サレテ御國ノ爲ニ軍需産業ニ從事スルノ覺悟ヲ持ッテ行クトデアリ、又サウ云フ非常ナ決心ヲ持ッテ澤山出デ行ク人ガアルノハ御説ノ通りデアリマスガ、工場へ行ッテ見テ其ノ生産環境ト云フモノニ非常ニ失望ノ感ズルト云フヤウナ現狀ヲ直カニ私共ノ所ニ懇ヘテ來テ居ルノデアリマスガ、實情ヲ調べテ見ルト誠ニ無理モナイヤウデアリマス、從ッテ是ハ其ノ點ニモサウ云フ失望ヲ與ヘナイヤウニ色々御努力ト云フモノモ講ゼラレテ居ルコトトハ思ヒマスシ、十分御當局ノ此ノ上共萬全ノ御指導御注意ガアラウト思フノデアリマスガ、僱用工ハ官營工場ダケヘ御奉公スルト云フヤウナコトハ出來ナイモノデアリマスルカドウデアリマスガ、民營ノ工場ハ假令ソレガ軍ノ管理ノ工場デアリマシテモ、色々會社組織ヤ仕組ヲ離レテハ運行ガ出來ナイヤウナ只今ノ制度デハ、此ノ大戰爭下利益ヲ度外視スルト云フコトハ誰シモ考ヘネバナラヌノデアリマスケレドモ、今ノ産業ノ仕組ト云フモノハサウ云フ風ニ出來テ居ラナイ、マア工場經營者側デ惡意デナクテモ勢ヒ僱用工ニ失望ヲ與ヘラヤウナコトガ今起リ兼ねナイトモ考ヘラ

レル、他ノ官ノ經營スル工場デアリマシタナラバ左様ナシ望ヲシナイデ喜ンデ行クコトガ出来ハシナイカ、サウ云フコトヲ考慮セラレテ、徵用工ノ使ヒ場所ト云フヤウナコトニ付テ十分一ツ制限ヲナサレタラドウカト云フヤウナ心持ガスルノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ御意見デゴザイマセウカ

○國務大臣(小泉親彦) 只今ノ御言葉ハ誠ニ御尤モニ存ジマス、政府ニ於キマシテモ若シ出来マスレバ官ノ作業廳ニ於テノミ徵用工ガアリマスレバ、外部カラノ有ラユル問題ガ解決シテ行クノデアリマスガ、國民動員計畫上ニ於ケル生産計畫、此ノ計畫生産ヲ遂行致シマスル爲ニハ、ドウテシモ民營ノ工場等ヲ此ノ中ニ入レナケレバナラヌト云フ現狀デゴザイマス、但是モ只今仰セノ通りノ觀點カラ致シマシテ、今日ハ軍管理工場以外ニハ徵用工ナイト云フ方針ヲ堅持致シテ居ル次第デアリマス、尤モ二三例ヘバ日鐵ノ如キ厚生大臣指定ノ工場ニ於テ官デ徵用工サレテ居ルノモアリマスシ、又商工大臣指定ノ輕金屬工場ニ徵用工サレタノモゴザイマスガ、此ノ二ツハ軍管理ニ迄行ク準備ガ整ヒマセヌ爲ニ、之ニ準ズルモノトシテ特ニ徵用工致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、即チ私共ト致シマシテハ、是等ノ民營ノ工場ガ其ノ企業ガ全ク國家性ヲ持ツテ、出来ルダケ企業ノ國家性ト云フコトヲ明確ニナルヤウニシタイト云フコトヲ祈念ヲ致シテ關係省共寄リ、此ノ點ハ話ツテ居リマスガ、官營或ハ國營ニスルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌノデ、出来ルダケ只今御指摘ニナリマシタ企業ノ利潤ト云フヤウナ問題ヲ出来ルダケ適正ニ致シマシテ、企業ノ國家性ヲ出来ルダケ明確ニナラシム

ルヤウニシテ貰フ、ソレデモドウシテモ矢張り只今御話ノ通り、是ハ官ノモノデハナイノデアリマスルノデ、此ノ徵用工及此處ニ働カレル所ノ經營責任者ヲ徵用工シマシテ、工員ト一緒ニナッテ徵用工サレタル人ト一丸トナツタ生産體ヲ組織シマシテ、此ノ組織ニ依ッテ此處ニ上下ノ服從關係ヲ確立致シマシテ、各職規ヲ守ッテ、風紀ヲ匡シテ、信賞必罰ノ體制ヲ明カニ致シマシテ、之ニ依ッテ勤務ト云フモノハ何處ニ其ノ働ク場所ガアラウトモ、勤務スル者ハ國家ニ直接繋ガツテ居ルト云フヤウナ方ニ行カウト云フ考デ今致シテ居ル次第デアリマス

○吉田茂君 先程申シマシタヤウニ官營工場ノミニ徵用工ガ向ケラレルト云フコトハ、出来レバ有難イコトト思ヒマス、勞務動員ノ計畫上、サウ云フ風ニ限ルコトハ出来ナイト云フ御意見ハ御尤モデアリマスガ、軍ノ管理工場ハ必ず徵用工ガ貰ヘルト云フコトデナクシテ、其ノ中デ又御鑑別ニナリマシテ、アソコナラ徵用工ヲ差向ケテモ徵用工ガ喜ンデ働ケルダラウト云フヤウナ御判定ヲナサレテサウ云フ工場ノミニ廻サレル、又廻サレタ結果アスコデハドウモ工合ガ惡イト云フノナラバ、ソレハ他ノ良イ工場、本當ニ氣持良ク國家的ニ働ケルト思ハレル工場ニ向ケラレル運用ハ付カナイモノデアリマセウカ

○國務大臣(小泉親彦) 只今ハ親工場バカリガ出来テ居リマシテ、之ニ關聯スル工場ノ一體ノ組織ガ出来テ居リマセヌガ、近ク生産増強ノ爲ニ重要ナル事業ニハサウ云フ組織モ考ヘテ行カナケレバナラヌト存ジマスノデ、只今御話ノヤウニ、是ナラバト云フ管理ノ決定出来ル所ハ、自然ニサウナツ

テ行クト云フヤウニ考ヘマス

○吉田茂君 ソレニ致シマシテモ、矢張り先刻モ御話ノ中ニアリマシタヤウニ、勤務管理ト云フコトハ前申サレテ居リマシタ勞務ノ管理、此ノ大戰下ニ於ケル勞務ノ管理ト云フコトガ、非常ニ大切ナコトト思ハレルノデアリマスルガ、厚生省デ是迄ハ規則ノ上デ支配シ得タモノハ勞働時間、賃銀其ノ他ノ勞働條件ニ關スルコトハ、厚生省ノ御主管トシテ權限ガオアリニナル、又工場ノ經營技術、ソレガ皆勞務管理ニ關係ノアルコトデアリマスルガ、ソレハ商工省ノ方面ノ關係デハ、殊ニ商工省ハ今日ハ國家的の見地ニ立ツタ中樞トシテ大事ナ役目ヲ果シテ居ラレマスガ、以前ハサウ云フ職能ハ餘リ持ッテ居ラレナイト云フヤウナ譯デ、勞務ノ管理ト云フ一番大切ナ産業ノ中心ニナルコトガ、申サバチヨット置イテキボリニナッテ居タヤウニ今迄ハナッテ居ッタト思フノデアリマスガ、今後ハ厚生省ハ勞務管理ト云フコトニ付テ、勿論關係ノ商工省ト十分ノ連絡ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、勞務管理ト云フコトニ付テノ主管官廳デアリ、其ノ點ニ付テ十分ナ國家産業ニ對スル御指導ノ御役目ヲ果シテ行ク主務官廳デアアル、斯様ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(小泉親彦) 勤務面ニ關シマシテハ、全部厚生省ガ責任ヲ持ッテ管理ヲ進メ生産事業ニ資ス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○吉田茂君 其ノ點ニ付テ工場ノ實際ノ經營、工場デモ鑛山デモ、ソレ等ノ點ニ付キマシテア、シロ、斯ウシロト云フ御命令モ出来ルダケノ權能ガ厚生省ニオアリニナルト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(小泉親彦) 先程申シマシタ重要産業面ニ於キマシテハ、此ノ生産ノ責任ヲ持ツ勞務體制ガ確立致シマスレバ、之ヲ通ジマシテ今度厚生省カラ指令ガ出ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○吉田茂君 私共モ是非サウアッテ戴キタイト存ジマスルノデアリマスガ、今迄ノ仕事ノ分配ノ關係カラ考ヘ、又厚生省ノ持ッテ居ラレマス「スタッフ」、専門家ナリ事務家ナリ、サウ云フ方々ノ範圍カラ考ヘマシテ、只今大臣ノ仰セラレルヤウナコトヲ御實行ナサルニハ、今日ノ現狀ノ儘デハ、隨分御不自由ガ有リデアラウト考ヘルノデアリマスガ、明年度ノ豫算ニハサウ云フ方面ヘノ組織ノ樹立ト云フコトハ餘リ現レテ居ラヌヤウデアリマス、此ノ大戰争ニ應ズル爲ノ體制ヲ整ヘル爲ニハ、先ニモ丸山委員ノ質問ニ對スル御答ノ中ニモアリマシタ通り、豫備金ヲ御活用ニナルダケノ御用意ガアルト申サレマスルガ、放ッテ置ケナイ大切ナ、喫緊ナ問題デアルト思ヒマスガ、今迄ノ御提案ニナッテ居リマスル豫算ノ外ニモ、サウ云フコトデ大切ナコトガアリマシタラ、一ツ御遠慮ナク、ピシ／＼時機ヲ過タナイヤウニ、御實行ニナッテ戴クコトガ、今年ハ殊ニ肝要デハナカラウカ、ソレハ私ノ老婆心カモ知レマセヌガ、左様ニ感ジマスノデアリマス、ナカ／＼生産能率ノ増強ト云フコトヲ、今日アル障害ヲ突破シテ擧ゲテ行クト云フ爲ニハ、至ル所ニ非常ナ困難ナ事情ガアリ、尙厚生省御獨力デハドウニモナラヌ部分ガ相當アルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテ、主務官廳デアラレル厚生省ガ主動トナラレテ、他ノ關係省ノ商工省或ハ勞務ノ給源デアアル農村ヲ預ル

農林省、全般ノ御計畫ヲナサル企畫院等ヲ、寧ロ御指導御鞭撻ナサルヤウニ御奮闘ヲ戴クコトガ、今年ハ特ニ大切デアルマイカト存ジマス、ソレダケノ自分ノ希望ヲ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○主査(男爵山川建君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ソレデハ厚生省ニ關スル質疑ハ之ヲ以テ終リマス、第三分科ニ付託ニナリマシタ内務省、文部省、厚生省所管全部八案ニ付キマシテ討論ニ入リタイト思ヒマス、別ニ御發言ガナケレバ御意見ハナイモノト承知致シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○主査(男爵山川建君) ソレデハ御意見ノナイモノト認メマス、採決ニ入リマス、第三分科付託ノ内務省、文部省、厚生省所管ノ八案全部原案通り可決スベキモノト認メテ差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○主査(男爵山川建君) ソレデハ可決シタモノト致シマス、之ヲ以テ終リマス

午後四時四十三分散會

出席者左ノ如シ

主査 男爵山川 建君
委員 侯爵井上 三郎君
關屋貞三郎君
子爵岡部 長景君
水野鍊太郎君
吉田 茂君
男爵松平外與麿君
田所 美治君
丸山 鶴吉君
山隈 康君

兼務

國務大臣

厚生大臣 小泉 親彦君

政府委員

內務次官 山崎 巖君

內務省地方局長 古井 喜實君

內務省警保局長 三好 重夫君

內務省國土局長 新居善太郎君

內務省防空局長 上田 誠一君

內務省管理局長 竹内 徳治君

內務書記官 澤 重民君

同 小林 千秋君

同 中島 賢藏君

同 郡 祐一君

內務事務官 今井 久君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

朝鮮總督府政務總監 田中 武雄君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 齋藤 樹君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

樺太廳長官 小河 正儀君

北海道廳長官 坂 千秋君

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省人口局長 中村敬之進君

厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君

厚生省生活局長 石井 政一君

厚生省勤勞局長 持永 義夫君

厚生省保險局長 平井 章君

軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君

軍事保護院援護局長 高辻 武邦君

軍事保護院業務局長 大坪 保雄君

厚生書記官 青柳 一郎君

昭和十八年三月二日印刷

昭和十八年三月三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局